

SHARP[®]

AQUOS R compact
SH-M06

取扱説明書

はじめに

ご購入いただき、誠にありがとうございました。
本書をよくお読みの上、正しくお使いください。

操作方法を確認する

クイックスタートガイド(本体付属品)

各部の名称と機能やご利用にあたっての注意事項などについて説明しています。

取扱説明書(本書)

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

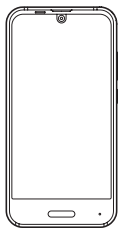
次のサイトでダウンロード

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm06/manual/index.html>

※ 最新情報がダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本書に記載している画面やイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書はホームアプリがAQUOS Home、本体色がWhiteの場合で説明しています。ホームアプリを変更すると、操作手順などが本書の説明と異なる場合があります。
- 本書の本文中においては、「SH-M06」を「本端末」または「端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書ではmicroSDカード、microSDHCカード、microSDXCカードを、「microSDカード」または「microSD」と記載しています。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品



SH-M06本体
(保証書付き)



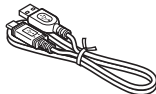
クイックスタートガイド



テレビアンテナケーブル
(試供品)*



SH-AC04
(ACアダプター/USB Type-C™ケーブル)



※本端末でテレビを視聴するときに、接続する必要がありますので、紛失等にご注意ください。

- 本端末に対応する別売品については次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm06/index.html>

目次

本体付属品	1
本端末のご利用について	4
安全上のご注意(必ずお守りください)	5
取り扱い上のご注意	15
内蔵電池の交換について	21
リサイクルについて	21
防水/防塵性能	21

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能	27
nanoSIMカード	30
microSDカード	33
充電	35
電源を入れる/切る	37
基本操作	38
文字入力	42
初期設定	48
着信/充電ランプ	49
画面表示/アイコン	49
AQUOS Home	55
アプリ使用履歴	59
マルチウィンドウ	60
ホーム切替	61
アプリ初回起動時の確認画面について	61

電話

電話をかける	63
電話を受ける	65
通話中の操作	66
通話履歴	67
クイックアクセス	68
通話設定	69
電話帳	69

メール/ウェブブラウザ

SMS	72
Eメール	74
Gmail™	78
Chrome	81

アプリ

Play ストア	84
おサイフケータイ	85
カメラ	89
アルバム	96
テレビ(ワンセグ)	99
GPS/ナビ	106
YouTube	107
時計	108
カレンダー	110
電卓	111
エモパー	112

からだメイト	115
--------------	-----

本体設定

設定メニュー	118
ネットワークとインターネット	119
接続済みの端末	124
アプリと通知	124
省エネ&バッテリー	125
ディスプレイ	126
音	129
AQUOS便利機能	130
ストレージ	133
セキュリティと現在地情報	134
ユーザーとアカウント	141
ユーザー補助	142
Google™	143
システム	143

ファイル管理

ストレージ構成	149
ファイル操作	149

データ通信

Bluetooth®機能	151
NFC通信	155

外部機器接続

パソコンとの接続	157
プリントサービスによる印刷/保存	158
USBホスト機能	158
キャスト	159
VPN(仮想プライベートネットワーク)	160

海外利用

海外でご利用になる前に	161
海外で利用するための設定	161
滞在先で電話をかける/受ける	162

付録/索引

トラブルシューティング(FAQ)	163
保証とアフターサービス	168
システム アップデート	169
主な仕様	171
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	173
CAUTION	178
輸出管理規制	179
知的財産権について	179
索引	183




本端末のご利用について

- 本端末はLTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かないところ、屋外でも電波の弱いところ、携帯電話サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしの良い場所であってもご使用にできない場合があります。なお、電波が強くと電波状態は[■]を表示している状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声デジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容(電話帳、カレンダー、音声メモ・簡易留守録など)は、定期的にメモをとったり、microSDカードやパソコンなどの外部記録媒体に保管してください。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリやアクセスしたサイトなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを經由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリやサイトなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- microSDカードや本端末の空き容量が少ない場合、起動中のアプリが正常に動作しなくなることがあります。その場合は保存されているデータを削除してください。
- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリやサービスによっては、Wi-Fi接続中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 本端末のシステムを最新の状態にアップデートすることができます(☞P.169「システム アップデート」)。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンについては(☞P.147「端末情報」)
- 紛失に備え、画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください(☞P.134「セキュリティと現在地情報」)。
- 万が一紛失した場合は、Gmail、Google Play™などのGoogleサービスや、SNSなどのサービスを他の人に利用されないように、パソコンより各種アカウントのパスワードを変更してください。
- アプリおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。

- Google LLCが提供するアプリを含む第三者提供サービスおよびアプリのご利用にあたっては、Googleおよび各提供元が定める各利用規約などをご確認ください。当該サービスおよびアプリに起因する全ての不具合について、当社では一切責任を負い兼ねます。
- 利用規約などが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- テザリングのご利用には、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。これはディスプレイの特性であり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 市販の周辺機器については、当社では動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意(必ずお守りください)







- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷 ^(※1) を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷 ^(※2) を負う可能性が想定される場合および物的損害 ^(※3) の発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷:失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
- ※2 軽傷:治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

- ※3 物的損害:家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指します。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止 禁止(してはいいないこと)を示す記号です。	 濡れ手禁止 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
 分解禁止 分解してはいいないことを示す記号です。	 指示 指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示す記号です。
 水濡れ禁止 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいいないことを示す記号です。	 電源プラグを抜く 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

- 本端末、ACアダプター、USB Type-Cケーブル、nanoSIMカード、テレビアンテナケーブルの取り扱いについて(共通) . . . P.6
- 本端末の取り扱いについて P.8
- ACアダプター、USB Type-Cケーブルの取り扱いについて . . . P.11
- nanoSIMカードの取り扱いについて P.13
- 医用電気機器近くでの取り扱いについて P.13
- 材質一覧 P.14

本端末、ACアダプター、USB Type-Cケーブル、nanoSIMカード、テレビアンテナケーブルの取り扱いについて(共通)



危険



禁止

高温になる場所や熱のこもりやすい場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

砂や土、泥をかけたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水/防塵性能については以下をご参照ください。

☞P.21「防水/防塵性能」



禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡れた状態では、充電しないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.21「防水/防塵性能」



禁止

本端末に強い圧力を加えたり、折損させたりしないでください。特に衣類のポケットに入れて持ち運ぶ場合は、ぶつけたり、物に挟んだりしないでください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

※ご注意ください例

- ズボンやスカートのポケットに入れた状態で座ったり、しゃがんだりする
- 上着のポケットに入れた状態で、扉や自動車のドアに挟む
- ソファやベッド、布団など柔らかい物の上や、床の上で踏みつける



分解禁止

分解、改造をしないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



水濡れ禁止

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)で濡らさないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.21「防水／防塵性能」



水濡れ禁止

充電端子や外部接続端子に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)を入れないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

防水性能については以下をご参照ください。

☞P.21「防水／防塵性能」



指示

本端末には、必ず指定のACアダプター、USB Type-C ケーブル、テレビアンテナケーブルをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



警告



禁止

落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)を接触させたり、ほこりが内部に入ったたりしないようにしてください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。

火災、やけどなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。

過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。

引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。

(NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください)



指示

使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。

- 電源プラグをコンセントから抜く。
- 本端末の電源を切る。

上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠️注意



禁止

破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレーション設定中は特にご注意ください。
落下して、けがなどの原因となります。



禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水／防塵性能については以下をご参照ください。
☞P.21「防水／防塵性能」



禁止

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。
けがなどの原因となります。



禁止

乳幼児の手の届く場所に置かないでください。
誤飲、けが、感電などの原因となります。



指示

本端末を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようにご注意ください。

アプリ、通話、データ通信、テレビや動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本端末やACアダプター、USB Type-C ケーブルの温度が高くなる場合があります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

本端末の取り扱いについて

⚠️危険



禁止

火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



禁止

釘(鋭利なもの)を刺したり、ハンマー(硬いもの)で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。
火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

本端末内部の物質などが目や口の中に入った場合は、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
本端末内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

警告



禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯、発光させないでください。特に、乳幼児に対しては十分に距離を離してください。

視力障害などの原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。



禁止

自動車などの運転者に向けてモバイルライトを点灯、発光しないでください。

運転の妨げとなり、事故などの原因となります。



禁止

点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。

けいれんや意識喪失などの原因となります。



禁止

本端末内のnanoSIMカード／microSDカードトレイの挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

また、nanoSIMカードやmicroSDカードの挿入場所や向きを間違えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



禁止

カメラのレンズに直射日光などを長時間当てないでください。

レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。



指示

航空機へのご搭乗にあたり、本端末の電源を切るか、機内モードに設定してください。

航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

電波により航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。

なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。



指示

病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。

使用を禁止されている場所では、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

ハンズフリーに設定して通話するときや、大きな音で着信音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本端末を耳から離してください。

また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。

ハンズフリーに設定して通話すると、本端末から大きな音が出ます。

待ち受け中であっても、突然の着信音やアラーム音が鳴動する場合があります。

大きな音を長時間連続して聞くと、難聴など耳への障害の原因となります。

また、音量が大きすぎると周囲の音が聞こえにくく、事故の原因となります。



指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。

突然の着信バイブレータ(振動)や着信音の鳴動に驚き、心臓に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

電波により医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電波により電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



指示

ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。



指示

ペットなどが本端末に噛みつかないようにご注意ください。

内蔵電池の破損により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

注意



禁止

モーションセンサーや地磁気センサーのご利用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。



禁止

ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合には、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。

内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本端末は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。



禁止

内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。

目や皮膚への傷害などを起こす原因となります。内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。



指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上で使用ください。

車種によっては、電波により車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。



指示

本端末の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

各箇所の材質については以下をご参照ください。
P.14「材質一覧」



指示

本端末の受話口部、スピーカー部、アウトカメラ部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片(カッターの刃やホチキスの針など)が付着していないことを確認してください。

付着物により、けがなどの原因となります。



指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。

暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

ACアダプター、USB Type-Cケーブルの取り扱いについて



禁止

USB Type-Cケーブルのコードが傷んだら使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプター、USB Type-Cケーブルは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、ACアダプター、USB Type-Cケーブルには触れないでください。

感電などの原因となります。



禁止

コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、体の一部を触れさせないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

USB Type-Cケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

コンセントにACアダプターを抜き差しするときは、金属類を接触させないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



禁止

ACアダプターに海外旅行用の変圧器(トラベルコンバーター)を使用しないでください。

発火、発熱、感電などの原因となります。



禁止

本端末にACアダプター、USB Type-Cケーブルを接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。

火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手でACアダプター、USB Type-Cケーブル、充電端子、電源プラグに触れないでください。

火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプターで充電してください。

誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。

指定のACアダプター: AC100V~240V(家庭用ACコンセント専用)



指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

ACアダプター、USB Type-Cケーブルをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

電源プラグをコンセントから抜く場合は、USB Type-Cケーブルを引っ張るなど無理な力を加えず、ACアダプターを持って抜いてください。

USB Type-Cケーブルを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。



指示

本端末にUSB Type-Cケーブルを抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



指示

充電端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。

充電端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

使用しない場合は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)が付着した場合は、直ちにACアダプターを持って、電源プラグをコンセントから抜いてください。

付着物などによるショートにより、火災、やけど、感電などの原因となります。



電源プラグを抜く

お手入れの際は、ACアダプターを持って電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

抜かずに行くと、火災、やけど、感電などの原因となります。

⚠️ 注意



禁止

コンセントにつないだ状態でACアダプター、USB Type-Cケーブルに長時間触れないでください。やけどなどの原因となります。

nanoSIMカードの取り扱いについて

⚠️ 注意



指示

nanoSIMカードを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。切断面が鋭利になっている場合があります、けがなどの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

⚠️ 警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末を15cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本端末を電波の出ない状態に切り替えてください(機内モードまたは電源オフなど)。

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。



指示

医療機関内における本端末の使用については、各医療機関の指示に従ってください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

端末

使用箇所	材質／表面処理
ディスプレイ面	強化ガラス／AFコート
背面	PET樹脂+PC樹脂(ガラス入り)／ハードコート
外装(金属部)	アルミニウム／アルマイト処理
外装(樹脂部)	PBT樹脂(ガラス入り)
電源キー	アルミニウム／アルマイト処理
音量UP／DOWNキー	アルミニウム／アルマイト処理
指紋センサー	エポキシ樹脂／ハードコート
指紋センサー飾り	アルミニウム／アルマイト処理
カメラパネル	強化ガラス／AF、ARコート
カメラ飾り	アルミニウム／アルマイト処理
モバイルライト	PC樹脂
受話口(レシーバー)メッシュ	ステンレス／電着塗装
nanoSIMカード／microSD カードトレイ(外装部)	アルミニウム／アルマイト処理
nanoSIMカード／microSD カードトレイ(樹脂部)	PC樹脂
nanoSIMカード／microSD カードトレイ	POM樹脂
nanoSIMカード／microSD カードトレイのパッキン	シリコンゴム
nanoSIMカード／microSD カードトレイの挿入口	PBT樹脂(ガラス入り)
IMEIプレート	PET樹脂／印刷

ACアダプター(SH-AC04)

使用箇所	材質／表面処理
ACアダプターケース	PC樹脂
ACアダプター電源プラグ部樹脂	PBT樹脂
ACアダプター電源プラグ	真鍮／Niメッキ
USBコネクタの金属シェル	真鍮／Niメッキ
USBコネクタの樹脂部分	PBT樹脂

USB Type-Cケーブル(SH-AC04)

使用箇所	材質／表面処理
USBプラグ	熱可塑性エラストマー
USBプラグの金属部	鋼板／Niメッキ、PBT樹脂
コード部	熱可塑性エラストマー
Type-Cプラグ	熱可塑性エラストマー
Type-Cプラグの金属部	ステンレス／Niメッキ、液晶ポリマー

テレビアンテナケーブル(試供品)

使用箇所	材質／表面処理
イヤホンマイク端子(樹脂部)	エラストマー樹脂
イヤホンマイク端子(金属部)	ニッケル下地、真鍮／金メッキ
コード	エラストマー樹脂
プラグ(樹脂部)	エラストマー樹脂、PP樹脂、POM樹脂
プラグ(金属部)	ニッケル下地、真鍮／金メッキ

取り扱い上のご注意

共通のお願い

- SH-M06は防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物を入れたり、指定のACアダプターやUSB Type-Cケーブル、テレビアンテナケーブル(試供品)にこれらを付着させたりしないでください。

指定のACアダプターやUSB Type-Cケーブル、nanoSIMカード、テレビアンテナケーブルは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気が多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。修理につきましては、「保証書に記載の問い合わせ先」までお問い合わせください。

- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
 - ・ 強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
 - ・ ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
 - ・ アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子や指紋センサーなどは時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
端子などが汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。
また、清掃する際には端子などの破損に十分ご注意ください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

- 本端末に無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、内蔵電池などの故障、破損の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子に差した状態の場合、故障、破損の原因となります。
- 落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。

本端末についてのごお願い

- ディスプレイを強く押ししたり、先の尖ったもので操作したりしないでください。
傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
風呂場でのご使用については以下をご参照ください。
【※P.22「SH-M06が有する防水／防塵性能でできること」】
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身で本端末に登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

- 使用中や充電中に本端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラのレンズを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はnanoSIMカード／microSDカードトレイを閉じた状態でご使用ください。
水などの液体(飲料水、汗、海水、ペットの尿など)や粉塵などの異物が入り故障の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- 磁気カードや磁気を帯びたものを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
また、強い磁気を近づけると本端末の誤作動の原因となります。
- 本端末をフィルムやシールで装飾しないでください。
近接センサーを使用する各種機能が正常に動作しない場合があります。
近接センサーの位置は、以下をご参照ください。
【P.27「各部の名称と機能」

- 内蔵電池は消耗品のため、保証対象外です。
内蔵電池の使用条件により、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れる場合があります。十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときや、内蔵電池が膨らんでいるときは内蔵電池の交換時期です。内蔵電池の交換につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 内蔵電池の使用時間は、使用環境や内蔵電池の劣化度により異なります。
- 本端末を保管される場合は、内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となるため、下記のような状態で保管しないでください。
 - フル充電状態(充電完了後すぐの状態)での保管
 - 電池残量なしの状態(本端末の電源が入らない程消費している状態)での保管
 なお、保管に適した電池残量の目安は40パーセント程度です。
- 本端末の内蔵電池の種類は次のとおりです。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

- 本端末の表面にアルミ材を使用しております。アルミは柔らかい素材のため、打痕・擦り傷が残りやすくなっており、ご注意ください。

ACアダプター、USB Type-Cケーブルについてのお願い

- 充電には指定のACアダプター、USB Type-Cケーブルをご使用ください。
- 充電は、適正な周囲温度(5℃～35℃)の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
 - ・ 湿気、ほこり、振動の多い場所
 - ・ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中にACアダプターやUSB Type-Cケーブルが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、プラグを変形させないでください。
故障の原因となります。

nanoSIMカードについてのお願い

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにnanoSIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分は時々清掃し、きれいな状態で使用してください。
IC部分が汚れた状態で使用すると、正常にご利用できない場合があります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- お客様ご自身で、nanoSIMカードに登録されたデータは、microSDカード、パソコン、クラウドなどにバックアップ、別にメモを取るなどして保管してください。
万が一登録されたデータが消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。
- nanoSIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。
- nanoSIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けしないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を利用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を利用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を利用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を利用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
本端末のBluetooth機能が利用する周波数帯は、ホーム画面▶
[設定]▶[システム]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② FH:変調方式がFH-SS方式であることを示します。
- ③ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ④ XX:変調方式がその他の方式であることを示します。
- ⑤ 8:想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。
- ⑥ ■■■:2400MHz~2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

● Bluetooth機器使用上の注意事項


本端末の利用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで利用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに利用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。


無線LAN(WLAN)についてのお願い

- 無線LAN(WLAN)は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されたりする可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、利用することを推奨します。
- 無線LANについて
電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで利用しないでください。
 - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなったりすることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れたりすることがあります。
 - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャネルを利用していると、正しく検索できない場合があります。

● 周波数帯について

本端末の無線LAN機能が利用する周波数帯は、ホーム画面▶▶[システム]▶[認証]で確認できます。ラベルの見かたは次のとおりです。



- ① 2.4:2400MHz帯を利用する無線設備を表します。
- ② DS:変調方式がDS-SS方式であることを示します。
- ③ OF:変調方式がOFDM方式であることを示します。
- ④ 4:想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
- ⑤ :2400MHz～2483.5MHzの全帯域を利用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

本端末の無線LANで設定できるチャンネルは1～13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんので、ご注意ください。

利用可能なチャンネルは国により異なります。

航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。

● 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。

2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。

3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

● 5GHz機器使用上の注意事項

5GHzの周波数帯においては、5.2GHz/5.3GHz/5.6GHz帯(W52/W53/W56)3種類の帯域を利用することができません。

- W52(5.2GHz帯/36、40、44、48ch)
- W53(5.3GHz帯/52、56、60、64ch)
- W56(5.6GHz帯/100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

5.2GHz/5.3GHz帯無線LAN(W52/W53)の屋外利用は電波法で禁止されています。

電波障害自主規制について

- 本製品は、VCCI自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合しており、その適合マークを本製品の電子銘板に表示しています。

電子銘板は、本製品で以下の操作を行うことで、ご確認いただくことができます。

ホーム画面▶▶[システム]▶[認証]

FeliCaおよびNFCリーダー／ライターについて

- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を利用しています。
- 使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター、P2P機能をご利用の場合、十分に離してお使いください。
また、他の同一周波数帯を利用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。
- 航空機内の利用は、事前に各航空会社へご確認ください。ご利用の国によっては利用が制限されている場合があります。
その国／地域の法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

注意

- 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法／電気通信事業法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等に関する規則を順守しており、その証として「技適マーク」が本端末の電子銘板に表示されております。電子銘板は、本端末で次の手順でご確認いただけます。
ホーム画面▶[(*)]▶[システム]▶[認証]
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中に本端末を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- 本端末のFeliCaおよびNFCリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

内蔵電池の交換について

内蔵電池は消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。

内蔵電池の劣化は、使用状況や動作環境によって異なりますが、満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、新しい内蔵電池と交換する必要があります。

本端末の内蔵電池はお客様自身では交換できませんので、「保証書に記載のお問い合わせ先」へご連絡いただき、内蔵電池の交換を依頼してください(有償)。

リサイクルについて

本端末に使用していますリチウムイオン電池はリサイクル可能な有益な資源です。リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては「保証書に記載のお問い合わせ先」まで、ご相談ください。



Li-ion00

■ 本製品を廃棄するときは

- 各自治体の廃棄ルールに従っていただきますようお願いいたします。自治体によって規則が異なりますので、お客様がお住まいの各自治体にご確認ください。
- プライバシー保護のため、事前にオールリセットを行って、システムメモリ内のすべてのデータを消去してください(※P.147「リセット」)。

防水／防塵性能

SH-M06は、nanoSIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じた状態でIPX5^{※1}、IPX8^{※2}の防水性能、IP6X^{※3}の防塵性能を有しています。

- ※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5リットル/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。
- ※2 IPX8とは、常温で水道水、かつ静水の水深1.5mのところにSH-M06を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。
- ※3 IP6Xとは、保護度合いを指し、直径75 μ m以下の塵埃(じんあい)が入った装置に電話機を8時間入れてかかはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

SH-M06が有する防水／防塵性能でできること

- 雨の中で傘をささずに通話ができます(1時間の雨量が20mm程度)。
- 汚れを洗い流すことができます。洗うときは、やや弱め的水流(6リットル/分以下、常温(5℃～35℃)の水道水)で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。nanoSIMカード／microSDカードトレイが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください(☞P.24「水に濡れたときの水抜きについて」)。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。
- 風呂場で使用できます。
 - 常温の水道水以外の液体(温泉水やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水など)を付着させたり、湯船に浸けたりしないでください。故障の原因となります。万が一、水道水以外の液体が付着したり、湯船に落としてしまった場合は、直ちに所定の方法で洗い流してください。
 - 風呂場では、室温は5℃～40℃、湿度は99%以下、使用時間は2時間以内の範囲でご使用ください。
なお、すべての機能の連続動作を保証するものではありません。
 - 水に濡れたあとは、必ず所定の方法(☞P.24「水に濡れたときの水抜きについて」)で水抜き・自然乾燥を行ってください。
風呂場での使用後やカメラのレンズ内側などに結露が発生した場合も自然乾燥を行ってください。
 - 急激な温度変化は、結露の原因となります。
寒い場所から暖かい風呂場などに本端末を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
また、風呂場で暖まった本端末に冷たい水をかけないでください。
故障の原因となります。
 - 風呂場では絶対に充電を行わないでください。

- 風呂場の構造・環境によっては電波が届かず、通話、データ通信ができない場合があります。
- 濡れた手で操作をする場合、反応しなかったり、誤動作したりする可能性があります。
- 風呂場で、イヤホンや外部接続機器を接続して使用しないでください。

ご利用にあたって

防水／防塵性能を維持するために、必ず次の点を確認してください。

- nanoSIMカード／microSDカードトレイをしっかりと閉じてください。開閉するときは、ゴムパッキンに無理な力を加えないように注意してください。
 - nanoSIMカード／microSDカードトレイが浮いていないように完全に閉じたことを確認してください。
 - 防水／防塵性能を維持するため、nanoSIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じる構造となっております。無理に開けようとすると爪や指などを傷つける可能性がありますので、ご注意ください。
 - nanoSIMカード／microSDカードトレイの開閉については☞P.30「取り付けかた」
- 防水／防塵性能を維持するため、異常の有無にかかわらず2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。部品の交換については「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。

注意事項

- 手が濡れているときや端末に水滴や異物がついているときには、nanoSIMカード／microSDカードトレイの開閉はしないでください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など)が挟まると、液体や粉塵が入る原因となります。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイと本体の接触面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。ゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までご連絡ください。
- nanoSIMカード／microSDカードトレイのすき間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、液体や粉塵が入る原因となります。
- 水中で端末を使用(キー操作を含む)しないでください。故障の原因となります。
- 規定以上の強い水流(6リットル/分を超える)を直接当てないでください。SH-M06はIPX5の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。常温の水以外の液体をかけたり、浸けたりした場合は、そのまま使用せず、常温の水で洗ってください。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へ移動するときは端末が常温になってから持ち込んでください。
- 温泉やせっけん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対に浸けないでください。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤーなど)を当てたりしないでください。
- 海水には浸けないでください。
- 砂／泥の上に直接置かないでください。
- 万が一、塩水や海水、飲料、調味料、食品、泥や土などの異物が付着した場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 濡れたまま放置しないでください。寒冷地で凍結するなど、故障の原因となります。
- 端末は水に浮きません。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- 送話口／マイク、受話口、スピーカー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などを尖ったものでつつかないでください。
- 端末が水に濡れた状態でイヤホンマイクを挿さないでください。故障の原因となります。
- 指定のACアダプターやUSB Type-Cケーブル、テレビアンテナケーブル(試供品)は防水／防塵性能を有していません。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。



せっけん/
洗剤/入浴剤



海水



プール



温泉



砂/泥

- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

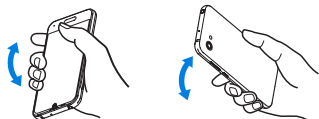
水に濡れたときの水抜きについて

端末を水に濡らした場合、拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 端末表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る



2 端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る



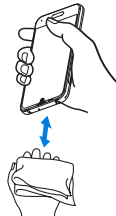
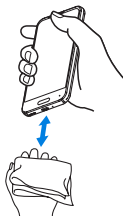
スピーカーの水抜きのためにスピーカーを下にして振る



受話口の水抜きのために受話口を下にして振る

3 送話口／マイク、受話口、スピーカー、キー、USB Type-C接続端子、イヤホンマイク端子などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに端末を軽く押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。



4 端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、約3時間自然乾燥させる

- 水を拭き取ったあとに本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
- 水が抜けない場合は音が聞こえづらいたることがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

充電のとき

指定のACアダプターやUSB Type-Cケーブルは防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 端末に水滴や異物が付着していないか確認してください。異物が付着している場合は、すぐに洗い流してください。また、濡れている場合や水に濡れたあとは、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取り、自然乾燥させてから充電してください。

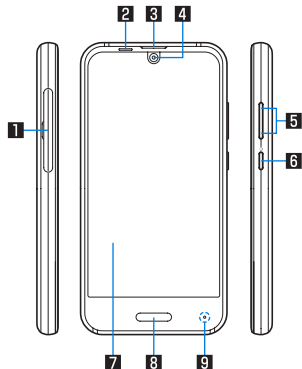
警告

端末に水滴や異物が付着している状態では、Type-Cプラグを絶対に接続しないでください。

- 端末は防水／防塵性能を有しておりますが、濡れたり汚れたりしている状態でType-Cプラグを挿入すると、端末やType-Cプラグに付着した水分や異物などにより、充電ショートによる異常発熱、故障、火災、やけどの原因となります。
- 濡れた手でACアダプターやUSB Type-Cケーブルに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプターやUSB Type-Cケーブルは、水のかからない状態で使用してください。風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りで使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能



1 nanoSIMカード／microSDカードトレイ

- nanoSIMカードについてはP.30「nanoSIMカード」
- microSDカードについてはP.33「microSDカード」

2 近接センサー／明るさセンサー

- 近接センサーは、通話中に顔の接近を感知して、タッチパネルの誤動作を防ぎます。
- 明るさセンサーは、周りの明るさを検知して、バックライトの明るさを調整します。
- センサー部分を手で覆ったり、シールなどを貼らないください。センサーが正常に動作しないことがあります。

3 受話口

4 インカメラ

- カメラの利用についてはP.89「カメラ」

5 $\square(+)$ / $\square(-)$: 音量UP / DOWNキー

- 各種機能で音量を調節します。

6 $\square(\text{Ⓞ})$: 電源キー

- 電源を入れる／切るときなどに利用します。
- ディスプレイの表示 / 非表示を切り替えます。
- 電源キーの操作についてはP.37「電源を入れる／切る」

7 ディスプレイ / タッチパネル

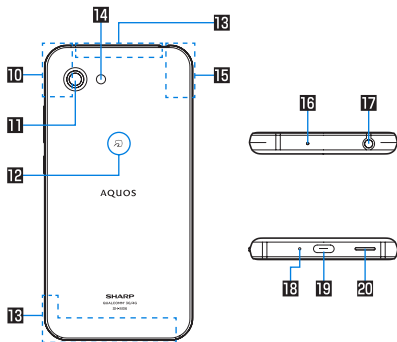
- タッチパネルの操作についてはP.38「タッチパネルの操作」

8 指紋センサー

- 指紋認証による、タッチパネルのロック解除などに利用します。
- 指紋センサーの利用についてはP.137「指紋認証」

9 着信 / 充電ランプ

- 着信 / 充電ランプについてはP.49「着信 / 充電ランプ」



10 Wi-Fi/Bluetoothアンテナ*

11 アウトカメラ

- カメラの利用についてはP.89「カメラ」

12 〻マーク

- ICカードが搭載されています(取り外しはできません)。
- 〻マークの利用についてはP.85「おサイフケータイ」、P.155「NFC通信」

13 内蔵アンテナ*

14 モバイルライト

15 GPS/内蔵アンテナ*

16 マイク

- 動画撮影時に利用します。
- くっきりトーク利用時に、自分の声を明瞭にして相手に伝えるため周囲のノイズを測定します。
- ハンズフリー通話中は送話口として利用します。

17 イヤホンマイク端子

18 送話口/マイク

- 動画撮影時やエモパーにお話する際はマイクとして利用します。

19 USB Type-C接続端子

- 外部機器との接続についてはP.35「充電」、P.157「パソコンとの接続」、P.158「USBホスト機能」

20 スピーカー

- 着信音や音楽などがここから聞こえます。
- ハンズフリー通話中は相手の声がここから聞こえます。

※ 背面のアンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響をおよぼす場合があります。

- 背面カバーは取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障の原因となります。

- 本端末の電池は内蔵されており、お客様ご自身では交換できません。

IMEIプレートについて

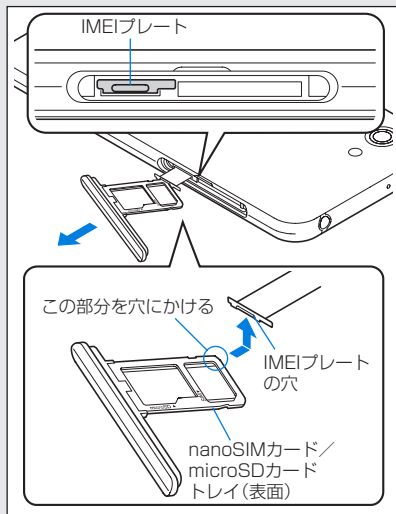
- nanoSIMカード／microSDカードトレイの挿入口付近には、IMEI情報（端末識別番号）、CEマークなどを印刷したシールが貼られたプレートが収納されています。「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせいただく際に、IMEI番号が必要となりますので、プレートを引き出したり、シールをはがしたりしないでください。

IMEIプレート（銘板プレート）の取り扱いに関する注意事項について、「アフターサービスについて」(P.168)をご参照ください。

IMEIプレートを引き出すには

- ① ディスプレイ面を上にして、nanoSIMカード／microSDカードトレイを引き出す。nanoSIMカード／microSDカードトレイの引き出しかたについては以下をご参照ください。
[P.30「nanoSIMカードの取り付け／取り外しについて」]
- ② 指の先をIMEIプレートの穴にかけて、IMEIプレートを引き出す。(IMEIプレートは引き抜かないでください。)

- ③ IMEIプレートを引き出しづらい場合はディスプレイ面を下にして、nanoSIMカード／microSDカードトレイ表面（文字が印刷されている面）の角をIMEIプレートの穴に下からかけて、IMEIプレートを引き出してください。(このとき、nanoSIMカードやmicroSDカードは、事前にトレイから取り外しておいてください。)



- IMEIプレートを無理に引き出したり、力を加えたりすると、破損する恐れがありますのでご注意ください。
- IMEIプレートを引き出してしまった場合は、IMEIプレートが奥に入り込みすぎないように、ゆっくりと挿し込んでください。
- 本端末を操作してIMEIを確認することもできます。
ホーム画面▶[設定]▶[システム]▶[端末情報]▶[端末の状態]▶[IMEI情報]と操作して、IMEI欄を確認

モバイルライトについて

- モバイルライトを点灯後に長時間使用したり、端末の温度が高くなった場合、モバイルライトが自動的に消灯することがあります。また、端末の温度が高い状態では、モバイルライトが利用できないことがあります。

マイクについて

- マイクを利用する機能を使用する場合は、マイクの穴をふさがないようにしてください。

イヤホンマイクについて

- イヤホンマイクの種類によっては使用できない場合があります。

nanoSIMカード

nanoSIMカードは、お客様の電話番号などの情報が記憶されているICカードです。

- 日本国内では、通話可能なnanoSIMカードを取り付けないと緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- nanoSIMカードには、PINコードという暗証番号があります(※P.136「PINコード」)。

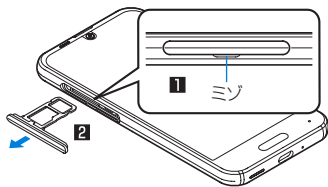
nanoSIMカードの取り付け／取り外しについて

- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- nanoSIMカードの取り付け／取り外しは、ディスプレイ面を上にして行ってください。

■ 取り付けかた

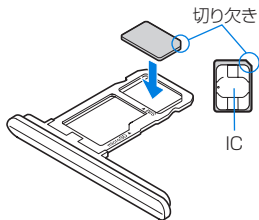
1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体から引き出す

- ミゾに指の先を掛けて手前に引き出し(1)、ゆっくりと水平に引き出してください(2)。
カードトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。



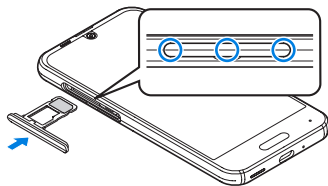
2 nanoSIMカードのIC面を下にして、nanoSIMカード／microSDカードトレイに取り付ける

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- nanoSIMカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
- nanoSIMカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



3 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に対して水平に、奥までしっかり差し込む

- O部分をしっかりと押し、本体とカードトレイにすき間がないことを確認してください。
- カードトレイをゆっくりと差し込んでください。
- カードトレイを裏表逆に差し込まないでください。裏表逆に差し込むと、カードトレイが破損する恐れがあります。
- カードトレイの差し込みが不十分な場合は、防水／防塵性能が損なわれたり、正常に動作しないことがあります。

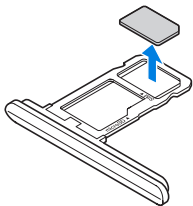


■ 取り外しかた

- nanoSIMカード／microSDカードトレイの着脱について詳しくは、「取り付けかた」(P.30)をご参照ください。

1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを引き出す

2 nanoSIMカードをnanoSIMカード／microSDカードトレイから取り外す



3 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に対して水平に、奥までしっかり差し込む

- nanoSIMカードやnanoSIMカード／microSDカードトレイを取り外す際は、落とさないようにご注意ください。
- ディスプレイ面を下にしたり、本体を立てた状態でnanoSIMカード／microSDカードトレイを引き出すと、取り付けられているnanoSIMカードが外れ、紛失する可能性があります。
- nanoSIMカードを取り扱うときは、ICに触れたり傷つけたりしないようにご注意ください。また、無理に取り付けようとしたり、取り外そうとするとnanoSIMカードが破損したり、nanoSIMカード／microSDカードトレイが変形したりする恐れがありますので、ご注意ください。
- nanoSIMカードの詳しい取り扱いについては、nanoSIMカードの取扱説明書を参照してください。
- 取り外したnanoSIMカードは、なくさないようにご注意ください。

microSDカード

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- SH-M06では市販の2GバイトまでのmicroSDカード、32GバイトまでのmicroSDHCカード、256GバイトまでのmicroSDXCカードに対応しています。また、スピードクラス※は最大クラス10、UHSスピードクラス※はクラス1 (DDR50)まで使用できます(2018年1月現在)。
※スピードクラスはmicroSDカードの性能であり、スピードクラスの性能のすべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- microSDカードの情報については、次のサイトをご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm06/peripherals/microsd.html>
- 端末にmicroSDカードを挿入した直後(端末で使用するための情報を書き込み中)や、microSDカード内のデータ編集中に電源を切らないでください。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。
- 初期化されていないmicroSDカードを使うときは、端末で初期化する必要があります(☞P.133「microSDカード/USBメモリのフォーマット」)。パソコンなどで初期化したmicroSDカードは、端末では正常に使用できないことがあります。
- 他の機器からmicroSDカードに保存したデータは、端末で表示、再生できないことがあります。また、端末からmicroSDカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できないことがあります。

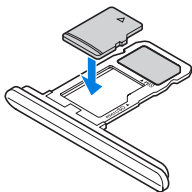
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります(データはすべて削除されます)。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先/コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- microSDカードに保存されたデータはバックアップを取るなどして別に保管してくださるようお願いいたします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

microSDカードの取り付け/取り外しについて

- microSDカードの取り付け/取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。端末は手でしっかり持ってください。
- microSDカードの取り付け/取り外しは、ディスプレイ面を上にして行ってください。
- nanoSIMカード/microSDカードトレイの着脱方法や、着脱時の注意事項などは、nanoSIMカードの取り付け/取り外しと同様です。詳しくは、「nanoSIMカード」(☞P.30)をご参照ください。

■ 取り付けかた

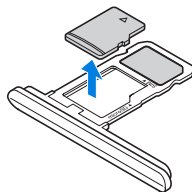
- 1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを引き出す
- 2 microSDカードの金属端子面を下にして、nanoSIMカード／microSDカードトレイに取り付ける
 - microSDカードの向きに注意して、確実に取り付けてください。
 - microSDカードは、カードトレイから浮かないように取り付けてください。
浮き上がった状態のまま本体に取り付けると、破損の原因となります。



- 3 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に対して水平に、奥までしっかり差し込む

■ 取り外しかた

- 1 nanoSIMカード／microSDカードトレイを引き出す
- 2 microSDカードをnanoSIMカード／microSDカードトレイから取り外す




- 3 nanoSIMカード／microSDカードトレイを本体に対して水平に、奥までしっかり差し込む

充電

お買い上げ時は、内蔵電池は十分に充電されていません。必ず充電してからご使用ください。

- 本端末に対応する最新の充電機器は、次のサイトでご確認ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/other/shm06/index.html>

■ 充電時のご注意

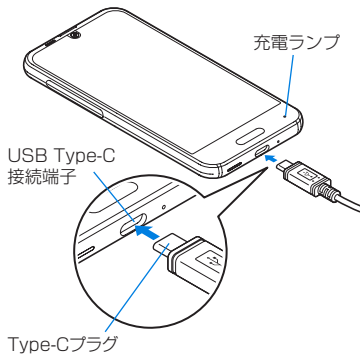
- 充電時間や十分に充電したときの利用可能時間の目安についてはP.171「主な仕様」
- 端末の電源を入れておいても充電できません(充電中は電池マークに[)が重なって表示されます)。
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、端末の電源が入っていると内蔵電池の充電量が減少します。このような場合、指定のACアダプターは再び充電を行います。ただし、ACアダプターから端末を取り外す時期により、内蔵電池の充電量が少ない、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 充電完了後でも、端末を長時間放置している場合は電池残量が減少している場合があります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 電池切れの表示がされたあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

- 電池残量が十分ある状態で、頻繁に充電を繰り返すと、電池の寿命が短くなる場合がありますので、ある程度使用してから(電池残量が減ってからなど)充電することをおすすめします。
- 電池温度が高くなった場合、充電完了前でも自動的に充電を停止する場合があります。充電ができる温度になると自動的に充電を再開します。

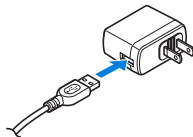
ACアダプターで充電

指定のACアダプター SH-AC04を使って充電する場合は、次の操作を行います。

- 1 USB Type-CケーブルのType-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む

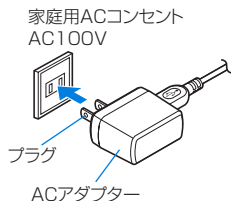


- 2 USB Type-CケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子に水平に差し込む



- 3 ACアダプターの電源プラグをコンセントに差し込む

- 充電ランプが点灯し、充電が始まります。
- フル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。



- 4 充電が完了したら、ACアダプターの電源プラグをコンセントから抜き、USB Type-CケーブルのUSBプラグをACアダプターのUSB接続端子から水平に抜く
- 5 USB Type-CケーブルのType-CプラグをUSB Type-C接続端子から水平に抜く

- 指定のACアダプターは、AC100Vから240Vまで対応しています。
- 指定のACアダプターのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。
- 無理に差し込んだり抜いたりすると、USB Type-C接続端子やType-Cプラグが破損や故障する場合がありますので、ご注意ください。

USB Type-Cケーブルで充電

端末とパソコンを指定のUSB Type-Cケーブル SH-AC04で接続すると、端末を充電することができます。

- パソコンとの接続方法については[P.157「パソコンとの接続」]

電源を入れる／切る

■ 電源を入れる

1 〇(⏻) (3秒以上)

- はじめて端末の電源を入れたときに初期設定を行ってください([P.48「初期設定」])。

■ 電源を切る／再起動

1 〇(⏻) (2秒以上)

2 項目を選ぶ


- **電源を切る**: 端末の電源を切ります。
- **再起動**: 端末を再起動します。

■ ディスプレイの表示／非表示

〇(⏻)を押したときや端末を一定時間使用しなかったときは、ディスプレイの表示が消えます。ディスプレイが消えているときに〇(⏻)を押すと、ディスプレイが表示されます。

■ タッチパネルのロック

電源を入れたときやディスプレイを表示させたときはタッチパネルがロックされています。

[>]を上にはスワイプすると、ロックが解除されます。

- ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像は、自動的に切り替わります。自動的に切り替わらないようにするには[ロックフォトシャッフル]をOFFに設定します([P.126「ディスプレイ」])。



タッチパネルのロック画面の操作

- 音声検索起動: [🔊]を左にスワイプ
 - カメラの起動: [📷]を上スワイプ
 - 通知詳細情報の表示: 時計を下にドラッグ
 - ステータスパネルの表示: ステータスバーを下にドラッグ
- タッチパネルのロック画面には通知が表示されます。通知の表示についてはP.124「ロック画面の通知」
 - エモパーをONにしている場合、時計の下にエモパーがお伝えするさまざまな情報が表示されます。情報によっては2回タッチすると、関連情報や詳細を確認できます。また、[エモパーメモ]がONのときは、タッチパネルのロック画面でエモパーメモが利用できます。
 - エモパーについてはP.112「エモパー」

基本操作

タッチパネルやナビゲーションキーの操作、スクリーンショットの撮影など、端末の基本的な操作について説明します。

タッチパネルの操作

ディスプレイ(タッチパネル)を使用するための操作について説明します。

- 利用中の機能や画面によって操作は異なります。

タッチパネル利用時のご注意

- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押ししたり、先が尖ったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
- 次の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
 - 手袋をしたままでの操作
 - 爪の先での操作
 - 異物を操作面に乗せたままでの操作
 - 保護シートやシールなどを貼ったままでの操作
 - タッチパネルが濡れたままでの操作
 - 指が汗や水などで濡れた状態での操作
 - 水中での操作

※ [グローブモード]がONの場合、手袋を装着したまま使用できます(P.126「ディスプレイ」)。

- 確認画面などの表示中に、確認画面やステータスバー以外をタッチすると操作が中止されることがあります。

■ タッチ

画面に表示されるキーや項目に触れて指を離すと、選択・決定を行います。



■ ロングタッチ

利用中の機能や画面によっては、タッチパネルに触れたままにするとメニューが表示されることがあります。

■ スライド(スワイプ)／ドラッグ

タッチパネルに触れたまま指を動かすと、画面をスクロールしたり、アイコンやウィジェットなどを目的の位置まで移動したりできます。

また、メニューや項目に間違っただけに触れたときにメニューや項目から離れるように指を動かすと、選択を中止できます。



■ フリック

ホーム画面などでタッチパネルをはらうように指を動かすと、ページの切り替えができます。



■ ピンチアウト／ピンチイン

利用中の機能や画面によっては、2本の指でタッチパネルに触れ、2本の指の間を広げる(ピンチアウト)／狭める(ピンチイン)ように指を動かすと、画面の拡大／縮小などができます。



機能利用中の操作

■ ナビゲーションキー

画面下部に表示されるナビゲーションキーを使って基本的な操作を行うことができます。



1 ◀ / ▶: 戻るキー／閉じるキー

- 1つ前の画面に戻します。
- キーボードを閉じます。

2 ○: ホームキー

- ホーム画面を表示します。

3 ◻ / ◻: アプリ使用履歴キー／マルチウィンドウキー

- アプリ使用履歴を表示します(☞ P.59「アプリ使用履歴」)。
- マルチウィンドウ利用中であることを表します(☞ P.60「マルチウィンドウ」)。

■ アシスト機能の利用

アシスト機能に対応したアプリをすばやく起動することができます。

1 [🗉]をロングタッチ

- 起動するアプリの設定: ホーム画面▶[🗉]▶[アプリと通知]▶[詳細設定]▶[デフォルト アプリ]▶[アシストと音声入力]▶[アシストアプリ]▶アプリを選ぶ

■ メニューを呼び出す

[⋮]/[≡]などのメニューキーのタッチや画面の左端を右にスライド、画面のロングタッチを行うと、その画面で利用できる機能(メニュー)が表示されます。

例: 電卓画面



■ 設定の切替

設定項目の横にチェックボックスなどが表示されているときは、タッチすることで設定の有効/無効やON/OFFを切り替えることができます。

例: NFC/おサイフケータイ 設定画面、日付と時刻画面

- [☑]は有効、[☐]は無効の状態です。



- [🟢]はON、[🟡]はOFFの状態です。



■ 縦／横表示

本端末の傾きに合わせて、自動的に縦画面表示または横画面表示に切り替わります。

- 表示中の画面によっては、端末の向きを変えても、縦／横表示が切り替わらない場合があります。
- 端末が地面に対して水平に近い状態で向きを変えても、縦／横表示は切り替わりません。
- 音やバイブレータが動作しているときは、切り替えが正しく行われない場合があります。
- 画面が点灯した直後や電源を入れた直後は、縦横が正しく表示されない場合があります。
- 自動的に切り替わらないように設定することもできます (P.126「ディスプレイ」)。また、ステータスパネルから設定できます (P.52「ステータスパネルの利用」)。
- 縦表示から横表示にした場合、アプリによっては全画面表示されることがあります。

スクリーンショットの撮影

\square (\odot) + \square (\ominus)を1秒以上押すと、表示中の画面を画像として撮影できます。

- 撮影した画像は本体メモリに保存され、アルバムなどで確認することができます。
 - Clip Nowを利用してスクリーンショットを撮影することができます (P.131「Clip Now」)。
- テレビや電子書籍の表示中などは保存できません。
 - アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

端末内やサイトの情報の検索

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶ [Google]▶ [Google]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- クイック検索ボックスが表示されます。

2 キーワードを入力



1 検索ボックス

- 検索するキーワードを入力します。
- キーワードを入力すると、入力した文字から始まるアプリやデータなどを検索し、一覧表示します。

2 音声検索切替

- マイクに向かって「OK Google」と発声しても音声検索に切り替わります。


3 検索結果を選ぶ

- 検索結果がアプリの場合は対応するアプリが起動します。
- [画像]などが表示された場合は、ジャンルを選択して検索することができます。
- 検索結果にキーボードが重なって表示される場合は[\square]をタッチしてキーボードを閉じてください。

- 検索結果画面などで[\square]が表示されているときに、[\square]をタッチすると検索の設定ができます。

文字入力

QWERTYキーボードと12キーボードを利用して文字入力したり、音声や区点コードで入力したりできます。

- 文字入力時に画面下部の[]をタッチすると、使用する入力ソフトを設定することができます。ここでは、[S-Shoin]の場合で説明しています。

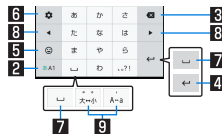
キーボードの見かた

- 次の2種類のキーボードを利用できます。

QWERTYキーボード	文字入力キーをタッチすると表示されている文字を入力できます。ローマ字で文字を入力します。
12キーボード	1つの文字入力キーに複数の文字が割り当てられています。文字入力キーを上下左右にフリックして、文字を入力します。 <ul style="list-style-type: none">● 入力したい文字が表示されるまで文字入力キーをタッチして、文字を入力することもできます。






QWERTYキーボード



12キーボード

※ 各キーは設定や状況に応じて表示が切り替わります。

1 シフトキー

- 大文字／小文字を切り替えるときなどにタッチします。
 - []が表示されているときは小文字が入力されます。
[]が表示されているときは最初に入力する文字が大文字になります。[]が表示されているときは大文字が入力されます。
 - 大文字／小文字を切り替えると、キーボードで入力できる記号も変わります。

2 入力モード切替キー

- 入力モードを変更します。
 - タッチすると、半角英字→半角数字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。右にスライドすると、半角数字→半角英字→ひらがな漢字の順に、入力モードが切り替わります。
 - 上にスライドすると、入力モードを一覧から選択することができます。
 - ひらがな漢字
 - 半角英字
 - 半角数字
 - 全角英字
 - 全角数字
 - 区点コード
 - 各入力モードで設定したキーボードが表示されます。

3 削除キー

- 文字削除キー動作で設定した方向の文字を消します。

4 エンターキー

- 改行します。
- 入力した文字を確定します。
- 検索ボックスなどの入力欄に入力した内容を実行します。
- 次の入力欄に移動します。
- ロングタッチすると、キーボードを閉じます。

5 記号キー

- 絵文字／記号／顔文字リストを表示します。
 - アプリによっては、入力できないものがあります。
- 右にスライドすると連携・引用アプリ一覧が表示されます。

6 設定キー

- 設定メニューを表示します。

7 スペースキー

- スペースを入力します。

8 カーソルキー

- カーソルを移動したり、変換する文字の区切りを変更したりできます。

9 文字切替キー

- 大文字／小文字を切り替えるときにタッチします。
- 濁点／半濁点を付けるときにタッチします。

■ キーボードの切替

1 文字入力画面で[✳]▶[入力方式]▶[12キーボード]／[QWERTYキーボード]



- [✳]を上スライドしても切り替えることができます。

文字入力の設定

■ 表示・キーボード設定

1 文字入力画面で[✳] ▶ [表示・キーボード設定]

2 項目を選ぶ

- **一括シンプル切替**: 見やすいデザインのキーボードを利用するか設定します。
- **詳細設定**: キーボードのサイズや幅寄せ、変換候補欄の行数、ガイド表示、デザインについて設定します。
 - 幅寄せを設定した場合、12キーボードを利用中に[] / [] をタッチすると、キーボードや変換候補欄などを左右に移動できます。
- **絵文字・記号リスト列数**: 絵文字・記号リストの列数を設定します。
- **キー入力ガイド表示**: 選択したキーの拡大表示やフリック入力のガイドを表示するか設定します。
- **切替ボタン表示**: キーボードのサイズや入力方式を切り替えるボタンを表示するか設定します。
- **ソフトキーボード表示**: Bluetooth機能などで市販のキーボードを接続して文字入力するときに文字入力画面を表示するか設定します。

■ フリック設定・入力補助

1 文字入力画面で[✳] ▶ [フリック設定・入力補助]

2 項目を選ぶ

- **フリック感度**: フリック入力をするときの文字選択の感度を設定します。
- **ガイドの表示速度**: フリック入力時のガイドの表示速度を設定します。
- **トグル入力**: トグル入力を利用するか設定します。
- **キー操作音**: 文字入力時の操作音の有無を設定します。
- **キー操作パイプ**: 文字入力時にパイプレータを動作させるか設定します。
- **キー操作パイプ時間**: キー操作パイプでパイプレータが動作する時間を設定します。
- **文字削除キー動作**: 削除キーの動作を設定します。
- **ローマ字キーボード補助**: ローマ字で日本語入力するときに不要なキーをタッチできないように設定します。
- **自動カーソル移動**: 文字入力後にカーソルを自動的に右側に移動させる速度を設定します。
- **絵・記・顔の連続入力**: 絵文字・記号・顔文字リストで候補選択後にリスト表示を維持するか設定します。

[文字削除キー動作]について

- 文字にカーソルが当たっている場合はカーソル位置の文字を削除します。[左側削除(バックスペース)]に設定したときカーソルが先頭にある場合はカーソル右側の文字を、[右側削除(クリア)]に設定したときカーソルが文末にある場合はカーソル左側の文字を消します。

■ 変換機能

1 文字入力画面で[✳] ▶ [その他の設定] ▶ [変換機能]

2 項目を選ぶ

- **つながり予測**: 入力確定直後につながり予測候補を表示します。
- **ワイルドカード予測**: ワイルドカード予測を利用するか設定します。
- **ネット変換エンジン**: インターネット上の変換エンジンを利用して変換候補を表示します。
- **自動大文字変換**: 半角英字入力で文頭文字を大文字で入力します。
- **自動スペース入力**: 半角英字入力で英単語を選択したあと半角スペースを自動的に挿入します。

[自動大文字変換]、[自動スペース入力]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

■ 辞書

1 文字入力画面で[✳] ▶ [その他の設定] ▶ [辞書]

2 項目を選ぶ

- **ユーザー辞書**: ユーザー辞書の単語を編集します。
- **ダウンロード辞書**: ダウンロード辞書の登録/解除/削除をします。
- **変換辞書の更新**: 変換辞書の更新やダウンロードをします。
- **電話帳名前データと連携**: 電話帳の名前データを辞書に追加/初期化します。

■ スライド切替

1 文字入力画面で[✳] ▶ [その他の設定] ▶ [スライド切替]

2 項目を選ぶ

- **上方向スライド**: キーボードを下端から上端までスライドしたときの動作を設定します。
- **下方向スライド**: キーボードを上端から下端までスライドしたときの動作を設定します。
- **右方向スライド**: キーボードを左端から右端までスライドしたときの動作を設定します。
- **左方向スライド**: キーボードを右端から左端までスライドしたときの動作を設定します。

■ 各種リセット

1 文字入力画面で[✳] ▶ [その他の設定] ▶ [各種リセット]

2 項目を選ぶ

- **設定リセット**: S-Shoinの設定をリセットします。
- **学習辞書リセット**: 学習辞書をリセットします。
- **顔文字リセット**: 顔文字リストの内容をリセットします。

文字入力のしかた

例:「文字」と入力するとき

1 文字入力画面で「もじ」と入力



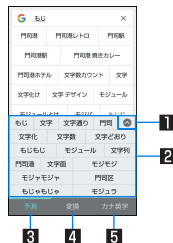
1 拡大

- 変換候補欄を拡大します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。

2 []



1 縮小

- 変換候補欄を縮小します。

2 変換候補欄

- 変換候補をタッチすると入力できます。
- ネット変換エンジンを設定している場合は[ネット変換]が表示されます。タッチするとインターネット上の変換エンジンを利用した変換候補が表示されます。

3 予測

- 予測候補を表示します。

4 変換

- 変換候補を表示します。
- [◀] / [▶] をタッチすると変換する文字の区切りを変更することができます。[確定] をタッチして変換した文字を確定します。

5 カナ英数

- 入力した文字のカタカナ、タッチしたキーに割り当てられた英字や記号などの変換候補を表示します。

3 変換候補欄で「文字」を選ぶ

■ ワイルドカード予測

入力した文字数から変換候補を予測して表示します。

- あらかじめ[ワイルドカード予測]を有効にしておいてください(☞P.45「変換機能」)。
- ひらがな漢字入力モード、半角英字入力モードのときに利用できます。

例:「アナウンス」と入力するとき

1 文字入力画面で「あな」と入力

2 [▶]▶[▶]▶[▶]

- [▶]をタッチするたびに[✱]が入力され、文字数に合わせた予測候補が表示されます。

3 変換候補欄で「アナウンス」を選ぶ

■ 区点コードで入力

文字ひとつひとつに付与されている4桁の区点コードを利用して、漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力できます。

1 文字入力画面で入力モード切替キーを上スライド▶[区点コード]

2 区点コードを入力

- 4桁目を入力すると、コード入力した文字が表示されます。
- 4桁目を入力すると区点コード入力モードにする前の入力モードに戻ります。

■ 音声で入力

音声で文字を入力することができます。

1 文字入力画面で[✱]▶[入力方式]▶[音声入力]

- [✱]をQWERTYキーボードでは右にスライド、12キーボードでは下にスライドしても音声入力に切り替えることができます。

2 マイクに向かって話す

- 次の場合は正しく認識できないことがあります。
 - 声が大きすぎる場合
 - 周囲の雑音が大きい場合
 - 発音が明瞭でない場合
 - 発声が不自然な場合
 - 発声速度が速すぎる場合
 - キーを押したり、マイクを触ったりした場合

■ 文字の編集

入力した文字を選択して切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。

1 入力した文字をロングタッチ

2 文字を編集する

- [●] / [●] をドラッグして選択範囲を指定し、文字の切り取りやコピー、貼り付けなどの操作ができます。[すべて選択] をタッチすると、入力した文字をすべて選択できます。
 - [履歴から] をタッチすると、切り取りやコピーを行った文字の履歴が表示されます。文字を選択して貼り付けることができます。
 - 切り取りやコピーを行った文字の一覧を表示: [✳] ▶ [アプリ連携・引用(マッシュルーム)] ▶ [コピー履歴SH]
 - [共有] をタッチすると、選択した文字を他のアプリで利用できます。
 - 表示されていないメニューがある場合、[⋮] が表示されます。タッチするとメニューが表示されます。
- 切り取った文字、コピーした文字は合わせて10件まで保存されます。
- 切り取った文字、コピーした文字が最大保存件数を超えた場合は、古い履歴から順に削除されます。
- 利用するアプリによっては、表示されるアイコンや操作方法が異なる場合があります。

初期設定

はじめて端末の電源を入れた場合は、初期設定画面が表示されません。画面の指示に従って設定してください。

- 設定項目は次のとおりです。ただし、各設定で選択した内容により、以降に表示される項目は異なります。
 - 言語の設定
 - セットアップ方法の選択
 - ネットワークの選択
 - 携帯通信サービスの更新
 - Googleアカウントの設定 (P.141「Googleなどのアカウントの設定」)
 - 本端末の所有者名
 - 指紋によるロック解除
 - Googleサービス
 - Google アシスタントの設定
 - その他の設定項目

着信／充電ランプ

不在着信がある場合や充電中などに着信／充電ランプを点灯／点滅してお知らせします。

表示状態	色	端末の状態
点灯	赤色	充電中(電池残量約94%以下)
点灯	緑色	充電中(電池残量約95%以上)
点滅	赤色	充電ができない状態
点滅	白色	不在着信あり

- アプリによっては、着信ランプについて設定できるものがあります。
- ディスプレイが表示されている場合、不在着信をお知らせする着信ランプが点滅しません。ステータスバーが表示される画面でお知らせアイコンを確認してください。
- 充電中にフル充電状態になっても、充電ランプは消灯しません。

画面表示／アイコン

画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで、端末の状態や不在着信の有無など、さまざまな情報を知ることができます。ステータスパネルを表示させると詳細情報を確認できます。


アイコンの見かた


- 表示されるアイコンには、次の2種類があります。
 - お知らせアイコン: 不在着信や新着メールなどをお知らせします。
 - ステータスアイコン: 電池残量や電波状態など端末の状態を表します。




■ 主なお知らせアイコン一覧

 : 不在着信あり (P.67「通話履歴」)

 : 新着SMSあり (P.72「SMS」)

 : 新着メールあり (P.74「Eメール」)

 : 新着Gmailあり (P.78「Gmail™」)


















 : エラー表示










- 何らかのエラーが発生したときに表示されます。

 : データ通信が無効 (P.122「データ使用量」)









- データ使用量が上限に達した場合に表示されます。

 : アラーム情報あり (P.108「アラーム」)

	: カレンダーのスケジュール通知あり
ワンセグ情報あり (☞ P.99「テレビ(ワンセグ)」)	
 ~ 	: 視聴中／受信中
	: 録画中
	: 録画予約あり
電話表示 (☞ P.63「電話」)	
	: 発信中／着信中／通話中
	: 保留中
	: 簡易留守録情報あり
	: microSDカード表示 (☞ P.133「ストレージ」)
	: 本体メモリの空き容量低下 (☞ P.133「ストレージ」)
Bluetooth表示 (☞ P.151「Bluetooth®機能」)	
	: Bluetooth機器からの登録要求／接続要求あり
	: データ受信要求あり
データ送受信表示	
	: 送信表示
	: 受信表示
アプリ表示	
	: アップデートあり
	: アプリのインストール完了
	: オープンネットワークあり (☞ P.120「Wi-Fiの設定」)


テザリング表示 (☞ P.123「アクセス ポイントとテザリング」)	
	: [USBテザリング]が有効
	: [Wi-Fiテザリング]が有効
	: [Bluetoothテザリング]が有効
	: 複数のテザリングが有効
	: VPN接続 (☞ P.160「VPNの追加」)
	: システム アップデートあり (☞ P.169「システム アップデート」)
	: [グローブモード]が有効 (☞ P.126「ディスプレイ」)
	: [リラクソオート]が動作中 (☞ P.128「リラクソ設定」)
	: 表示されていないお知らせアイコンあり

■ 主なステータスアイコン一覧

	: アラーム設定中 (☞ P.108「アラーム」)
● マナーモードを[サイレント]に設定中はアイコンの色が薄くなります。	
電池残量表示 (☞ P.125「省エネ&バッテリー」)	
 ~ 	: 約100%～約6%
	: 約5%以下
● 充電中は電池マークに[⚡]が重なって表示されます。	
電波状態表示	
 ~  *	: レベル表示(5段階)
	: 圏外
	: nanoSIMカードが未挿入 (☞ P.30「nanoSIMカード」)

Wi-Fi電波状態表示(☞P.119「Wi-Fi」)

: レベル表示(5段階)


: 機内モード中(☞P.119「ネットワークとインターネット」)

3Gデータ通信状態表示

: 3G使用可能

: 3Gデータ受信中

: 3Gデータ送信中

: 3Gデータ送受信中

GSMデータ通信状態表示

: GSM使用可能

: GSMデータ受信中

: GSMデータ送信中


: GSMデータ送受信中

4G(LTE)データ通信状態表示

: 4G(LTE)使用可能

: 4G(LTE)データ受信中

: 4G(LTE)データ送信中

: 4G(LTE)データ送受信中

HSPAデータ通信状態表示

: HSPA使用可能

: HSPAデータ受信中

: HSPAデータ送信中

: HSPAデータ送受信中

: 国際ローミング中(☞P.161「データローミング」)

: NFC/おサイフケータイ ロック中(☞P.88「NFC/おサイフケータイ ロック」)


: [Reader/Writer, P2P]が有効(☞P.88「NFC/おサイフケータイ 設定」)

マナーモード表示(☞P.53「マナーモード」)

: 通常マナー


: サイレント

: アラームのみ


: 優先する通知のみ


通話中表示(☞P.66「通話中の操作」)


: ハンズフリー通話中

: ミュートに設定中

Bluetooth表示(☞P.151「Bluetooth®機能」)

: 待機中

: 接続中




: 位置情報をGPSで測位中(☞P.140「位置情報」)

簡易留守録表示

: 簡易留守録設定中で簡易留守録が0件

: 簡易留守録設定中で簡易留守録が1~9件

: 簡易留守録設定中で簡易留守録が10件

※ インターネット接続されていないアクセスポイントに接続中は、/のように電波状態表示にが重なって表示されます。

ステータスパネルの利用

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

- 1本の指でステータスバーを下にドラックすると、機能ボタンなどの表示エリアを縮小して表示します。

2 ステータスパネルを利用する



1 通信事業者名

- 接続している通信事業者名が表示されます。

2 明るさ調整バー

- ドラッグすると画面の明るさを調整できます。

3 機能ボタン

- マナーモード、Wi-Fi機能、位置情報の使用などについて設定できます。
 - [現在地]をタッチすると、位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[同意しない] / [同意する]によって、設定されるモードが異なります(※P.140「位置情報」)。
- 表示エリアを左右にフリックするとページを切り替えられます。

4 インジケータ

- 機能ボタン表示エリアのページ枚数と現在の表示位置を表します。

5 編集

- 機能ボタンの並べ替えや追加、削除ができます。

6 通知詳細情報

- 端末の状態やお知らせの内容を確認できます。
- 詳細情報の種類によっては、次の操作ができます。
 - 対応するアプリの起動や操作: 詳細情報や機能をタッチ
 - 詳細表示 / 簡易表示の切替: 詳細情報を2本の指で同時に上下にスライド、またはピンチアウト / ピンチイン
 - 詳細情報の消去: 詳細情報を左右にフリック
 - アプリの通知について設定: 詳細情報をロングタッチ
▶ 画面の指示に従って操作

7 設定

- 「設定」アプリを起動します。

8 機能ボタン表示エリアの拡大 / 縮小

- 機能ボタンなどの表示エリアを拡大 / 縮小します。
- 画面を上下にスライドしても拡大 / 縮小できます。

9 すべて消去

- 通知詳細情報とお知らせアイコンを消去します。通知詳細情報の内容によっては消去されない場合があります。
- 不在着信の通知が1件ある場合、通知詳細情報を詳細表示にすると[コールバック]、[メッセージ]が表示されます。タッチして電話をかけたりSMSを送信したりできます。
- アプリによっては、メッセージを受信した際に、ステータスパネルで返信操作を行えるものがあります。通知詳細情報を詳細表示にし、画面の指示に従って操作してください。

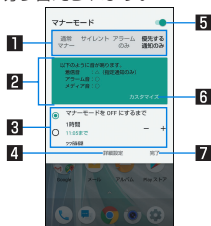
■ マナーモード

公共の場所などで、端末の音を周囲に出さないように設定します。

1 ステータスバーを2本の指で同時に下にドラッグ

2 [マナーモード] ▶ ONにする

- マナーモードの設定画面が表示されます。表示される項目は、選択するマナーモードによって異なります。
- マナーモードのアイコンをタッチすると、マナーモードのON/OFFを切り替えられます。



1 マナーモードの種類

- 設定するマナーモードを選択します。
 - 通常マナー: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータが動作します。アラーム音、メディア音はそれぞれの設定に従って鳴動します。
 - サイレント: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音も鳴りません。
 - アラームのみ: 着信音や操作音は鳴らず、着信時などはバイブレータも動作しません。アラーム音、メディア音は鳴ります。
 - 優先する通知のみ: 詳細設定の[優先する通知のみを許可]の設定に従って、着信音やお知らせ音は鳴ります。その他の動作については、マナーモードを設定していないときと同様です。

2 動作説明

- 選択しているマナーモードを設定した場合の動作について表示されます。

3 解除までの期間

- マナーモードが解除されるまでの期間を設定します。時間や次のアラームまでを選択すると、一定時間経過後や次のアラーム鳴動時に、マナーモードが自動で解除されます。
- [-]/[+]をタッチすると、マナーモードが解除されるまでの時間を設定できます。

4 詳細設定

- 優先する通知や、特定の時間帯などの通知動作について設定します。
 - 優先する通知のみを許可*: マナーモードを[優先する通知のみ]に設定した場合、本設定に従って着信音やお知らせ音を鳴らします。
 - 視覚的な通知のブロック: 画面が点灯/消灯しているときの通知動作について設定します。
 - 自動ルール: 特定の時間帯や予定期間の通知動作について設定します。
※アラームは常に優先する通知となり、設定の変更はできません。
- タッチすると選択中のマナーモードが設定されます。

5 マナーモードON/OFF

- マナーモードの設定状態が表示されます。タッチするとマナーモードのON/OFFを切り替えられます。

6 カスタマイズ

- 詳細設定の[優先する通知のみを許可]を設定します。

7 完了

- マナーモードを設定します。

- マナーモードを設定すると、機能ボタンの表示が変更されま
す。タッチするとマナーモードが解除されます。

- マナーモード設定中も、次の音は鳴ります。

- 静止画撮影時のシャッター音
- 静止画撮影時のフォーカスロック音
- 動画撮影時の開始音/停止音

- 簡易留守録設定が[マナーモード連動]に設定されている場合、マナーモードが設定されているときは簡易留守録が有効になり、簡易留守録の設定に従って動作します。
- 通常マナー設定中に着信音量を上げると、マナーモードは解除されます。マナーモードを設定していないときに着信音量を「0」にすると、通常マナーが設定されます。
- 通常マナーを設定中に ⏏ (+) / ⏏ (-) を押して音量バーを表示させ、 ⏏ (-) を押すとサイレントに設定されます。
- サイレント、アラームのみを設定中に ⏏ (+) / ⏏ (-) を押して音量バーを表示させ、 ⏏ (+) を押すと通常マナーに設定されます。

AQUOS Home

AQUOS Homeは、ホーム画面(デスクトップシート/お気に入りトレイ)とアプリ一覧画面で構成されたホームアプリです。ホーム画面のデスクトップシートにはアプリ/機能のショートカット/ウィジェット、お気に入りトレイにはアプリ/機能のショートカットを登録することができます。アプリ一覧画面にはインストールされているアプリが表示されます。

AQUOS Homeの見かた

ホーム画面を上からスワイプ/フリックすると、アプリ一覧画面に切り替わります。アプリ一覧画面で一番上を表示した状態で下からスワイプ/フリックすると、ホーム画面に切り替わります。



ホーム画面



アプリ一覧画面

1 デスクトップシート

- 左右にフリックするとページを切り替えることができます。

2 ウィジェット

3 フォルダ

- フォルダをタッチ▶フォルダ名を選ぶと、変更できます。フォルダ名が未設定のときは、[名前のないフォルダ]と表示されます。フォルダをタッチしてインジケータが表示されている場合は、左右にフリックするとページを切り替えることができます。

4 ページインジケータ

- デスクトップシートのページを切り替えたときに、現在の表示位置を表示します。

5 お気に入りトレイ

- お気に入りのアプリや機能のショートカットを登録して、すばやく起動させることができます。

6 検索

- クイック検索ボックスを利用できます (P.41「端末内やサイトの情報の検索」)。

7 アプリ

8 アプリ一覧画面の表示

- アプリ一覧画面に切り替わります。

ホーム画面の管理

■ デスクトップシートのページの並べ替え

- 1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ
▶ 移動するページをロングタッチ
- 2 移動する位置にドラッグして、指を離す ▶ **[◀]**

- ホーム画面をピンチインしてもデスクトップシートの並べ替えができません。
- デスクトップシートの最初(左端)のページを移動することはできません。

■ アプリ/ウィジェット/フォルダの移動

- 1 ホーム画面/アプリ一覧画面 ▶ アプリ/ウィジェット/フォルダをロングタッチ
- 2 移動する位置にドラッグして、指を離す
 - 各デスクトップシートの左右端までドラッグすると、ページを移動できます。また、最終ページの右端にドラッグすると、新しいページを追加できます。
 - ホーム画面のアプリ/ウィジェット/フォルダを[削除]までドラッグするとホーム画面から削除できます。アプリ一覧画面のアプリを[アンインストール]までドラッグするとアンインストールできます。

- ホーム画面のアプリを削除してもアプリはアンインストールされません。
- アプリ一覧画面のアプリをロングタッチして[ホーム画面に追加]までドラッグすると、ホーム画面にアプリを登録できます。

■ ウィジェットの登録

- 1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ
▶ [ウィジェット]
- 2 追加するウィジェットをロングタッチ
 - ホーム画面が表示されます。
- 3 追加する位置にドラッグして、指を離す

- 機能のショートカットも同様の操作で登録することができません。

機能のショートカットの利用

- 1 ホーム画面/アプリ一覧画面 ▶ アプリをロングタッチして、指を離す
- 2 機能のショートカットを選ぶ
 - 利用できる機能のショートカットはアプリによって異なります。
 - 機能のショートカットをロングタッチ ▶ 移動する位置にドラッグして、指を離すとホーム画面に機能のショートカットを登録できます。

壁紙の設定

1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ ▶ [壁紙]

2 アプリを選ぶ

- [ロックフォトシャッフル]をONに設定すると、ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像が自動的に切り替わるよう設定できます。

3 設定する壁紙を選ぶ

ホーム画面の設定







1 ホーム画面の空いているスペースをロングタッチ ▶ [設定]













2 項目を選ぶ




- **ホーム画面にアイコンを追加**:新しいアプリをダウンロードしたときにホーム画面にアプリのアイコンを追加するかを設定します。
- **アイコンバッジ**:アプリに通知がある場合にアプリのアイコンの右上に表示するアイコンバッジを表示するかなど、アイコンバッジについて設定します。
- **アイコンバッジに件数表示**:アイコンバッジを利用している場合に件数を表示するか設定します。



アプリ一覧

- アプリによっては、ヘルプから機能や操作手順などを確認できません。
- 一部のアプリの使用には、別途お申し込み(有料)が必要となるものがあります。
- インストールされているアプリは次のとおりです。

アイコン	アプリ	概要
	アルバム	画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます(☞P.96「アルバム」)。
	エモパー	あらかじめ登録したお客様の情報やエモパーの設定に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えます(☞P.112「エモパー」)。
	おサイフケータイ	おサイフケータイを利用できます(☞P.86「おサイフケータイ対応サービス」の利用)。
	カメラ	カメラで撮影します(☞P.89「カメラ」)。
	からだメイト	歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別/月別で比較することもできます(☞P.115「からだメイト」)。
	カレンダー	スケジュールを管理します(☞P.110「カレンダー」)。

アイコン	アプリ	概要
	設定	端末の各種設定をします(☞P.118「設定メニュー」)。
	テレビ	テレビ(ワンセグ)を利用します(☞P.99「テレビ(ワンセグ)」)。
	電卓	電卓を利用します(☞P.111「電卓」)。
	電話	電話の利用や、通話の設定をすることができます(☞P.63「電話」)。
	電話帳	電話帳を利用します(☞P.69「電話帳」)。
	時計	アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用します(☞P.108「時計」)。
	ドライブ	画像や動画などをGoogle ドライブ™に保存したり、共有したりすることができます。
	ファイル	サイトからダウンロードした画像などのデータを管理することができます。
	フォト	画像や動画を管理します。
	マップ	現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます(☞P.106「マップ」)。
	メール	メールを利用します(☞P.74「Eメール」)。
	メッセージ	SMSを利用します(☞P.72「SMS」)。

アイコン	アプリ	概要
	Chrome	パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示します(☞P.81「Chrome」)。
	Duo	ビデオ通話を利用します。
	Gmail	Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます(☞P.78「Gmail™」)。
	Google	クイック検索ボックスを利用します(☞P.41「端末内やサイトの情報の検索」)。
	OfficeSuite	OfficeSuiteを利用します。 ● 対応しているファイルについては、ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール/情報]▶[OfficeSuite]▶[☰]▶[ヘルプとフィードバック]▶[ヘルプ]と操作して、ヘルプを参照してください。
	Play ストア	Google Playを利用します(☞P.84「Play ストア」)。
	Playムービー & TV	映画をレンタルしたり、視聴したりすることができます。
	Play Music	音楽を再生します。

アイコン	アプリ	概要
	SHSHOW	AQUOSスマートフォン/タブレットを使いこなすための各種情報やコンテンツを紹介するアプリです。
	YouTube	YouTubeを利用します(☞P.107「YouTube」)。

- アプリによっては、初回起動時にダウンロードが必要な場合があります。アプリのダウンロードには別途パケット通信料がかかります。
- インストールされているアプリの中には、アンインストールできるものもあります。アンインストールしたアプリはPlay ストア(☞P.84「Play ストア」)などから再度ダウンロードできる場合があります。次のサイトをご確認ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/support/checkdev.html>

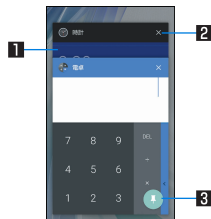
アプリ使用履歴

最近使用したアプリの履歴を表示し、アプリを起動することができます。

1 [回]

2 履歴を利用する

- [回] をタッチすると、1つ前に使用していたアプリが起動します。



1 アプリの使用履歴

- タッチするとアプリを起動できます。
- 左右にフリックすると履歴を削除できます。
- 画面右上の[すべて消去]をタッチすると、アプリの使用履歴をすべて削除できます。
 - アプリの使用履歴が複数ある場合、履歴を下にフリックすると、[すべて消去]が表示されます。

2 履歴消去

- タッチするとアプリの使用履歴を削除できます。

④ 画面の固定

- [画面の固定]がONの場合、最新の履歴に表示されます。画面の固定についてはP.134「セキュリティと現在地情報」
 - タッチすると選択したアプリ以外を使用できないようになります。
 - 画面の固定を解除: [◀] + [□] をロングタッチ
- アプリによっては履歴に表示されない場合があります。
- 起動中のアプリの履歴を消去すると、アプリを終了することができます。

マルチウィンドウ

上下に分割された画面で、2つのアプリを同時に利用することができます。

1 アプリ利用中に[□]をロングタッチ



- 画面が上下に分割され、[□]の表示が[≡]に変わります。利用中のアプリが上側に配置され、下側にはアプリ使用履歴が表示されます。アプリ使用履歴やホーム画面からアプリを起動すると、マルチウィンドウの下側に配置され、上側のアプリと同時に利用することができます。



1 セパレータ

- 上／下にフリックすると、下側／上側のアプリが全画面になります。マルチウィンドウは終了します。
- 表示サイズ(P.126「ディスプレイ」)を[小]に設定している場合は、上／下にドラッグして上下の画面サイズを変更することができます。

2 マルチウィンドウキー

- マルチウィンドウ利用中であることを表します。操作方法は[>]と同様です。
- マルチウィンドウでロングタッチすると、マルチウィンドウが終了します。表示は[>]に戻ります。

- ご使用のアプリによっては、マルチウィンドウで利用できない場合があります。

ホーム切替

利用するロック画面やホームアプリを切り替えます。

- お買い上げ時は、端末に次のホームアプリが登録されています。
 - AQUOS Home
ウィジェット/ショートカットを配置するデスクトップシート、アプリが一覧表示されるアプリシート、お気に入りアプリのショートカットを登録できるお気に入りトレイで構成されたホームアプリです。
 - AQUOSかんたんホーム
アプリが一覧表示されるアプリシートのみになり、アイコンと文字が大きく表示されるホームアプリです。

1 ホーム画面▶ [>]▶ [ホーム切替]

2 ホームを選ぶ

アプリ初回起動時の確認画面について

それぞれのアプリをはじめて起動したときは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の確認画面が表示され、アプリの動作について設定を行います。

- アプリによって、表示される確認画面の種類や内容は異なります。ここでは、「アプリに必要な許可」「電池の最適化」の2種類の確認画面について説明します。
- アプリによっては、特定の機能をはじめて利用するときに確認画面が表示される場合があります。

アプリに必要な許可

アプリが端末のデータやカメラなどを利用することを許可します。

- 機能の利用を許可しなかった場合、アプリが正常に動作しないことがあります。

例: アルバムを起動したとき

1 「アプリに必要な許可」の確認画面で[次へ]



2 [許可しない] / [許可]



- 通常は[許可]を選択し、機能の利用を許可してください。

- 利用する機能が複数ある場合、以降も同様に操作してください。

■ 利用する機能について設定

利用する機能について、次の手順で設定することもできます。

アプリごとに利用する機能を設定

- 1 ホーム画面 ▶ [⊕] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリ情報]
- 2 アプリを選ぶ ▶ [権限]
- 3 機能を選ぶ

機能ごとに利用を許可するアプリを設定

- 1 ホーム画面 ▶ [⊕] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリの権限]
- 2 機能を選ぶ
- 3 アプリを選ぶ

電池の最適化

電池の最適化を行うと、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。

- アプリによっては、起動時や機能の設定時に「電池の最適」の確認画面が表示される場合があります。通常は電池の最適化をしないでください。最適化を行うとアプリが終了する場合があります。
- 電池の最適化を行った場合、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しません。アプリ/機能が利用できないなど、意図しない現象が発生することがあります。

■ 電池の最適化の設定

電池の最適化について、次の手順で設定することもできます。

- 1 ホーム画面 ▶ [⊕] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定] ▶ [特別なアプリアクセス] ▶ [電池の最適化]
 - ホーム画面 ▶ [⊕] ▶ [省エネ&バッテリー] ▶ [電池] ▶ [⋮] ▶ [電池の最適化] でも電池の最適化を行うことができます。
 - 最適化していないアプリの一覧が表示されます。
- 2 [最適化していないアプリ] ▶ [すべてのアプリ]
- 3 アプリを選ぶ ▶ [最適化する] / [最適化しない] ▶ [完了]

電話

電話や電話帳を利用したり、通話や着信時の動作などについて設定できます。

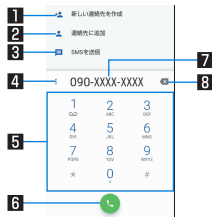
電話をかける

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面▶[☎]▶[☎]

2 電話番号を入力

- 同一市内でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号の前に「186」/「184」を付けると、その発信に限り番号通知/番号非通知に設定して発信できます。



1 新しい連絡先を作成

- 入力した電話番号を電話帳に新規登録します。

2 連絡先に追加

- 入力した電話番号を電話帳に追加登録します。

3 SMSを送信

- 入力した電話番号を宛先にしてSMSを作成します。

4 メニュー

- 2秒間の停止や待機を追加できます。

5 キーパッド

6 発信

- 電話をかけます。また、発信履歴がある場合、電話番号未入力の際にタッチすると最新の発信履歴が入力されます。

7 電話番号入力欄

8 削除

- 最後に入力した数字を1桁削除します。ロングタッチすると、すべての数字を削除します。電話番号入力欄をタッチしてカーソルを表示した場合は、カーソル左側の数字を1桁削除します。

3 [☎]

4 通話が終わったら[☎]

- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。

VoLTEについて

- VoLTEは、通話を高品質で利用することができます。
 - VoLTEのご利用には、本端末と通話相手の端末が以下の条件を満たす必要があります。
 - VoLTE対応機種であること
 - ご契約の通信事業者がVoLTEに対応していること
 - VoLTE対応サービスエリア内であること*
 - 優先ネットワークタイプが[4G(推奨)]であること(☞P.121「モバイル ネットワーク」)
 - [4G LTE拡張モード]が有効であること(☞P.121「モバイル ネットワーク」)
- ※ VoLTE対応サービスエリア外は、VoLTEを利用できません。




プッシュ信号の入力

電話番号に続いて停止(.) / 待機(:)を入力すると、銀行の残高照会やチケットの予約サービスなど、通話中に番号を追加入力する必要があるサービスを利用する際、メインの電話番号と追加番号を同時に発信できます。

- 1 ホーム画面▶▶
- 2 電話番号を入力▶[::]▶[2秒間の停止を追加]
- 3 送信する番号を入力▶

■ 待機を追加

メインの電話番号をダイヤルしたあと、自動的に待機し追加番号の送信確認画面が表示されます。[はい]をタッチすると追加番号をダイヤルします。

- 1 ホーム画面▶▶
- 2 電話番号を入力▶[::]▶[待機を追加]
- 3 送信する番号を入力▶
- 4 通話中に[はい]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報(位置情報)が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定にかかわらず、機関側がGPSを利用した位置測位による正確な位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 一部のネットワークでは、緊急通報が利用できない場合があります。

電話を受ける

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 電話がかかってくると、着信音が鳴る

2 電話を受ける



1 応答

- 上にスワイプすると、電話を受けます。
- 下にスワイプすると、着信を拒否します。

2 クイック返信

- 着信を拒否し、選択したメッセージをSMSとして相手に送信します。

3 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

3 通話が終わったら[戻る]

■ ディスプレイを表示中に電話を受ける

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中に電話がかかってくると、着信通知が表示されます。通知を利用して電話を受けることができます。

1 電話がかかってくると、画面上部に着信通知が表示される

2 [電話に出る]

- 着信通知をタッチすると、着信画面を表示できます。各アイコンを操作してください。

通話中の操作

通話中は利用状況に応じてハンズフリーの利用や通話音量の調節などの操作ができます。



1 相手の名前や電話番号

2 キーパッド

- プッシュ信号の入力ができます。

3 ミュート

- 通話中の電話をミュート／ミュート解除にします。

4 通話を追加

- 通話中の電話を保留にして、別の相手に発信します。

5 終了

- 通話を終了します。

6 スピーカー／音声

- ハンズフリーで通話ができます。
- イヤホンマイク／Bluetooth機器を接続している場合は音声の出力先を設定します。

7 保留

- 通話を保留します。保留を解除するには、もう一度タッチします。

8 メニュー

- 利用できる機能(メニュー)を表示します。

- ハンズフリーで通話するには次の内容にご注意ください。
 - 送話口から約20～40cmが最も通話しやすい距離です。なお、周囲の騒音が大きい場所では、音声途切れるなど良好な通話ができないことがあります。
 - 屋外や騒音が大きい場所、音の反響が大きい場所で通話を行うときは、イヤホンマイクをご利用ください。
 - ハンズフリー通話中、音が割れて聞き取りにくいときは、通話音量を下げてください。
- 「保留」と「通話を追加」をお使いになる場合、あらかじめご利用の通信事業者との契約が必要となります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。
なお、通信事業者によっては、これらの機能を提供していない場合もあります。

■ 通話音量調節

1 通話中に🔊(+)/🔊(-)

■ くっきりトークの利用

[くっきりトーク]を有効にすると、通話中にマイクを利用して周囲のノイズを測定し、自分の声を明瞭にして相手に伝えることができます。

1 通話中に[メニュー]▶[くっきりトーク]

- くっきりトークでは通話を明瞭にするために音声加工処理しています。周囲のノイズ状態や話しかたにより、音声の聞こえかたが異なる場合があります。
- くっきりトークを利用する場合はマイクの穴をふさがないようにして、送話口をできるだけ近づけてお話しください。
- ハンズフリーで通話中など、相手の声が受話口から出ていないときは、くっきりトークを利用できません。

■ スロートークの利用

[スロートーク]を有効にすると、通話中に相手の声がゆっくり聞こえるようになり、内容を聞き取りやすくします。

1 通話中に[メニュー]▶[スロートーク]

■ 音声メモ

音声通話中に音声メモを録音します。

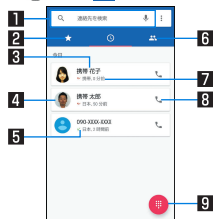
1 通話中に[メニュー]▶[音声メモ]

2 [停止]

通話履歴

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面▶[📞]▶[📞]



1 検索欄

- 連絡先を検索できます。
 - [🔍]をタッチすると、音声検索もできます。

2 クイックアクセス

- タッチするとクイックアクセス一覧画面を表示します。


3 相手の名前／電話番号

- タッチすると、電話帳への登録やSMSの送信、通話履歴の詳細の確認などを行うことができます。
- ロングタッチすると、番号のコピーや番号を編集して発信することができます。

4 電話帳に登録している画像

- タッチすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
- 上にスライドすると登録内容を確認できます。

5 発着信状態アイコン

	発信
	着信
	不在着信

6 連絡先

- タッチすると連絡先一覧画面を表示します。

7 発着信日時

8 発信アイコン

- タッチすると発信します。

9 ダイアルアイコン

- ダイアル画面を表示します。

- 通話履歴は最大500件まで保存され、500件を超えると最も古い履歴から自動的に削除されます。空き容量によっては、保存件数が少なくなる場合があります。

■ 通話履歴の詳細表示

すべての通話履歴一覧と不在着信の通話履歴一覧を切り替えて確認できます。また、通話履歴をすべて削除できます。

1 ホーム画面▶[(🔄)]▶[(⋮)]▶[通話履歴]

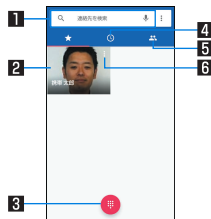
2 [すべて]／[不在着信]

- [(⋮)]▶[通話履歴を消去]と操作すると、通話履歴を消去できます。

クイックアクセス

よく使う連絡先を自動的に表示します。また、お気に入りに登録した連絡先も表示されます。

1 ホーム画面▶[(🔄)]▶[(★)]



1 検索欄

- 連絡先を検索できます。
 - [(🔍)]をタッチすると、音声検索もできます。

2 電話帳に登録している画像

- タッチすると発信します。
- ロングタッチして[削除]までドラッグすると、電話帳のお気に入りの解除またはよく使う連絡先を非表示にできません。

3 ダイアルアイコン

- ダイアル画面を表示します。

4 通話履歴

- タッチすると通話履歴一覧画面を表示します。

5 連絡先

- タッチすると連絡先一覧画面を表示します。

6 連絡先のメニュー

- タッチすると電話帳に登録している内容の一部が表示されます。
- 上にスライドすると登録内容を確認できます。

■ よく使う連絡先の消去

よく使う連絡先を消去します。

- お気に入りに登録した連絡先は消去されません。
- クイックアクセスによく使う連絡先が表示されていない場合は消去できません。

1 ホーム画面 ▶ [📞] ▶ [⋮] ▶ [よく使う連絡先のクリア] ▶ [OK]

通話設定

簡易留守録など、通話について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [📞]

2 [⋮] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **音とバイブレーション**: 着信時の音やバイブレーションなどについて設定します。
- **クイック返信**: クイック返信に使用する文章を編集します。
- **通話**: 通話についてはP.69「通話の設定」
- **着信のブロック**: 指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。
 - [番号を追加] をタッチすると、着信を拒否する番号を登録できます。

- 登録済みの項目の[×] ▶ [ブロックを解除] と操作すると、登録済みの項目を解除できます。
- **ボイスメール**: ボイスメールについて設定します。
- **ユーザー補助機能**: 電話アプリのユーザー補助機能を設定します。
- **電話アプリについて**: 電話アプリのバージョンやオープンソース ライセンスなどを表示します。

■ 通話の設定

1 ホーム画面 ▶ [📞]

2 [⋮] ▶ [設定] ▶ [通話]

3 項目を選ぶ

- **簡易留守録設定**: 簡易留守録や音声メモについて設定します。

電話帳

連絡先の管理やプロフィールの確認を行うことができます。

電話帳の登録

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [電話帳]

2 [🔴]

- 連絡先についての確認画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- アカウントを設定している場合、アカウントに登録されます。

3 各項目を設定

- 登録できる情報はアカウントの種類によって異なります。
- 各項目を設定すると、[X]が表示されます。[X]をタッチすると削除できます。



1 画像

- 発着信時や連絡先確認時に表示する画像を登録します。

2 保存先

- 登録するアカウントを設定します。
- 複数のアカウントを設定している場合は、[▼]をタッチして登録するアカウントを選択してください。

3 名前

- [▼]をタッチすると、敬称やミドルネームを登録できます。

4 電話番号

5 メールアドレス

6 その他の項目

- 会社や誕生日などの情報を登録します。

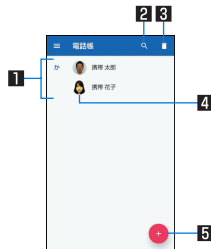
4 [保存]

電話帳の確認／利用

登録した連絡先を呼び出して電話をかけたり、メールを送信したりできます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[電話帳]

2 名前を選ぶ



1 連絡先

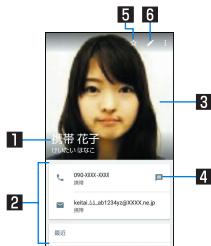
2 検索アイコン

3 削除

4 画像

5 新規作成アイコン

3 登録情報を確認／利用する



1 名前

2 登録内容

- 登録内容を確認／利用できます。

3 画像

4 アクションアイコン

- ☒: 選択した電話番号を宛先としてSMSを作成します。
- 📍: 現在地から選択した住所までの経路情報を表示します。

5 お気に入り登録／解除

6 編集

■ 連絡先の設定

連絡先のリンク(複数の連絡先の登録内容を、1つの連絡先にまとめる)や削除、共有、着信音の設定などができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶【電話帳】

2 名前を選ぶ

3 [☰]▶機能を選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

電話帳を設定

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶【電話帳】

2 [☰]▶【設定】

3 項目を選ぶ

- **ユーザー情報**: ユーザー情報を入力します。
- **アカウント**: アカウントについてはP.141「Googleなどのアカウントの設定」
- **新しい連絡先のデフォルト アカウント**: 連絡先を登録するアカウントを設定します。
- **表示する連絡先**: 表示する連絡先について設定します。
- **インポート**: 電話帳のバックアップデータを読み込みます。
- **エクスポート**: 電話帳のバックアップデータを保存し、メール添付などで送信したり、インターネット上のデータ共有サービスにアップロードしたりできます。
- **ブロックした番号**: 指定した電話番号からの着信とSMS受信を拒否します。
 - [番号を追加]をタッチすると、着信を拒否する番号を登録できます。
 - 登録済みの項目の[×]▶【ブロックを解除】と操作すると、登録済みの項目を解除できます。
- **電話帳について**: 電話帳アプリのバージョンやオープンソースライセンスなどを表示します。

メール／ウェブブラウザ

SMSやGmailなどを利用して、メッセージを送受信したり、Chromeを利用してサイトを表示したりできます。

SMS

携帯電話番号を宛先にしてテキストメッセージを送受信できます。

- SMSが利用可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。

1 ホーム画面▶【☰】

2 【+】

3 宛先、メッセージを入力▶【▶】

- 宛先が海外通信事業者のときは、「+」、国番号、相手先の携帯電話番号の順で入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いて入力します。また「010」、国番号、相手先携帯電話番号の順に入力しても送信できます。
- SMSのメッセージに半角カタカナや特殊記号を使うと、受信側で正しく表示されないことがあります。
- 「186」／「184」を付けての送信はできません。

メッセージの表示

1 ホーム画面▶【☰】

2 スレッドを選ぶ

- 宛先／送信元ごとにメッセージをスレッドにまとめて表示します。



1 画像

- 相手の画像を電話帳に登録していると表示されます。タッチすると電話帳の登録内容を表示します。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

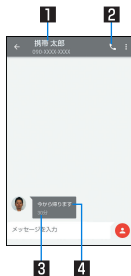
2 宛先／送信元

3 送受信日時

- 最新のメッセージの送受信日時が表示されます。送受信からの経過時間が短い場合は、経過時間が表示されません。

4 メッセージ検索

3 メッセージを確認する



1 宛先／送信元

2 電話発信

3 送受信日時

- 最新のメッセージの送受信日時が表示されます。送受信からの経過時間が短い場合は、経過時間が表示されます。

4 メッセージ

メッセージの返信

- 1 ホーム画面 ▶ [📧]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージを入力 ▶ [➤]

メッセージの転送

- 1 ホーム画面 ▶ [📧]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージをロングタッチ ▶ [➤]
- 4 宛先、メッセージを入力 ▶ [➤]

メッセージの削除

- 1 ホーム画面 ▶ [📧]
- 2 スレッドを選ぶ
- 3 メッセージをロングタッチ ▶ [🗑️] ▶ [OK]

スレッドの削除

- 1 ホーム画面 ▶ [📧]
- 2 削除するスレッドをロングタッチ
 - 複数のスレッドを削除する場合は、削除するスレッドをタッチしてください。
 - 選択しているスレッドをタッチすると、選択状態は解除されます。
 - 画面上部に表示される選択件数をタッチすると、全選択や全選択解除が行えます。
- 3 [🗑️] ▶ [削除]

メッセージの設定

1 ホーム画面▶[☑]

2 [ⓘ]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- **デフォルトのSMSアプリ**:SMSを送受信するアプリを設定します。
- **着信音**:メッセージ受信時の着信音を設定します。
- **バイブレーション**:メッセージ受信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **古いメッセージを削除**:保存件数が上限に達したとき、古いメッセージを自動的に削除するか設定します。
- **テキストメッセージの制限件数**:スレッドごとに保存するメッセージの件数を設定します。
- **緊急警報**:緊急警報について設定します。
- **受取確認通知**:送信するメッセージの受取確認を毎回通知します。
- **SIMカードのメッセージ**:nanoSIMカードに保存したメッセージを管理します。

[受取確認通知]について

- 他社の携帯電話にメッセージを送信した場合、受取確認通知が届かないことがあります。

Eメール

サービスプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、メールの送受信ができます。

メールのアカウントの設定

- 利用するアカウントによっては、設定する項目などが異なる場合があります。

1 ホーム画面▶「**アプリ一覧画面**」を表示▶[ツール/情報]▶[メール]

- アカウントが設定されていない場合のみ、アカウント設定画面が表示されます。

2 メールアドレスを入力▶[▶]

3 パスワードを入力▶[▶]

- いくつかのメールアカウントについてプロバイダ情報がプリセットされており、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定が自動で行われます。
- プロバイダ情報がプリセットされていないアカウントの場合は、受信メールサーバーと送信メールサーバーの設定を手動で行う必要があります。設定については、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

4 アカウントを設定する▶[▶]

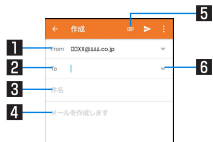
5 アカウントの名前、あなたの名前を入力▶[▶]

メールの送信

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール／情報]▶[メール]

2 [🔍]

3 メールを作成



1 アカウント

- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替えられます。

2 宛先

- 電話帳に登録してあるメールアドレスや名前の一部を入力すると、宛先の候補が表示されます。

3 件名

4 本文

5 ファイル添付

6 宛先の追加

- タッチすると、CcやBccを追加できます。

4 [📎]

- 受信側の機種によっては件名をすべて受信できないことがあります。

- Gmailのアカウントで送信したメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信側の機種がパソコンからのメール受信拒否を設定している場合、メールを送信できません。
- 何らかの原因で送信できなかったメールは、未送信メールとして送信失敗フォルダに保存されます。
- 電波状況などにより、受信側で文字が正しく表示されないときがあります。

ファイルの添付について

- 最大約5Mバイトまでのファイルを添付できます。添付できる個数に制限はありません。
- 受信側の端末によっては、受信できなかったり、正しく表示・再生できなかったりすることがあります。また、動画が粗くなったり、連続静止画に変換されたりすることがあります。

メールの表示

- 利用するアカウントによっては、表示される画面が異なる場合があります。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール／情報]▶[メール]

2 メールを選ぶ



1 表示中のトレイ名／フォルダ名

- [戻る]をタッチするとフォルダ／アカウントの切り替えや設定ができます。

2 メール

- 既読メールのときは、送信元や件名が細字の表示になります。
- 画像をタッチするとメールにチェックが付き、一括で削除／未読／既読などに設定できます。

3 メール検索

4 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

5 メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名

2 送信元／宛先

- 電話帳に登録されている相手の場合は、画像をタッチすると電話帳の登録情報が表示されます。電話帳に登録されていない相手の場合は、タッチすると電話帳に登録できます。

3 受信日時

- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示／非表示を切り替えられます。

4 本文

5 添付ファイル

6 スターアイコン

- 特別なメールやあとで対応する必要があるメールの目印として利用できます。
- スターを付けたメールは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 各メールのメニュー

- タッチするとメールごとに全員に返信や転送、印刷することができます。

8 返信

9 削除

10 未読にする

メールの返信／転送

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール／情報]▶[メール]

2 メールを選ぶ

3 [◀]

- 全員に返信:各メールの[:]▶[全員に返信]
- 転送:各メールの[:]▶[転送]

4 メールを作成



1 返信種別

- タッチすると返信／全員に返信／転送を切り替えられます。

2 宛先

3 本文

4 元のメッセージ

- タッチすると、送信元のメールの表示／非表示を切り替えられます。
- 転送のときは操作できません。

5 送信元のメール

6 件名

7 引用返信

- 送信元のメールを本文に入力します。

5 [📧]

メールの削除

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール／情報]▶[メール]

- メールを選択削除:メールの画像をタッチ▶[🗑️]▶[OK]

2 メールを選ぶ

3 [🗑️]▶[OK]

メールの設定

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール／情報]▶[メール]

2 [⏪]▶[設定]

3 項目を選ぶ

- **全般設定**:メール全般について設定します。
- **アカウントを追加**:アカウントの追加ができます。
- **プライバシーポリシー**:プライバシーポリシーを確認できません。
- アカウントを選ぶと、署名や同期頻度など、各アカウントの詳細について設定できます。

Gmail™

Googleのメールサービスや一般のサービスプロバイダが提供するEメールを利用できます。

- GoogleアカウントやEメールアカウントを設定していない場合は、画面の指示に従って設定してください。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Google]▶[Gmail]

2 [🔴]

3 メールを作成



1 アカウント

- 複数のアカウントを設定している場合、アカウントを切り替われます。

2 宛先

- [連絡先の提案を許可]をタッチして電話帳の利用を許可すると、電話帳に登録してあるメールアドレスや名前の一部を入力したときに、宛先の候補が表示されます。

3 件名

4 本文

5 ファイル添付

6 宛先の追加

- タッチすると、CcやBccを追加できます。

4 []

メールの表示

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶ [Google]▶ [Gmail]

2 スレッドを選ぶ

- Gmailでは、返信ごとにメールをスレッドにまとめて表示します。新着メールが既存のメールへの返信メールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。新規のメールや件名を変更したメールについては、新しいスレッドが作成されます。



1 表示中のトレイ名/ラベル名

- [] をタッチすると表示種別/アカウントの切り替えや設定ができます。

2 スレッド

- スレッド内がすべて既読メールのときは、送信元や件名が細字の表示になります。
- 画像をタッチするとスレッドにチェックが付き、一括でアーカイブ/削除/未読/既読などに設定できます。

3 メール検索

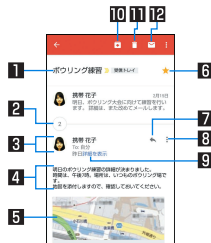
4 スレッド内のメール件数

5 スターアイコン

- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

6 メール新規作成

3 メールを確認する



1 件名

2 まとめられたメール

- タッチするとまとめられたメールを表示します。

3 送信元／宛先

- 画像をタッチすると利用できる機能が表示されます。利用できる機能は、電話帳の登録内容によって異なります。
- 送信元をタッチすると詳細表示／簡易表示を切り替えられます。

4 本文

5 添付ファイル

6 スターアイコン

- 特別なスレッドやあとで対応する必要があるスレッドの目印として利用できます。
- スターを付けたスレッドは、スター付きフォルダで確認することができます。

7 返信

8 各メールのメニュー

- タッチするとメールごとに全員に返信や転送、スターを付ける／スターを外す、印刷、送信元からのメールのブロック／ブロック解除をすることができます。

9 受信日時

- タッチすると、送信元や宛先、受信日時の詳細の表示／非表示を切り替えられます。

10 アーカイブ

11 削除

12 未読にする

メールの返信／転送

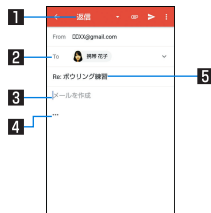
1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶ [Google]▶ [Gmail]

2 スレッドを選ぶ

3 [◀]

- 全員に返信:各メールの[:]▶[全員に返信]
- 転送:各メールの[:]▶[転送]

4 メールを作成



1 返信種別

- タッチすると返信／全員に返信／転送を切り替えられます。

2 宛先

3 本文

4 送信元のメッセージ

- タッチすると送信元のメールを本文に入力します。

5 件名

5 [🏠]

スレッドの削除

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶ [Google]
▶ [Gmail]
 - スレッドの選択削除:スレッドの画像をタッチ▶ [🗑️]

2 スレッドを選ぶ

3 [🗑️]

Gmailの設定

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶ [Google]
▶ [Gmail]
- 2 [☰]▶ [設定]
- 3 項目を選ぶ
 - **全般設定**: Gmail全般について設定します。
 - **アカウントを追加**: アカウントの追加ができます。
 - アカウントを選ぶと、通知や署名など、各アカウントの詳細について設定できます。

Chrome

パケット通信やWi-Fi機能による接続でサイトを表示できます。

サイトの表示

1 ホーム画面▶ [🌐]

- サイトによっては、正しく表示されない場合があります。

■ サイトの検索

1 URL入力欄をタッチ



2 キーワードを入力▶キーワードを選ぶ

- 入力した文字を含むキーワードを一覧表示します。
- キーワードを最後まで入力して [実行] でも検索できます。
- ページの再読み込み: Chrome画面で [⋮]▶ [🔄]

■ 新しいタブを開く

1 Chrome画面で [⋮]▶ [新しいタブ]

■ タブの切替

1 Chrome画面で[2]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

2 タブを選ぶ

■ タブを閉じる

1 Chrome画面で[2] ▶ [X]

- アイコン内の数字は、開いているタブの件数によって異なります。

■ シークレット タブを開く

閲覧履歴や検索履歴を残さずにサイトを表示できます。

1 Chrome画面で[::] ▶ [新しいシークレット タブ]

- シークレット タブで表示中はURL入力欄の周囲が灰色で表示されます。

2 URL入力欄をタッチ ▶ キーワードを入力 ▶ [実行]

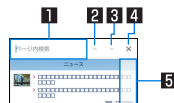
- シークレット タブを閉じる: Chrome画面で[1] ▶ [X]

- シークレット タブで表示したサイトはChromeの履歴には残りません(※P.83「履歴からのサイト表示」)。また、シークレットタブをすべて閉じると、Cookieなどの記録も削除されます。なお、ダウンロードしたファイルやブックマークしたサイトは、シークレット タブでも保存できます。

■ ページ内の文字の検索

1 Chrome画面で[::] ▶ [ページ内検索]

2 検索する



1 キーワード入力欄

- 検索するキーワードを入力します。

2 前へ

3 次へ

4 検索終了

5 検索結果バー

- タッチした検索結果に移動できます。

■ 文字のコピー

1 Chrome画面でコピーする文字をロングタッチ

2 始点から終点までドラッグ

- コピー範囲の変更: [●] / [●] をドラッグ

3 [コピー]

■ 便利な機能

リンクを新しいタブで表示したり、画像などをダウンロードしたりできます。

1 Chrome画面でリンク／画像をロングタッチ▶利用する機能を選ぶ

Chromeの設定

1 Chrome画面で[:]▶[設定]

2 項目を選ぶ

- **Chromeにログイン**: GoogleアカウントでChromeにログインします。同じアカウントでChromeを利用していた際のタブやブックマーク、履歴などの情報を同期できます。
- **検索エンジン**: URL入力欄から検索するときを利用する検索エンジンを設定します。
- **自動入力とお支払い**: 自動入力をするときに利用する住所やクレジットカードの情報を設定します。
- **パスワードの保存**: パスワードの保存について設定します。
- **通知**: [アプリの通知]でChromeからの通知について設定します。
- **プライバシー**: 利便性向上のために閲覧情報が使用される機能について設定します。
- **ユーザー補助機能**: 文字のサイズやズームなどの画面表示について設定します。
- **サイトの設定**: サイトの表示についてや、サイトが利便性向上のために使用できる情報について設定します。
- **データセーバー**: データ使用量を抑えるようにするか設定します。

- **Chromeについて**: Chromeの情報を確認できます。

ブックマークや履歴の利用

■ ブックマークの登録

1 Chrome画面で[:]▶[☆]

■ ブックマークからのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[ブックマーク]

2 ブックマークを選ぶ

■ 履歴からのサイト表示

1 Chrome画面で[:]▶[履歴]

2 履歴を選ぶ

Play ストア

Google Playを利用すると、便利なアプリや楽しいゲームを端末にダウンロード、インストールすることができます。

- あらかじめGoogleアカウントを設定しておいてください
([P.141](#)「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Play ストア]

- ヘルプの表示: [≡]▶[ヘルプとフィードバック]

- アプリのインストールに同意すると、アプリの使用に関する責任を負うこととなります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリには特にご注意ください。
- アプリのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- お客様がインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリなどにより、各種動作不良や自己または第三者などへ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねません。
- お客様がPlay ストアからインストールしたGoogle LLCが提供するアプリを含む第三者提供アプリにつきましては、各提供元にお問い合わせください。

アプリの購入

1 Google Play画面で購入するアプリを選ぶ

2 価格をタッチ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 無料のアプリのとき: [インストール]
- アプリの初回購入時は、支払い方法を選択してください。支払い方法によっては、Googleウォレット アカウントにログインする必要があります。
- アプリの購入後規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリに対して返金要求をし、同じアプリを再度購入した場合には、返金要求はできません。アプリ購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて詳しくは、Google Play画面で[≡]▶[ヘルプとフィードバック]をご覧ください。

- ダウンロードしたアプリによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードしたあとにアンインストールしたアプリの再ダウンロードには料金はかかりません。
- 同じGoogleアカウントを設定しているAndroid™デバイスが複数ある場合、購入したアプリは他のデバイスすべてに無料でダウンロードすることができます。
- Google Playからのアプリの購入および返金などについては、当社では一切対応できかねますのであらかじめご了承ください。

■ アプリのアンインストール

- 1 Google Play画面で[≡] ▶ [マイアプリ&ゲーム]
- 2 [インストール済み]
- 3 アンインストールするアプリを選ぶ
- 4 [アンインストール] ▶ [OK]

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやポイントカードなどとして使ったり、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる機能です。

電子マネーやポイントなどを本端末のICカード内に保存し、画面上で残高やポイントの確認などができます。また、おサイフケータイの機能をロックすることにより、盗難、紛失時に無断で使用されることを防ぐこともできます。

※おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリでの設定が必要です。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※が消失・変化してしまう場合があります(修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
 - 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
 - 本端末の盗難、紛失時は利用停止などの対応方法について、速やかに当社およびご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者へお問い合わせください。
- ※おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ

「おサイフケータイ対応サービス」の利用

- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイアプリよりサービスを設定してください。なお、サービスによってはおサイフケータイ対応アプリのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶「ツール／情報」▶【おサイフケータイ】

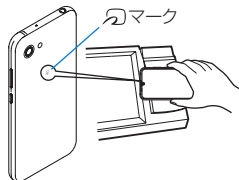
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 サービスを選ぶ

3 サービスを設定する

- サービスのアプリまたはサイトから設定してください。

4 端末のマークを読み取り機にかざす



- 機内モード中は、おサイフケータイ対応サービスを利用できません。ただし、読み取り機に本端末をかざしてのお支払いは利用できます。
- おサイフケータイ対応アプリを起動せずに、読み取り機にかざして利用することができます。
- 読み取り機との通信は、電源を切っていても利用できます。ただし、電源を長時間入れなかったり、電池残量が少ない場合や電源を入れてから一定時間は、利用できなくなることがあります。
- データセーバー（P.122「データ使用量」）の設定にかかわらず、おサイフケータイ対応アプリはおサイフケータイ対応サービスの提供に必要な通信をバックグラウンドで行うため、パケット通信料がかかる場合があります。
- インストールしているおサイフケータイ対応アプリやアプリの設定によっては、画面ロック設定中や画面消灯中、本端末の電源を切っている状態では、読み取り機にかざして利用できない場合があります。
- 本端末の電源を入れたあと、再起動後およびシステム アップデート後は、画面ロックを解除してから読み取り機にかざしておサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

対向機にかざす際の注意事項


- 読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざすときは、以下のことに注意してください。
 - ㊟マークを対向機にかざす際には、強くぶつけたりせず、ゆっくりと近づけてください。
 - ㊟マークを対向機の中心へ平行になるようにかざしてください。中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かしたり、前後左右にずらしたりしてかざしてください。
 - ㊟マークと対向機の間金属物があると読み取れないことがあります。また、ケースやカバーに入れたことにより、通信性能に影響をおよぼす可能性がありますので読み取れない場合はケースやカバーから取り外してください。

NFC／おサイフケータイ ロック


NFC／おサイフケータイ ロックを設定すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイ ロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロック設定とは異なります。

1 ホーム画面▶[]▶[接続済みの端末]▶[NFC／おサイフケータイ 設定]▶[NFC／おサイフケータイ ロック]

- ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール／情報]▶[おサイフケータイ]▶[]でもNFC／おサイフケータイロックの設定を行うことができます。

2 画面の指示に従って、暗証番号を入力▶[OK]

- NFC／おサイフケータイ ロック設定中は、ステータスバーに[]が表示されます。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中に電池が切れると、NFC／おサイフケータイ ロックが解除できなくなります。電池残量にご注意ください。電池が切れた場合は、充電後にNFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロック設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、NFC／おサイフケータイ ロックを解除してください。
- NFC／おサイフケータイ ロックNo.は、本端末を初期化しても削除されません。

NFC／おサイフケータイ 設定

1 ホーム画面▶[]▶[接続済みの端末]▶[NFC／おサイフケータイ 設定]

2 項目を選ぶ

- **NFC／おサイフケータイ ロック**: NFC／おサイフケータイ ロックについてはP.88「NFC／おサイフケータイ ロック」
- **Reader／Writer, P2P**: Reader／Writer, P2P機能を利用するか設定します。
- **Android Beam**: Android Beamを利用したデータ通信ができます。
 - Android BeamについてはP.155「Android Beam」
- **ロックNo.変更**: NFC／おサイフケータイ ロックのロックNo.を変更します。

カメラ

静止画や動画を撮影できます。撮影したい被写体に合わせてカメラの設定を切り替えることができます。

カメラをご利用になる前に

- レンズ部が指紋や油脂などで汚れると、ピントが合わなくなったり、画像がぼやけることがあります。撮影する前に、柔らかい布などで拭いてください。
- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や線、暗く見える画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では白い線などのノイズが増えますので、ご了承ください。
- カメラのレンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して映像が変色することがあります。
- 端末を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影または保存したときは、画質が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源が含まれる撮影環境で被写体を撮影しようとする、画像が暗くなったり画像が乱れたりすることがありますので、ご注意ください。
- 太陽を直接撮影すると、CMOSの性能を損なうときがありますので、ご注意ください。
- 内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データを保存し、自動終了します。
- [フォーカス設定]を切り替えたとき、カメラのレンズが動作する音が聞こえますが、異常ではありません。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。

- 撮影時は、カメラのレンズに指や髪などがつかないようにしてください。
- 撮影サイズを大きくすると情報量が多くなるため、端末に表示される画像の動きが遅くなる場合があります。
- 室内で撮影するとき、蛍光灯などの影響で画面がちらついたり、すじ状の濃淡が発生したりすることがあります。室内の照明条件や明るさを変更したり、カメラの明るさやホワイトバランスを調整したりすることにより、画面のちらつきや濃淡を軽減できるときがあります。
- 撮影した静止画は、DCF1.0準拠(ExifVer.2.3、JPEG準拠)の形式で保存されます。

著作権・肖像権について

お客様が端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用になれませんので、ご注意ください。お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。カメラ付き端末を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

■ カメラを使用中の動作について

- 起動中に約3分間何も操作しないと自動的に終了します。
- シャッター音の音量は変更できません。

■ カメラの撮影サイズ

設定できる撮影サイズは次のとおりです。

静止画撮影

画面比率	撮影サイズ	アウトカメラ	インカメラ
16:9	12M:4608×2592	○	×
	4K2K:3840×2160	○	×
	6M:3200×1800	×	○
	FULL HD:1920×1080	○	○
4:3	16M:4608×3456	○	×
	8M:3264×2448	○	×
	8M:3200×2400	×	○
	メモサイズ:1600×1200	○	○
1:1	12M:3456×3456	○	×
	6M:2400×2400	×	○

動画撮影

画面比率	撮影サイズ	アウトカメラ	インカメラ
16:9	4K2K:3840×2160	○	×
	FULL HD:1920×1080	○	○
	HD:1280×720	○	○
4:3	1.6M:1440×1080	○	○
1:1	1.2M:1080×1080	○	○

撮影画面の見かた



1 HDR

- 「オートHDR」をONに設定しているときにHDR機能が動作中に表示されます。

2 フォーカスマーク

- 自動でフォーカス調整を行っているときに表示されます。フォーカスロックすると青色で表示されます。
[オート]モードのときや、フォーカス設定を[顔優先AF]に設定している場合は、人の顔を検出してフォーカスマークを表示します。

3 撮影可能枚数

- 撮影可能枚数が99枚以下になると表示されます。
- 撮影をしても表示が変わらない場合があります。

4 イン／アウトカメラ切替

- インカメラ／アウトカメラを切り替えます。
- インカメラ利用時は、一部の機能の利用や設定の変更ができません。

5 モバイルライト

- モバイルライトの設定を切り替えます。

6 撮影モード

- 撮影モードを切り替えます(☞P.95「撮影モードの切替」)。

7 動画撮影

8 静止画撮影

9 セルフタイマー

- [セルフタイマー表示]をONに設定しているときに表示されます(☞P.95「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。
- セルフタイマーの解除(OFF)や撮影されるまでの時間を切り替えます。

10 アルバム／サムネイル

- アルバムの起動、または直前に撮影した静止画や動画が表示されます。

- 撮影モードによっては、画面上部に設定変更用のアイコンが表示されます。アイコンをタッチすると設定を変更できます。

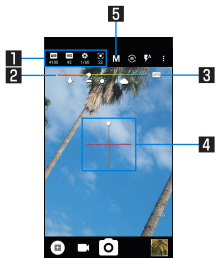
■ おすすめプラス

撮影シーンを選択すると、シーンに合った設定が自動で反映される撮影モードです。設定は調整することができます。

1 ホーム画面▶[👁]

2 [👁]▶[おすすめプラス]

3 撮影シーンを選ぶ



1 設定アイコン表示エリア

- 設定アイコンをタッチすると調整バーが表示され、各種設定を調整することができます。
 - 撮影シーンに応じた設定アイコンが表示されます。「フルマニュアル」利用時に表示されるアイコンは、「フルマニュアル項目選択」で設定することができます(☞P.95「静止画撮影／動画撮影の共通設定」)。

- 表示されるアイコンで次の設定ができます。

- ホワイトバランス: [WB]
- ISO感度: [ISO]
- シャッター速度: [1/2000]
- フォーカス: [AF]
- 彩度: [SAT]
- コントラスト: [CON]
- 明瞭度: [SHARP]

2 調整バー

- ドラッグすると設定を調整できます。

3 自動調整

- タッチすると、自動調整に切り替わります。

4 水準器

- 撮影画面の傾きを確認できます。

5 撮影シーン

- 撮影シーンを切り替えます。

ISO感度について

- 高感度に設定すると、シャッタースピードが速くなるため、被写体ぶれや手ぶれが軽減されたり、暗い場所にある被写体でも明るく撮影できたりしますが、静止画は粗くなります。




静止画の撮影

1 ホーム画面▶

2 本端末のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける

- 明るさの調整:上下にスライド
- ズーム:左右にスライドまたはピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 最大倍率(ズームの段階)は約8.0倍(90段階)です。
- フォーカスロック:被写体をタッチ
 - ・ フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
 - ・ フォーカス設定が[個別AE/AF]の場合、露出を合わせたい箇所まで[AE]をドラッグします。

3 //

- [個別AE/AF]以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチしても撮影できます。
- をロングタッチ、または/を1秒以上押すと、静止画を連続撮影することができます。

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。




動画の撮影

1 ホーム画面▶

2 本端末のカメラ(アウトカメラ)を被写体に向ける

- 明るさの調整:上下にスライド
- ズーム:左右にスライドまたはピンチアウト/ピンチイン
 - ・ 最大倍率(ズームの段階)は約8.0倍(90段階)です。

3

- 動画撮影中にをタッチ、または/を押すと静止画の撮影ができます。
- フォーカスロック:被写体をタッチ
 - ・ フォーカスマーク以外をタッチすると解除されます。
 - ・ フォーカス設定が[個別AE/AF]の場合、露出を合わせたい箇所まで[AE]をドラッグします。
 - ・ [個別AE/AF]以外でフォーカスロックをしている場合、フォーカスマークをタッチすると静止画が撮影されます。

4

- フォーカスロックは、主に被写体の色をもとに移動を検出します。そのため被写体の色が薄かったり、背景の色と似ていたりするときは、正しく検出できないことがあります。

カメラの設定

- 利用中の撮影モードなどによって、各機能の有無は異なります。

■ 静止画撮影の設定

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [⋮]

3 [写真]

4 項目を選ぶ

- **写真サイズ**: 静止画の撮影サイズを切り替えます。
- **ガイド線**: 撮影画面にガイドを表示できます。
- **インテリジェントフレーミング**: 静止画撮影時に、撮影した被写体や背景の位置や角度などにより、構図補正を自動的に行うか設定します。
 - 補正が必要ない場合は、機能は動作しません。
 - 補正された場合は、補正前と補正後の2枚の静止画を保存します。確認方法について詳しくは、「構図補正した静止画の表示」(P.97)をご参照ください。
- **オートHDR**: 逆光などコントラストが強いシーンで、白とび/黒つぶれを軽減して撮影するHDR機能を自動で有効にするか設定します。
- **ISO感度**: 撮影場所の明るさに合わせて、光を取り込む感度を設定します。
- **ワンタッチシャッター**: 画面をタッチして撮影するか設定します。
- **インカメラ小顔補正**: インカメラ利用時に小顔調整を行う効果レベルを設定します。

- **インカメラ美肌調整**: インカメラ利用時に美肌調整を行う効果レベルを設定します。
- **インカメラレンズ補正**: インカメラ利用時に歪みを抑える画像処理を行うか設定します。

■ 動画撮影の設定

1 ホーム画面 ▶ [📷]

2 [⋮]

3 [動画]

4 項目を選ぶ

- **動画サイズ**: 動画の撮影サイズを切り替えます。
- **画質とデータ量**: 動画圧縮規格を切り替えます。動画圧縮規格によって画質やデータ量が異なります。
- **手ブレ補正**: 手ぶれを補正するか設定します。
- **マイク設定**: マイクを利用するか設定します。

■ 静止画撮影／動画撮影の共通設定

1 ホーム画面▶

2

3 [共通]

4 項目を選ぶ

- **全画面表示**: 撮影画面に画面上部の拡張領域を使用するか設定します。
- **フルマニュアル項目選択**: おすすめプラスの「フルマニュアル」利用時に、設定アイコン表示エリアに表示するアイコンを選択します。
 - アイコンは4個まで表示できます。
- **白とび／黒つぶれ表示**: 白とびや黒つぶれが起こる部分にしま模様を表示するか設定します。
- **水準器**: 水準器を表示するか設定します。
- **フォーカス設定**: 被写体に合わせてフォーカスを設定します。
 - [顔優先AF]を設定している場合は、人の顔を検出します。
- **セルフタイマー表示**: セルフタイマーをセットし自動で撮影するか設定します。
- **ちらつき防止**: 蛍光灯のある場所で撮影するとき、画面にしま模様が出にくくなるように設定します。
- **保存先設定**: 保存先を設定します。
- **位置情報付加**: 位置情報を付加するか設定します。
- **ヘルプ**: 撮影画面に表示されるアイコンの機能やタッチパネルの操作、機能の使いかたについて確認することができます。

- **PHOTOSHOW(Webページ)**: シャープのサイトに接続し、シャープ製スマートフォンを使って撮影された写真を例に、カメラの機能や撮影方法を確認できます。
- **設定リセット**: 設定をリセットします。

■ 撮影モードの切替

撮影環境や被写体に合わせて撮影モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面▶

2

3 項目を選ぶ

- **オート**: 被写体に合わせて自動的に調整するモードです。
- **おすすめプラス**: おすすめプラスについてはP.92「おすすめプラス」
- **タイムラプス**: 一定の間隔をあけて撮影した静止画をつなげて動画を作成します。
- **花火撮影**: 打ち上げ花火の撮影に適したモードです。花火を自動撮影することもできます。
- **モノクロ**: モノクロ撮影するモードです。
- **読取カメラ**: QRコードやバーコードを読み取ることができます。
- **手鏡**: インカメラを利用して、手鏡のように自分を映します(撮影はできません)。
 - 手鏡を利用中に画面をタッチすると、画面が一時停止します。再度画面をタッチすると、一時停止は解除されます。
- **SHSHOW**: シャープのサイトに接続し、カメラを活用するためのアプリをダウンロードできます。

アルバム

画像や動画をイベントや場所ごとに振り分けて整理し、利用することができます。

- 画像を表示する際はディテールの向上処理が行われ、画像がより精細に表示されます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[アルバム]

2 [≡]▶カテゴリを選ぶ

3 データを選ぶ

- データの削除:データをロングタッチ▶[削除]▶[はい]

4 データを確認する

- ファイルが表示されない場合は、アルバムのデータベースファイルを削除することで正常に動作する可能性があります。端末とパソコンをUSB Type-Cケーブルで接続して、本体メモリまたはmicroSDカードの/PRIVATE/SHARP/PM/DATABASEフォルダを削除してから使用してください。データベースファイルを削除した場合、作成されたイベントや場所などの情報も削除されます。十分にご確認の上、操作してください。

データの振り分け

画像や動画を作成したグループごとに整理できます。

■ イベントごとに振り分け

1 アルバム画面で[≡]▶[イベント]

2 [未設定]

3 [✎]▶[イベントを新規作成]

4 分類するデータを選ぶ▶[作成]

5 [イベント名を入力する]▶イベント名を入力▶[OK]

■ 場所ごとに振り分け

- 位置情報の付加されているデータは、自動的に地図上に振り分けられます。

1 アルバム画面で[≡]▶[場所]

2 [⋮]▶[場所設定]

3 分類するデータをロングタッチ▶登録する位置までドラッグ▶[OK]

データの表示／非表示

すべての画像や動画を表示する表示モードと、あらかじめ設定した画像や動画を非表示にする非表示モードを利用できます。

■ データの表示／非表示を設定

非表示モードでデータを非表示にするか設定します。

- 非表示モードのときは設定できません。表示モードで設定してください。

データごとに設定

1 アルバム画面でデータを選ぶ

2 [☺]／[☹]

- [☺]が表示、[☹]が非表示を表します。データを非表示に設定すると、アルバム画面のサムネイルにも[☹]が表示されます。

複数のデータをまとめて設定

1 アルバム画面で[☺]▶[画像の表示／非表示]

2 [非表示画像を選択]／[表示画像を選択]

3 データを選ぶ▶[決定]▶[はい]

- 画像や動画の非表示設定は、「アルバム」アプリでのみ有効です。画像や動画を非表示に設定していても、他のアプリでは表示されます。

■ 表示モードの切替

表示モード／非表示モードを切り替えます。

1 アルバム画面で[☺]▶[画像の表示／非表示]

2 [非表示モードへ切替]／[表示モードへ切替]

構図補正した静止画の表示

「カメラ」アプリで撮影した静止画が[インテリジェントフレーミング]により構図補正された場合、保存された静止画のサムネイルには[📐]が表示されます。補正前と補正後の2枚の静止画を切り替えて確認できます。

1 アルバム画面で静止画を選ぶ

- [📐]をタッチすると、静止画の切替画面が表示されます。確認したい静止画をサムネイルで選択できます。
 - 静止画の削除や編集は、それぞれの静止画に対して行うことができます。
 - アルバム画面のサムネイルには、[★]のある静止画が表示されます。[★]をタッチして切り替えることができます。

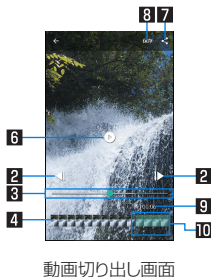
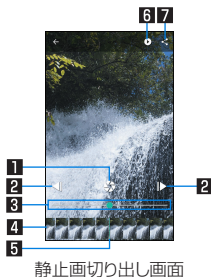
- 本端末の電源を入れた直後に「アルバム」アプリを起動した場合など、[📐]が表示されない場合があります。しばらくしてから「アルバム」アプリを起動し直してください。

あとからキャプチャー

動画の中から静止画や動画を切り出して保存することができます。

1 アルバム画面で動画を選ぶ

2 [✂]▶[静止画切り出し]／[動画切り出し]



1 静止画切り出し

- タッチすると表示中のフレームを静止画として保存します。

2 コマ戻し／コマ送り

- 1コマ前／先のフレームを表示します。

3 シークバー

- シークバーをドラッグすると表示位置を変更できます。

4 サムネイル

5 表示位置

- 現在表示しているフレームの位置を表します。
- サムネイルをドラッグすると表示位置を変更できます。

6 再生／一時停止

7 共有

- タッチすると静止画／動画の切り出しが行われ、保存された静止画／動画を他のアプリで利用することができます。

8 動画切り出し

- 選択している範囲を別の動画として保存します。

9 再生時間

- 切り出す動画の再生時間を表示します。

10 動画切り出し範囲

- []をドラッグして切り出す範囲を設定します。

テレビ(ワンセグ)

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。

また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、以下のホームページでご確認ください。

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会：<http://www.apab.or.jp/>

■ ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者(放送局)などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。

データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。

「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者(放送局)などが用意したサイトに接続し表示します。

「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

■ 放送波について

ワンセグは、放送サービスの1つであり、LTEサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波(放送波)を受信しています。そのため、LTEサービスおよびFOMAサービスの圏外/圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、以下のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

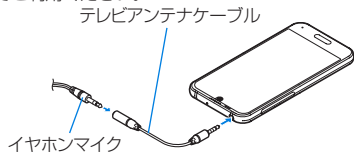
- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビル影の陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

■ テレビアンテナケーブルについて

テレビを利用(視聴/録画)する場合は、付属のテレビアンテナケーブル(試供品)を端末のイヤホンマイク端子に接続してください。

イヤホンマイクを利用するとき

テレビアンテナケーブルを使用中にイヤホンマイクをご利用になる場合は、端末と市販のイヤホンマイクをテレビアンテナケーブルで接続してご利用ください。



■ 受信状態をよくするには

テレビアンテナケーブルの向きを変えたり、人体から離したり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

チャンネルリスト作成

テレビを利用するには、あらかじめチャンネルリストを作成し、チャンネルリストを1つ選択しておく必要があります。

- チャンネルリストは3件まで登録できます。また、1つのチャンネルリストには放送局を12件まで登録できます。
- チャンネルリスト作成は、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内でテレビアンテナケーブルを接続してから行ってください。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール/情報]▶[テレビ]

- チャンネルが設定されていない場合のみ、チャンネルリスト作成画面が表示されます。
- チャンネルリストを追加するとき:ワンセグ視聴画面で [1]▶[チャンネル設定]▶[チャンネルリスト編集]▶[作成]

2 項目を選ぶ

- **地域を選んで作成**:地域ごとに割り当てられている放送局を検索します。
- **チャンネルを探して作成**:現在地で受信できるチャンネルを検索します。

3 [完了]

- 海外では、放送形式や放送の周波数が異なるためワンセグを利用できません。

ワンセグ視聴

ワンセグを視聴します。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶「ツール／情報」▶「テレビ」

2 ワンセグを視聴する

- 音量調節: [(+)] / [(-)]



1 番組情報

- 番組名や放送局名が表示されます。

2 映像

- タッチするとコントローラーなどの表示／非表示を切り替えます。
- 左右にフリックするとUP／DOWN選局ができます。

3 字幕

4 データ放送キー

- データ放送を表示します。

5 チャンネル切替キー

- チャンネル切替画面を表示します。

6 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - ・ UP／DOWN選局: [CH] / [<CH] *1
 - ・ ミュート／ミュート解除: [M] / [M] *2
 - ・ 録画開始／停止: [P] / [P]

*1 ロングタッチするとサーチ選局になります。

*2 ロングタッチすると音量バーを表示します。ドラッグすると音量調節ができます。

7 録画ファイル一覧キー

- 録画ファイル一覧を表示します。

8 番組一覧キー

- 視聴放送局の番組一覧を表示します。
 - ・ 番組をタッチすると番組詳細画面が表示されます。番組詳細画面から、視聴／録画予約することもできます。

9 情報表示エリア

- データ放送／サイト表示中は操作キーが表示されます。

- ワンセグ視聴時には、通常時に比べて画面の色が変わることがあります。
- ワンセグ起動中にホーム画面を表示してもワンセグは起動状態となるため、データ放送／データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。
- 視聴中に着信があった場合は、通話終了後に視聴を再開します。録画中の場合は、録画はバックグラウンドで継続されます。

録画

ワンセグを録画し、本体メモリに保存することができます。

- 受信状態の良い場所で録画してください。

ビデオの保存件数と録画時間の目安

保存先	保存件数	録画時間
本体メモリ	最大99件	1Gバイトあたり:約300分 1件あたり:最長約600分*

※ 1件あたりの録画サイズは最大約2Gバイトです。

- microSDカードには録画できません。
- 本体メモリに空き容量があっても、最長録画時間になると、それまで録画したビデオを保存して録画を終了します。
- 本体メモリの空き容量がなくなったときは、自動的に録画が終了し、それまで録画したビデオが保存されます。

1 ワンセグ視聴画面で[●]

2 録画時間を選ぶ

- 設定した録画時間が経過すると、録画を終了し自動的に映像が保存されます。
- 録画の終了:[●]▶[OK]
 - 自動的に映像が保存されます。

- 番組によっては、録画が禁止されていることがあります。
- ワンセグ録画中に録画予約を設定した時刻になると、録画予約が優先されます。それまでのワンセグ録画は終了し、映像が保存されます。

録画再生

本体メモリに保存されたビデオを再生します。

- ビデオ再生画面の操作は、ワンセグ視聴画面の操作と基本的な部分は同様です。ここでは、異なる部分を説明します。

1 ワンセグ視聴画面で[📺]

2 ビデオを選ぶ

- 録画したビデオの削除:ビデオをロングタッチ▶[🗑️]▶[OK]

3 ビデオを視聴する



1 コントローラー

- 表示されるキーで次の操作ができます。
 - 一時停止／再生: [⏸] / [▶]
 - 早戻し／早送り: [⏮] / [⏭] ※1
 - 約5秒前の位置にバック／約15秒先の位置にスキップ: [⏪] / [⏩]
 - ミュート／ミュート解除: [🔇] / [🔊] ※2
 - 先頭から再生: [⏮] ※3
- ※1 タッチするたびに、再生速度が切り替わります。
※2 ロングタッチすると音量バーを表示します。ドラッグすると音量調節ができます。
※3 再生完了時に表示されます。

- ビデオ再生時は録画されたデータ放送も表示することができます。

テレビリンク

データ放送によっては、メモ情報や関連するサイトのURLをテレビリンクとして登録できます。テレビリンクに登録すると、テレビリンク画面からメモ情報やサイトを表示できます。

- テレビリンクは50件まで登録できます。
- テレビリンクの登録方法は、番組によって異なります。

1 ワンセグ視聴画面で [TV] ▶ [TVリンク]

- 登録したテレビリンクを表示します。

2 テレビリンクを選ぶ

■ テレビリンクの削除

1 ワンセグ視聴画面で [TV] ▶ [TVリンク]

2 テレビリンクをロングタッチ ▶ [🗑] ▶ [OK]

視聴／録画予約

ワンセグの視聴や録画を予約できます。また、予約の状態や結果などを確認できます。

- 受信状態の良い場所で録画してください。
- 視聴予約・録画予約合わせて30件まで登録できます。
- 複数の番組を同時に視聴・録画することはできないため、予約の日時が重複すると、登録確認画面が表示されます。内容を確認し、登録を行ってください。

1 ワンセグ視聴画面で【目】▶【予約一覧】

- 予約の削除: 予約をロングタッチ▶【目】▶【OK】
- 予約結果一覧の表示: [視聴／録画予約]▶[録画予約結果]

2 [予約]

3 各項目を設定



1 予約の種類

- 予約の種類を切り替えます。

2 タイトル

- タイトルを入力します。

3 放送局名

- 放送局を設定します。

4 開始日

- 開始日を設定します。

5 開始時刻

- 開始時刻を設定します。

6 くりかえし

- 予約の繰り返しについて設定します。

7 終了時刻

- 終了時刻を設定します。

4 [完了]

- 端末の使用状況や本体メモリの空き容量、番組の種類などにより、視聴・録画ができなかったり、途中で録画を終了したりする場合があります。

ワンセグの設定

データ放送やワンセグの自動終了時間などについて設定できます。

1 ワンセグ視聴画面で【】▶【設定】

2 項目を選ぶ

- **コントローラー表示位置**: コントローラーを左右どちらに表示するか設定します。
- **データ放送設定**: データ放送について設定します。
- **アラーム設定**: 予約番組の開始時のアラームについて設定します。
- **オフタイマー設定**: テレビを自動的に終了するまでの時間を設定します。
- **製品情報**: アプリのバージョンやプライバシーポリシーを確認できます。

[データ放送設定]について

- [通信接続時の確認]を無効にすると、データ放送の確認画面が表示されなくなり、データ放送/データ放送サイトの情報が自動的に更新されることがあります。このとき、パケット通信料がかかることがありますので、ご注意ください。

[オフタイマー設定]について

- ワンセグ録画中に設定した時刻になると、録画終了の確認画面が表示されます。

■ 音声/字幕の設定

ワンセグ視聴中に字幕を表示させたり、音声言語を変更したりすることができます。

- 番組によって、各機能の有無は異なります。

1 ワンセグ視聴画面で【】▶【音声/字幕設定】

2 項目を選ぶ

- **音声多重切替**: 主音声・副音声について設定します。
- **音声切替**: 音声言語を設定します。
- **字幕切替**: 表示する字幕について設定します。

GPS／ナビ

マップを利用して、ストリートビューを表示したり、ルートの検索をしたりできます。また、表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することもできます。

GPS機能の利用

- GPSとは、GPS衛星からの電波を受信して端末の位置情報を取得する機能です。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(☞P.140「位置情報」)。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、端末の故障や誤動作、停電などの外部要因(電池切れを含む)によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール(精度の劣化や電波の停止など)される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では、電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
 - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
 - 建物の中や直下
 - 地下やトンネル、地中、水中
 - 高圧線の近く
 - 自動車や電車などの室内

- 大雨や雪などの悪天候
- かばんや箱の中
- 端末の周囲に障害物(人や物)がある場合
- GPSアンテナ付近を手で覆い隠すように持っている場合
- 海外でGPS機能を利用するときは、各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報(緯度経度情報)に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- 現在地を測位する際に、自動的に衛星の運行情報などのアシストデータを取得し、パケット通信料がかかる場合があります。
- 位置情報から地図を表示した場合などは、パケット通信料がかかります。


マップ

現在地の測位や目的地までの詳しい移動方法のナビゲーションなどができます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります(☞P.140「位置情報」)。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Google]▶[マップ]


2 マップを利用する

- 地図を回転:1本の指でタッチパネルに触れたまま、別の指で回転したい方向に地図を動かす
- 立体的に表示:2本の指で同時に上にスライド
- 現在地の測位:[

■ ストリートビュー

1 マップ画面で任意の場所をロングタッチ

2 表示される画像をタッチ

- 表示する方角の変更:画面を上下左右にスライド
- 表示する場所の移動:画面を2回タッチ、青線をスライド
- コンパスモード:[

- ストリートビューは対応していない地域もあります。
- コンパスモードを利用すると、端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

■ ルートの検索

出発地から目的地までのルートを検索することができます。

1 マップ画面で[経路]

2 移動手段を選ぶ▶上の検索ボックスをタッチ

- 現在地を測位している場合は、現在地が入力されています。

3 出発地を入力

4 下の検索ボックスをタッチ

5 目的地を入力

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

■ 周辺施設の検索

表示中の地図の周辺施設をジャンル別に検索することができます。

1 マップ画面で検索ボックスをタッチ

2 検索したい施設のジャンルを選ぶ

- 検索ボックスに検索する場所を入力しても検索できます。

3 検索結果を利用する

- 詳細情報の表示:住所/地名/施設名などを選ぶ

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Google]▶[YouTube]

2 動画を選ぶ

- 検索ボックスの表示:[Q]

時計

アラームや世界時計、タイマー、ストップウォッチを利用できます。

アラーム

指定した時刻にアラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[時計]▶[アラーム]
- 2 登録先の時刻をタッチ
 - 登録先の追加: [+]
- 3 時刻を選ぶ▶[OK]
- 4 各項目を設定



- 1 繰り返し
 - 繰り返しを設定します。
- 2 アラーム音
 - アラーム音を設定します。

- 3 ラベル
 - ラベルを入力します。
- 4 削除
 - アラームを削除します。
- 5 アラームON/OFF
 - アラームの有効/無効を切り替えます。
- 6 バイブレータ設定
 - バイブレータを利用するか設定します。
- 7 表示切替

- アラーム設定時刻に電源が入っていない場合は、アラームは動作しません。
- 通話中にアラーム設定時刻になると、相手の声と一緒に通知音が聞こえます。

■ アラームを止める

アラーム設定時刻になると、アラーム音やバイブレータでお知らせします。

- 1 アラーム鳴動中に[🔕]を[🔕]までスライド
 - スヌーズの利用: [🔕]を[🔕]までスライド

ディスプレイの表示中に止める

タッチパネルのロック画面以外の画面を表示中にアラーム設定時刻になると、アラーム通知が表示されます。通知を利用してアラームを止めることができます。

- 1 アラーム鳴動中に[解除]
 - スヌーズの利用: [スヌーズ]

■ アラーム音量の設定

- 1 アラーム画面で[] ▶ [設定]
- 2 アラームの音量欄で音量を調節

世界時計

世界各地の都市の時刻を表示できます。

- 1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [時計] ▶ [時計]
- 2 []
- 3 都市を選ぶ

タイマー

設定した時間が経過したときに、アラーム音でお知らせします。

- 1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [時計] ▶ [タイマー]
- 2 時間を入力 ▶ []
 - 時間を1分追加: [+1:00]
 - カウントダウンの停止: []
 - カウントダウンのリセット: [リセット]
 - 設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。
 - ・アラーム音の停止: []

■ 名称の変更

- 1 タイマー画面で[ラベル]
- 2 名称を入力 ▶ [OK]

■ タイマーの追加

- 1 タイマー画面で[タイマーを追加]
 - タイマーの切替: 上下にスライド

■ タイマーの削除

- 1 タイマー画面で[削除]

ストップウォッチ

ストップウォッチを利用して時間を計測します。ラップタイム(経過時間)／スプリットタイム(合計経過時間)も計測できます。

- 1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [時計] ▶ [ストップウォッチ]
 - 2 []
 - ラップタイム／スプリットタイムの計測: [ラップ]
 - 3 []
 - 計測結果の共有: [共有]
 - 計測結果のリセット: [リセット]
- ラップタイム／スプリットタイムを99件まで表示できます。

カレンダー

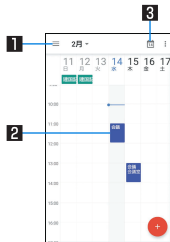
カレンダーを利用してスケジュールの管理ができます。

- あらかじめ、アカウント設定をしておいてください(※P.141「Googleなどのアカウントの設定」)。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[Google]▶[カレンダー]

- 初回起動時には説明画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 スケジュールを確認する



1 表示切替

- カレンダーの表示方法を切り替えます。

2 登録されているスケジュール

3 今日を表示

■ スケジュールの作成

- 利用するアカウントによっては、設定する項目などが異なる場合があります。

1 カレンダー画面で[+]▶[予定]

2 各項目を設定



1 タイトル、参加者、場所など

2 カレンダー

- カレンダーのオーナーを設定します。

3 終日

- 終日設定を切り替えます。

4 開始日時

5 終了日時

6 詳細オプション

- 予定のタイムゾーンや、繰り返しを設定します。

7 場所

8 通知

- 開始日時のどのくらい前に通知するかを設定します。
- [別の通知を追加] をタッチすると、通知の設定を追加できます。

9 ユーザーを招待

- 招待する相手のメールアドレスを入力します。

10 予定の色

- 予定の色を設定します。

11 メモを追加

12 添付ファイルを追加

3 [保存]

カレンダーの設定

1 カレンダー画面で[≡] ▶ [設定]

2 項目を選ぶ

- **全般**: カレンダー全般について設定します。
- **Gmailから予定を作成**: Gmailで予定に関するメールを受信すると、自動的にスケジュールを追加するか設定します。
- カレンダーを選ぶと、予定の色やデフォルトの通知などを設定できます。

スケジュールの削除

1 カレンダー画面でスケジュールを選ぶ

2 [⋮] ▶ [削除] ▶ [削除]

電卓

1 ホーム画面 ▶ 「アプリ一覧画面」を表示 ▶ [電卓]

2 計算する

- 関数電卓の表示: 操作キーの右端を左にスライド
- 計算結果のコピー: 計算結果をロングタッチ ▶ [コピー]
- ヘルプの表示: [⋮] ▶ [ヘルプ]
- 計算履歴の表示: 計算結果の表示部を下にスライド
 - 履歴の削除: [⋮] ▶ [削除] ▶ [削除]

エモパー



あらかじめ登録したお客様の情報やエモパーの設定に基づき、タッチパネルのロック画面でさまざまな情報を音声や画面表示でお伝えします。エモパーの音声にお客様が声で応答すると、エモパーが音声や画面表示で反応します。

また、エモパーを使ったメモ機能(エモパーメモ)や、健康応援機能(エモパーヘルスケア)が利用できます。

利用するにつれて、お客様の端末使用状況を理解し、より適切なタイミングで情報をお伝えするようになっていきます。

- エモパーをご利用になる場合は、パケット通信料がかかります。
- 自宅や周辺の施設情報などを認識するために、現在地を測位する場合があります。現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。位置情報のモードは[高精度]に設定してください。[位置情報]がOFFのときは、現在地測位が必要な情報をお伝えできません(※P.140「位置情報」)。
- お買い上げ時はエモパーが部分的にONの状態になっており、充電開始時/完了時のみお話しします。OFFにする場合は、エモパーの初期設定画面で[OFFにする]をタッチしてください。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[エモパー]

- ホーム画面▶[]▶[AQUOS便利機能]▶[エモパー]でもエモパーを表示することができます。
- 初期設定が完了していない場合は、初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- 初期設定完了後に[]▶[あなたについて]でニックネームや職場・学校などを設定することをおすすめします。エモパーがお話しする機会や内容のバリエーションが増えることがあります。

- 初期設定が完了している場合はエモパー画面が表示され、エモパーの状態やお客様についての情報、歩数や予定などの日常の記録(約1週間分)が確認できます。

エモパーの設定

1 エモパー画面で[]

- エモパーのON/OFFを切り替えることができます。

2 項目を選ぶ



- **エモパー選択**: エモパーやエモパーの名前を設定します。また、サイトからエモパーを追加できます。
- **基本動作について**: エモパーの音量やマネーモード中の動作など、基本動作について設定します。
- **あなたについて**: ニックネームや自宅、職場・学校など、お客様の情報を設定します。
- **エモパーの話題**: エモパーがお伝えする情報を設定します。
- **声でエモパーを呼び出し**: 端末に「ハロー、エモパー」と話しかけることでエモパーを呼び出すか設定します。
 - エモパーがお話しできる場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に反応します。
- **エモパーメモ**: エモパーメモの利用について設定します。
- **エモパーヘルスケア**: エモパーヘルスケアの利用について設定します。
- **エモパーへの話しかけ方**: 公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「声でエモパーを呼び出し」に接続します。
- **おすすめ機能の紹介**: おすすめ機能の簡単な説明と使いかたのデモを確認できます。

- **エモパー使い方ガイド**:公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「エモパー使い方ガイド」に接続します。
- **よくある質問(FAQ)**:公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)の「よくある質問(FAQ)」に接続します。
- **エモパーの記憶**:エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータの保存や削除、復元ができます。
- **注意事項**:エモパーバージョンや利用規約・プライバシーポリシーなどを確認できます。

エモパーがお話するタイミング

- あなたについての[自宅]や[自宅のほかにお話できる場所]に設定した場所で、ロック画面表示中や画面消灯中に端末を水平に置いたときなどに話します。
- イヤホンを接続中は、場所や時間帯にかかわらず話します。
- ロック画面表示中に端末を数回(2秒程度)振ると話します。

エモパーの記憶の引き継ぎかた

- エモパーと過ごした思い出や生活習慣に関するデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。エモパーに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。
- エモパーの記憶をmicroSDカードに保存し、エモパーに対応した新しい端末に引き継ぐことができます。
 - ・ 記憶の保存:エモパー画面で▶[エモパーの記憶]▶[記憶の保存]▶[OK]
 - ・ 記憶の復元:エモパー画面で▶[エモパーの記憶]▶[記憶の復活]▶[復活する]

エモパーメモを利用

エモパーに予定などメモしたい内容を話しかけるとエモパーが記憶し、予定にあわせてお伝えします。また、エモパーメモを利用してアラームやタイマーを設定することもできます。

- ロック画面を2回タッチしてから話しかけてください。
 - ・ エモパーメモの[画面消灯時でもメモを起動]を有効にすると、消灯中の画面を2回タッチしてもエモパーメモを利用できます。
- ロック画面では、時計やアイコン、情報などが表示されていないところをタッチしてください。
- 外出先で話しかける場合は、電話をかけるように受話口を耳に当ててください。
- エモパーが記憶したメモは、カレンダーに登録されます。「明日」、「今週」、「そろそろ」のような時期を表す単語を含めて話しかけると、メモに合わせたタイミングでエモパーがお伝えします。
- アラームを設定する際は、「XX時XX分にアラーム」のように話しかけてください。アラームは、「時計」アプリに登録されます。
- タイマーを設定する際は、「XX分タイマー」や「タイマー起動し」のように話しかけてください。「時計」アプリのタイマーが起動します。

エモパーヘルスケアを利用

お客様の体重や歩数について、気かけたり応援したりするお話しで、健康維持やダイエットをサポートします。

- 体重はエモパーメモと同じ手順で話しかけることで覚えます。
 - ・ エモパーに体重を話しかける際は、「今日の体重 XX.Xキロ」のように話しかけてください。
- 株式会社タニタの一部の体組成計と連携することで、体重を覚えることもできます。
 - ・ 体組成計との連携については、[エモパーヘルスケア] ▶ [タニタ体組成計との連携] から設定することができます。画面の指示に従って操作してください。
 - ・ エモパーとの連携に対応する体組成計については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
- お客様の体重や歩数は、からだメイトで管理されます。

- エモパーの初期設定を行うと[歩数計ON]が有効になります(☞P.115「からだメイト」)。
- エモパーが話しているときに $\odot(+)$ / $\ominus(-)$ を押すと音量を調節できます。
- 午前2:00～午前5:00の間は話しません。
- エモパーは日本語にのみ対応しています。
- エモパーがお伝える情報は、お客様の端末使用状況と正確には合っていない場合があります。
- イヤホンを接続していない場合、ディスプレイを下にして端末を置いていると、エモパーは話しません。
- 海外で利用するときは、エモパーのお伝える情報が制限されます。

公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)について

- エモパーは、使いかたの改善や変更、お話しするバリエーションの増加などを目的に、Play ストアからアップデートすることがあります。
本書の内容から変更されることがありますので、エモパーに関する最新の情報については、公式エモパー情報サイトEMOPARK(エモパーク)をご覧ください。
<http://k-tai.sharp.co.jp/dash/emopa/>

からだメイト

歩数や体重などを記録することができます。歩数や体重の履歴をグラフで表示して、日別／月別で比較することもできます。

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[ツール／情報]▶[からだメイト]

2 [はい]

3 ユーザー情報の各項目を設定▶[歩数計ON]▶
[◀]

- お買い上げ時は、ユーザー情報に仮の数値が登録されています。ご利用の前に、ユーザー情報を正しく設定しておいてください。
- 電源が入っている間は常に歩数がカウントされます。
- 歩数計の表示は、毎日0:00にリセットされます。

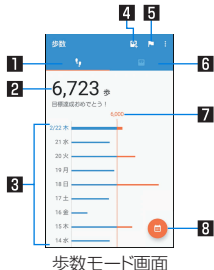
機種変更時のご注意

- からだメイトに記録した歩数や体重などのデータは、Googleアカウントによってバックアップされ、機種変更しても引き継ぐことができます。からだメイトに対応した新しい端末の初回起動時に、初期設定で機種変更前と同じGoogleアカウントを設定し、データを復元してください。

歩数測定時のご注意

- 次のような場合は、歩数が正確に測定されないことがあります。
 - 端末が不規則に動く場合
 - 端末を入れたかばんなどが、足や腰に当たって不規則な動きをしているとき
 - 端末を腰やかばんなどからぶら下げているとき
 - 不規則な歩行をした場合
 - すり足のような歩きかたや、サンダル、げた、草履などを履いて不規則な歩行をしたとき
 - 混雑した場所を歩くなど、歩行が乱れたとき
 - 上下運動や振動の多いところで使用した場合
 - 立ったり座ったりしたとき
 - スポーツを行ったとき
 - 階段や急斜面を上ったり下りたりしたとき
 - 乗り物(自転車、自動車、電車、バスなど)に乗って、上下振動や横揺れしているとき
 - スピーカーから音が出ているとき
 - バイブレータが振動しているとき
 - 極端にゆっくり歩いた場合
- かばんやポーチなどに入れるときは、ポケットや仕切りの中など端末を固定できる場所に入れてください。
- 歩き始めの約4秒間は歩数はカウントされますが、測定値には反映されません。そのあとも歩行を続けると、それまでの歩数を合わせて測定値に反映します。

■ からだメイト画面の見かた



1 歩数モード

2 今日の歩数

3 歩数の履歴

- 日々/月々の歩数が棒グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日/月の歩数や歩行距離、消費カロリーなど、詳細情報が表示されます。

4 体重入力

- タッチすると、日々の体重を入力することができます。
- エモパーを利用すると、音声で体重を入力することもできます。エモパーについてはP.112「エモパー」

5 目標設定

- タッチすると、歩数や体重の目標を設定することができます。
 - からだメイト画面で[:]▶[目標設定]でも目標を設定できます。
 - 設定した目標の削除:目標の設定画面で[リセット]

6 体重モード

7 目標値

8 表示切替

- 日別/月別の表示を切り替えます。

9 前回との差

10 最新の体重

11 体重の履歴

- 日々/月々の体重が折れ線グラフで表示されます。グラフをタッチすると、タッチした日/月の体重やBMIなど、詳細情報が表示されます。
- 表示する月や週の移動:[<]/[>]

■ ユーザー情報の変更

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [ユーザー情報]

2 各項目を設定

■ からだメイトの停止

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [歩数計設定]

2 [歩数計ON]

- [歩数計ON]を無効にすると、からだメイトが停止します。

■ データリセット

歩行データや体重データをすべて削除します。

1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [データリセット] ▶
[はい]


■ 用語説明の確認


1 からだメイト画面で[⋮] ▶ [用語の説明]

2 用語を選ぶ

本体設定

設定メニュー

ホーム画面▶[]で表示されるメニューから、端末の各種設定を行うことができます。

- 先頭には、おすすめの設定が候補として表示されます。
- 本体設定を表示中に[]▶検索するキーワードを入力すると、設定項目を検索できます。
- 表示されていないメニューがある場合、[詳細設定]をタッチするとメニューが表示されます。

電話番号	nanoSIMカードに登録されているお客様の電話番号を確認できます。
ネットワークとインターネット	Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。
接続済みの端末	Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。
アプリと通知	アプリや通知について設定します。
省エネ&バッテリー	長エネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。
ディスプレイ	画面表示などについて設定します。
音	着信音・お知らせ音などについて設定します。
AQUOS便利機能	本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。
ホーム切替	利用するホームアプリを切り替えます。

ストレージ	本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。
セキュリティと現在地情報	セキュリティロックや、位置情報などについて設定します。
ユーザーとアカウント	アカウントの追加や設定、データの同期について設定します。
ユーザー補助	ユーザー補助オプションについて設定します。
Google	Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。
システム	画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

ネットワークとインターネット

Wi-Fi機能やモバイル ネットワークなどのネットワークについて設定します。

1 ホーム画面▶[🌐]▶[ネットワークとインターネット]

2 項目を選ぶ

- **Wi-Fi**: Wi-FiについてはP.119「Wi-Fi」
- **モバイル ネットワーク**: モバイル ネットワークについてはP.121「モバイル ネットワーク」
- **プロキシ設定**: プロキシ経由でネットワークに接続するように設定します。
- **データ使用量**: データ使用量についてはP.122「データ使用量」
- **アクセス ポイントとテザリング**: アクセス ポイントとテザリングについてはP.123「アクセス ポイントとテザリング」
- **VPN**: VPNについてはP.160「VPNの追加」
- **機内モード**: 電話やメールなど、通信を利用する一部の機能を使用できないようにします。

[機内モード]について

- [SIMカードをロック]が有効の場合は、緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。[SIMカードをロック]が無効の場合は、機内モード中でも緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できます。緊急通報番号をダイヤルすると、[機内モード]がOFFになり、発信を行います。

- [機内モード]がONの場合でも、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をONにすることができます。

Wi-Fi

端末のWi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

Bluetooth機器との電波干渉について

- 無線LAN(IEEE802.11b/g/n)とBluetooth機器は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、Bluetooth機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、Bluetooth機器の電源を切るか、端末や接続相手の無線LAN機器をBluetooth機器から約10m以上離してください。


- [Wi-Fi]をONにしている場合もパケット通信を利用できます。Wi-Fi接続中はWi-Fi接続が優先されますが、Wi-Fi接続が切断されると自動的にパケット通信での接続に切り替わります。そのままご利用になる場合は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- ご自宅などのアクセスポイントを利用する場合は、無線LAN親機の取扱説明書もご覧ください。
- アクセスポイントを登録するときは、アクセスポイントの近くで操作してください。

1 ホーム画面▶[🌐]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]

2 ONにする

3 アクセスポイントを選ぶ

- セキュリティで保護されたアクセスポイントを選択した場合、パスワード(セキュリティキー)を入力し、[接続]を選択してください。
- アクセスポイントを手動で登録:[ネットワークを追加]▶ネットワーク名を入力▶セキュリティを設定▶[保存]
- [保存済みネットワーク]をタッチすると、接続したことのあ
るアクセスポイントを表示します。

- Wi-Fiネットワークに接続すると、[接続済み]と表示されます。異なるメッセージが表示された場合は、パスワード(セキュリティキー)をご確認ください。
なお、正しいパスワード(セキュリティキー)を入力しても接続できない場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- アクセスポイントの手動登録は、セキュリティ設定としてWEP、WPA/WPA2 PSK、802.1x/EAPに対応しています。
- インターネット接続されていないアクセスポイントに接続すると、が表示され、Wi-Fiではなくモバイル ネットワークで通信が行われる場合があります。
このようなアクセスポイントでWi-Fi通信を行うには、アクセスポイントに接続するときに詳細設定項目の[インターネット非接続時有効]を有効にしてください。

■ Wi-Fiの設定


1 ホーム画面▶▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]▶[Wi-Fi 設定]

2 項目を選ぶ


- **オープン ネットワークの通知**:オープンネットワークを検出したときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。
 - [Wi-Fi]をONにしてから設定してください。
- **Wi-Fiのスリープ設定**:ディスプレイの表示が消えたときにWi-Fiを切断するか設定します。
- **証明書のインストール**:証明書をインストールします。
- **ネットワーク評価プロバイダ**:ネットワーク評価プロバイダについて設定します。
- **Wi-Fi Direct**:Wi-Fi Directについて設定します。
- **WPSプッシュボタン**:WPSプッシュボタン方式で設定します。
 - アクセスポイントのWPSボタンを押してください。自動的にアクセスポイントを検出し登録が開始されます。
- **WPS PIN入力**:WPS PIN方式で設定します。
 - 画面に表示されるPINをアクセスポイントに入力してください。
- **MACアドレス**:MACアドレスを確認できます。
- **IPアドレス**:IPアドレスを確認できます。

- WPSの登録処理には数分かかります。アクセスポイントの登録処理後、アクセスポイントに適切に接続されていることをご確認ください。

■ アクセスポイントの設定の削除

- 1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[Wi-Fi]
- 2 設定済みのアクセスポイントを選ぶ▶[削除]▶[はい]

モバイル ネットワーク




- 1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]
- 2 項目を選ぶ
 - データローミング: データローミングについては [P.161](#)「データローミング」
 - 優先ネットワークタイプ: 優先ネットワークタイプについては [P.161](#)「優先ネットワークタイプ」
 - 4G LTE拡張モード: LTEサービスを使用して音声などの通信を改善するか設定します。
 - アクセスポイント名: アクセスポイントの設定や確認をします。
 - 通信事業者: 通信事業者については [P.161](#)「通信事業者」

■ アクセスポイントの設定

インターネットに接続するためのアクセスポイント*を設定します。

- 本端末には、いくつかの通信事業者に対応したアクセスポイントがあらかじめ登録されています。nanoSIMカードを取り付けた状態で電源を入れると、アクセスポイントが自動で設定されます。
 - 対応するアクセスポイントが本端末に登録されていない場合は、アクセスポイントを追加で設定してください。以降は電源を入れると設定したアクセスポイントに接続します。

※ 通信事業者によっては「APN」や「アクセスポイントネーム」とも呼ばれます。

- 1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[アクセスポイント名]
 - 利用中のアクセスポイントを確認できます。
- 2 []
- 3 [名前]▶作成するネットワークプロファイルの名前を入力▶[OK]
- 4 [APN]▶アクセスポイント名を入力▶[OK]
- 5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力▶[]▶[保存]

■ アクセスポイントの初期化

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻りません。

1 ホーム画面 ▶ [📶] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [モバイル ネットワーク] ▶ [アクセスポイント名]

2 [⋮] ▶ [初期設定にリセット]

- 圏外など電波状況によりアクセスポイントの自動設定に失敗した場合は、再度手動でアクセスポイントを設定する必要があります。

データ使用量

モバイル ネットワークやWi-Fiネットワーク経由のデータ使用量を確認できます。また、データ使用量に上限を設けることができます。

1 ホーム画面 ▶ [📶] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [データ使用量]

- モバイル ネットワーク経由のデータ使用量が表示されません。

2 項目を選ぶ

- **データセーバー**:一部のアプリによるバックグラウンドでのデータ送受信を停止することで、データ使用量を抑制することができます。
 - データセーバー中もデータ通信を制限しないアプリについては、[データへの無制限アクセス]から設定することができます。

- **モバイルデータ**:モバイル ネットワーク経由のデータ通信を利用するか設定します。
- **モバイルデータ使用**:モバイル ネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。
- **請求期間**:モバイル ネットワーク経由のデータ使用量について、月単位の測定開始日や警告を発するデータ使用量を設定します。
また、[データ上限の設定]をONにすると、データ使用量が上限に達した場合にデータ通信を停止することができます。上限は[データ上限]で設定できます。
 - データ使用量が上限に達すると、モバイルデータが一時停止中である旨の通知が表示されます。[OK]をタッチすると、次の請求期間までデータ通信を停止します。[再開]をタッチすると、データ通信を再開します。
- **Wi-Fi データ使用量**:Wi-Fiネットワーク経由のデータ使用量をグラフで表示します。また、データ通信を使用したアプリも確認できます。
- **ネットワーク制限**:バックグラウンドでのデータ通信を制限している際、モバイル ネットワークと同様に扱われるWi-Fiネットワークを設定します。

- 表示されるデータ使用量は目安です。

アクセス ポイントとテザリング

本端末をアクセスポイントとして利用することで、Wi-Fi対応機器やUSB Type-CケーブルまたはBluetooth通信で接続したパソコンなどをインターネットに接続するテザリング機能を利用することができます。

- 同時に接続できる機器数は、USB Type-Cケーブルで接続したパソコン1台、Wi-Fi対応機器10台、Bluetooth機器4台の計15台です。
- Bluetoothテザリングを行うには、あらかじめ相手のBluetooth機器を登録しておいてください(※P.153「Bluetooth機能の利用」)。Bluetooth機器側の設定については、Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[アクセス ポイントとテザリング]

2 項目を選ぶ

- **USBテザリング**: USBテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリング**: Wi-Fiテザリングを利用するか設定します。
- **Wi-Fiテザリングを設定**: ネットワーク名やセキュリティなどWi-Fiテザリングについて設定します。
- **Wi-Fiテザリング簡単接続**: WPSに対応しているアクセスポイントを利用してテザリングを利用するか設定します。
- **Bluetoothテザリング**: Bluetoothテザリングを利用するか設定します。

[USBテザリング]について

- テザリング機能は、パソコンのOSがWindows 7、Windows 8.1、Windows 10、Linuxの場合にご利用いただけます。
- USBテザリング中は、本端末に取り付けられたmicroSDカードをパソコンでマウントすることはできません。
- USBテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#usb>

[Wi-Fiテザリング]について

- 本端末がアクセスポイントとして機能している場合、本端末はWi-Fi接続でインターネットにアクセスすることはできません。
- Wi-Fiアクセスポイントの設定は[Wi-Fiテザリングを設定]で行ってください。
- Wi-Fiテザリングの詳細については、次のサイトをご覧ください。
<http://www.android.com/tether#wifi>

[Wi-Fiテザリングを設定]について

- お買い上げ時は、ネットワーク名は[SH-M06_AP]、セキュリティは[WPA2 PSK]、パスワードはランダムな値が設定されています。必要に応じて設定を変更してください。

接続済みの端末

Bluetooth機能やおサイフケータイなどについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [接続済みの端末]

2 項目を選ぶ

- **Bluetooth**: Bluetooth機能についてはP.151「Bluetooth®機能」
- **キャスト**: キャストについてはP.159「キャスト」
- **NFC/おサイフケータイ 設定**: NFC/おサイフケータイ 設定についてはP.88「NFC/おサイフケータイ 設定」
- **USB**: パソコンと接続した際のUSB接続の用途について設定します。USB接続についてはP.157「パソコンとの接続」
- **印刷**: 印刷用アプリ(プラグイン)をインストールして、印刷機能に対応したアプリで印刷することができます。

■ 印刷用アプリ(プラグイン)の利用

インストールした印刷用アプリ(プラグイン)を設定できます。

- あらかじめ利用するプリンターに対応した印刷用アプリ(プラグイン)をインストールしておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [接続済みの端末] ▶ [印刷]

2 印刷サービスを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

アプリと通知

アプリや通知について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知]

2 項目を選ぶ

- **アプリ情報**: アプリ情報についてはP.125「アプリ情報」
- **通知**: アプリの通知について設定します。
- **アプリの権限**: アプリの権限についてはP.62「利用する機能について設定」
- **デフォルト アプリ**: デフォルトで起動するアプリを設定します。
- **緊急速報メール**: 緊急速報メールについて設定します。
- **特別なアプリアクセス**: 電池の最適化やシステム設定の変更など、特別なアプリアクセスについて設定します。

■ ロック画面の通知

タッチパネルのロック画面に表示する通知について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知]

2 [通知]

3 [ロック画面の通知] ▶ 通知の表示/非表示を選ぶ

- [プライベートな通知内容を非表示にする]を選択すると、ロック画面に表示する通知で、相手の電話番号や通知の件数など、詳細を表示しないようにします。
 - ・ 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているときに利用できます。

■ タップ&ペイ

決済アプリなどの読み取り機にかざして利用できるサービスの有効／無効の設定ができます。

- 1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知] ▶ [詳細設定]
▶ [デフォルト アプリ] ▶ [タップ&ペイ]
- 2 サービスを選ぶ
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。
 - 仕組みの確認: [⋮] ▶ [仕組み]

アプリ情報

アプリの名前やメモリの使用状況、バージョンなどの確認、有効／無効の設定、アンインストールなどができます。

- 1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリ情報]
- 2 アプリを選ぶ

■ アプリの無効

アプリの動作を停止し、アンインストールせずにアプリ一覧画面に表示しないように設定します。

- アンインストールできないアプリを無効にできます。

- 1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリ情報]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 [無効にする] ▶ [アプリを無効にする]

- アプリを無効にすると、無効にされたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しない場合があります。その場合は、アプリを有効にしてください。

■ アプリの有効

- 1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [アプリと通知] ▶ [アプリ情報]
- 2 アプリを選ぶ
- 3 [有効にする]


省エネ&バッテリー

長エネスイッチの起動や電池の利用状況の確認などを行います。

- 1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [省エネ&バッテリー]
 - 2 項目を選ぶ
 - **長エネスイッチ**: 長エネスイッチについては P.126 「長エネスイッチ」
 - **電池**: 電池の利用状況などを確認したり、電池残量をステータスバーに表示するなどの電源管理について設定できます。
- 電池の最適化を行うと、各アプリの電池消費を抑えるため、画面消灯中(充電中を除く)はアプリが動作しないように設定されます。電池の最適化の設定については P.62 「電池の最適化の設定」

長エネスイッチ


端末の機能を制限して、電池の消費を抑えることができます。

- 1 ホーム画面▶▶[省エネ&バッテリー]▶[長エネスイッチ]
- 2 [OFF] / [ON]
- 3 項目を選ぶ
 - **長エネスイッチの概要**: 機能の説明を表示します。
 - **詳細設定**: 制限する機能を個別に設定します。
 - **電池残量で切替**: 設定した電池残量以下の場合、長エネスイッチを自動で[ON]にするか設定します。
 - **切替条件設定**: [電池残量で切替]で長エネスイッチを[ON]にする電池残量を設定します。

- 充電を開始すると長エネスイッチは[OFF]になります。
- [電池残量で切替]によって長エネスイッチが[ON]になっているとき、[電池残量で切替]を無効にしても長エネスイッチは[OFF]になりません。

ディスプレイ

画面表示などについて設定します。

- 1 ホーム画面▶▶[ディスプレイ]
- 2 項目を選ぶ
 - **明るさのレベル**: 明るさ調整バーをドラッグして画面の明るさを調整します。
 - **明るさの自動調節**: バックライトの明るさを自動で調整するか設定します。自動で調整を行わない場合は、手動で明るさを設定してください。
 - **充電時は明るくする**: 充電中はディスプレイの表示を明るくするか設定します。
 - **壁紙**: ホーム画面やタッチパネルのロック画面の画像を設定します。
 - [ロックフォトシャッフル]をONに設定すると、ディスプレイを表示させるたびにタッチパネルのロック画面の画像が自動的に切り替わるよう設定できます。
 - **スリープ**: バックライトの点灯時間を設定します。
 - **なめらか倍速表示**: アプリをなめらかに表示するか設定します。
 - **リラックス設定**: リラックス設定についてはP.128「リラックス設定」
 - **スタンダードモード**: 全体画面表示を行うアプリについて、画面上部の拡張領域を使用するかを設定します。
 - **画質モード**: 画質について設定します。また、動画再生の画質をHDRのように表示する機能(バーチャルHDR)を利用するか設定します。
 - **ヒカリエモーション**: ヒカリエモーションについてはP.128「ヒカリエモーション」

- **グローブモード**:手袋をしたままで画面をタッチして操作できるようにするか設定します。
- **端末の回転**:端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **文字フォント設定**:文字のサイズやフォントについて設定します。
- **表示サイズ**:画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **のぞき見ブロック**:のぞき見ブロックについては
P.129「のぞき見ブロック」
- **スクリーンセーバー**:スクリーンセーバーを利用するか設定します。

[明るさのレベル]について

- ディスプレイの明るさを上げると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[スリープ]について

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますので、ご注意ください。

[なめらか倍速表示]について

- アプリによっては効果が得られないことがあります。その場合は、設定をOFFにしてください。
また、電池残量や端末温度によっても、効果が得られない場合があります。
- アプリを起動したまま設定を変更すると、正常に動作しなくなることがあります。
その場合は、一度アプリを終了してください。

[画質モード]について

- [リラックスビュー]がONの場合は、画質モードの設定が反映されません。

[グローブモード]について

- 手袋の素材によってはタッチ操作ができない場合があります。
- 手袋をしていないときは、[グローブモード]をOFFにしてご利用ください。

[端末の回転]について

- 利用中のアプリによっては、設定に従わない場合があります。

[文字フォント設定]について

- Google Playなどでダウンロードしたアプリを起動したときに、正しく表示されない場合があります。

リラックス設定

目に優しい画質モードの利用について設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[ディスプレイ]▶[詳細設定] ▶[リラックス設定]

2 項目を選ぶ

- **リラックスビュー**:目に優しい画質モードにするか設定します。
 - **リラックスオート**:特定の時間帯にリラックスビューにするか設定します。
 - **リラックスオートの概要**:機能の説明を表示します。
 - **時間設定**: [リラックスオート]でリラックスビューにする時間帯を設定します。
 - [エモパー連動]にすると、エモパーが学習したお客様の就寝前に、[リラックスビュー]がONになります。
 - **画質設定**:リラックスビューの画質を設定します。
- [リラックスビュー]をONにしている場合、カメラ利用時は画面が通常の画質で表示されます。ただし、撮影画面からアルバムの起動や直前に撮影した静止画/動画の表示を行った場合、画面はリラックスビューの画質で表示されます。

ヒカリエモーション

着信時や充電開始時などに、ディスプレイに光の演出を表示します。

1 ホーム画面▶[]▶[ディスプレイ]▶[詳細設定] ▶[ヒカリエモーション]

2 ONにする

3 項目を選ぶ

- **電話着信中**:着信時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **電話着信パターン/カラー**:着信時のヒカリエモーションの点滅パターンや点滅カラーについて設定します。
- **お知らせ通知**:不在着信などお知らせがある場合に、着信ランプを点滅させて通知するか設定します。
 - 着信ランプの点滅色などについてはP.49「着信/充電ランプ」
- **充電開始時**:充電開始時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **ロック解除時**:タッチパネルのロック解除時にヒカリエモーションを動作させるか設定します。
- **終話時**:通話が終了したときにヒカリエモーションを動作させるか設定します。

のぞき見ブロック

周りの人からディスプレイを見えにくくします。

1 ホーム画面▶[]▶[ディスプレイ]▶[詳細設定]▶[のぞき見ブロック]

2 項目を選ぶ

- **のぞき見ブロック**: [のぞき見ブロック]をONにするか設定します。
- **表示パターン**: 表示パターンを設定します。
- **強弱設定**: 周りの人から見えにくくする効果(濃淡)を調整します。

[のぞき見ブロック]について

- 電源を切ると[のぞき見ブロック]がOFFになります。

[表示パターン]について

- 周りの人から見えにくくする効果は、選択したパターンによってそれぞれ異なります。

音

着信音・お知らせ音などについて設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[音]

2 項目を選ぶ

- **メディアの音量**: メディア音(音楽や動画、ワンセグなど)の音量を設定します。
- **アラームの音量**: アラームの音量を設定します。
- **着信音の音量**: 着信音の音量を設定します。
- **エモパーの音量**: エモパーの音量を設定します。
- **着信時もバイブレーションON**: 着信時にバイブレータを動作させるか設定します。
- **マナーモードの詳細設定**: 優先する通知や、特定の時間帯などの通知動作について設定します。
 - マナーモードの詳細についてはP.53「マナーモード」
- **着信音**: 着信音を設定します。
- **デフォルトの通知音**: お知らせ音を設定します。
- **デフォルトのアラーム音**: アラーム音を設定します。
- **ダイヤルパッドの操作音**: キーボード操作音の有無を設定します。
- **画面ロック音**: タッチパネルのロック/ロック解除時の操作音の有無を設定します。
- **タッチ操作音**: メニューなどをタッチしたときの操作音の有無を設定します。
- **タップ操作時のバイブ**: ナビゲーションキーなどをタッチしたときにバイブレータを動作させるか設定します。
- **緊急速報メール**: 緊急速報メールについて設定します。

AQUOS便利機能

本端末に搭載されている便利な機能の設定を行います。

1 ホーム画面▶[]▶[AQUOS便利機能]

2 項目を選ぶ

- **なめらか倍速表示**: なめらか倍速表示については [P.126](#)「ディスプレイ」
- **指紋センサー**: 指紋センサーについては [P.137](#)「指紋認証」
- **スクロールオート**: スクロールオートについては [P.131](#)「スクロールオート」
- **エモパー**: エモパーについては [P.112](#)「エモパー」
- **Clip Now**: Clip Nowについては [P.131](#)「Clip Now」
- **自動画面点灯**: 自動画面点灯については [P.132](#)「自動画面点灯」
- **スマホカバー設定**: AQUOS Frosted Cover(市販品)を装着する場合に、[AQUOS Frosted Cover]をONに設定します。また、[AQUOS Frosted Coverの詳しい情報はこちら]でAQUOS Frosted Coverの利用方法などを確認できます。
 - ・ カバーの開閉によってディスプレイの表示/非表示を切り替えることができます。カバーを閉じているときにディスプレイを表示すると、画面はくもった状態となります。カバーをなぞるとなぞったところのくもりが消え、カバーを閉じたまま通知の確認や操作ができます。
- **ロボクル設定**: ロボクル設定については [P.132](#)「ロボクル設定」

AQUOS Frosted Coverについて

- [グローブモード]をONにしている場合、カバーの上からは手袋をしたまま操作できないことがあります。
- 次の場合は、カバーを閉じているときでも画面はくもりません。
 - 着信時
 - アラーム鳴動時
 - エモパーがお話するとき
- カバーを閉じている場合、エモパーは画面表示のみのお知らせは行いません。

スクロールオート

表示中のサイトなどの画面を上下方向に自動でスクロールできません。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [スクロールオート]

2 項目を選ぶ

- **ON/OFF設定**: スクロールオートを利用するか設定します。
- **対象アプリ設定**: スクロールオートを動作させるアプリを設定します。
- **ステータスバーへの通知**: 対象アプリが起動しているときに、お知らせアイコンで通知するか設定します。

■ 画面の自動スクロール

1 スクロールする方向に画面をドラッグ ▶ 表示された矢印に指を合わせ、指を離す

- 指を離すとスクロールを開始します。
- 約5分間動作するとスクロールを停止します。
- スクロール速度の調整: [+] / [-]
- スクロールの停止: 画面をタッチ

- 画面をドラッグする速度が速すぎると、矢印が表示されません。
- 画面の位置によっては、指を離しても自動スクロールしない場合があります。
- 自動スクロール中は画面の左端に [🌀] が表示され、スクロールの動きを表します。

Clip Now

画面の縁を指でなぞることで表示中の画面を画像(保存用スクリーンショット)として撮影できます。

また、画面を一時的に保存できる一時メモ用スクリーンショットを利用できます。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [Clip Now]

2 項目を選ぶ

- **ON/OFF設定**: Clip Nowを利用するか設定します。
- **使い方ガイド**: 機能の説明を表示します。
- **なぞり動作設定**: 保存用スクリーンショットや一時メモ用スクリーンショットを利用するか設定します。
- **共有メニューの表示**: 一時メモを撮影したときに、共有メニューを表示するか設定します。
- **全件削除**: 撮影した保存用スクリーンショットを全件削除します。

- アプリによっては全部または一部が保存できない場合があります。

【なぞり動作設定】について


- 両方の機能を無効にすることはできません。Clip Nowを利用しない場合は、[ON/OFF設定]でClip NowをOFFにしてください。

■ 保存用スクリーンショットの利用

1 保存したい画面をディスプレイに表示 ▶ 画面の左上/右上から、画面の縁を右/左になぞる

■ 一時メモ用スクリーンショットの利用

1 一時的に保存したい画面をディスプレイに表示▶ 画面の左上／右上から、画面の縁を下になぞる

- 一時メモの確認:画面の左端または右端に表示される一時メモの一部を画面の中央にドラッグ
- 一時メモの削除:一時メモをタッチ▶までドラッグ

自動画面点灯

端末を持ち上げたときや手に持っているときのディスプレイ表示について設定します。

1 ホーム画面▶▶[AQUOS便利機能]▶[自動画面点灯]

2 項目を選ぶ

- **持つと画面点灯**:ディスプレイの表示が消えている場合、端末を持ち上げて静止したときに、ディスプレイを表示させるか設定します。
- **Bright Keep**:端末を手に持っているときはディスプレイの表示が消えないようにするか設定します。

[持つと画面点灯]について

- お買い上げ時は有効になっています。
- 次の場合などは、ディスプレイが表示されないことがあります。
 - 端末を持ったまま動いている場合(乗車中)
 - 持ち上げる前や持ち上げたあとに、端末を動かし続けている場合
 - 垂直または水平に持ち上げた場合

[Bright Keep]について

- Bright Keepを設定し、端末を手に持っていても、端末の静止状態が続いた場合や、一定時間何も操作していない場合はディスプレイの表示が消える場合があります。

ロボクル設定

ロボクル(市販品)に端末を接続すると、画面点灯時や充電開始、着信、アラームなどに合わせてロボクルが回転し、お客様の方を向きます。また、状況に合わせてエモパーがお話します。ロボクルはエモパーと連動し、エモパー動作時にはお客様の方を向いてお話します。

- エモパーをONにすると、より多くの場面でエモパーに連動してロボクルが動作します。

1 ホーム画面▶▶[AQUOS便利機能]▶[ロボクル設定]

2 項目を選ぶ

- **ロボクルの動作**:本端末をロボクルで充電しているときに、ロボクルを動作させるか設定します。
- **ロボクルの詳しい情報はこちら**:シャープのサイトに接続し、ロボクルについての詳しい情報を確認できます。

ストレージ

本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量の確認、保存されているデータの表示などができます。

- 保存データの管理についてはP.149「ファイル操作」

1 ホーム画面▶[⊙]▶[ストレージ]

- 本体メモリやmicroSDカード、USBメモリの使用容量／合計容量が表示されます。
 - microSDカードやUSBメモリを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- [SDカード]やUSBメモリ名を選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードやUSBメモリのマウント解除：[SDカード]やUSBメモリ名の[▲]
- microSDカードやUSBメモリをマウント：[SDカード]／USBメモリ名を選ぶ▶[マウント]

microSDカード／USBメモリのフォーマット

microSDカードやUSBメモリを初期化します。

- 1 ホーム画面▶[⊙]▶[ストレージ]
- 2 [SDカード]／USBメモリ名を選ぶ▶[!:]▶[ストレージの設定]▶[フォーマット]▶[消去してフォーマット]
- 3 [完了]

- 初期化を行うと、microSDカードやUSBメモリの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

microSDカードの暗号化／暗号化解除

microSDカードを暗号化すると、microSDカード内のデータは、暗号化を実施した端末以外では利用できなくなります。通常のmicroSDカードとして使用するには、暗号化を解除する必要があります。

- 電池を十分に充電した状態で、充電しながら操作してください。
- あらかじめ画面ロックを[ロックNo.]または[パスワード]に設定しておいてください。
 - 画面ロックについてはP.134「セキュリティと現在地情報」

- 1 ホーム画面▶[⊙]▶[ストレージ]
- 2 [SDカード]▶[!:]▶[ストレージの設定]▶[暗号化]／[暗号化解除]▶[確認]
 - 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

3 [開始]

- microSDカードの空き容量が不足していると、暗号化／暗号化解除を実行できません。
- microSDカードを暗号化した状態でオールリセットを行った場合、microSDカード内のデータを利用できなくなりますのでご注意ください。オールリセットを行う前に、暗号化解除を行ってください。
- microSDカードを暗号化した端末に、暗号化していない別のmicroSDカードを取り付けた場合、microSDカードは読み取り専用となります。
- 読み取り専用のmicroSDカードは、暗号化することで書き込みが可能となります。
- microSDカードの暗号化／暗号化解除には時間がかかる場合があります。暗号化を実行中は充電を中止したり、microSDカードを取り外したりしないでください。暗号化が中断された場合、microSDカード内のデータが失われる可能性があります。

セキュリティと現在地情報

セキュリティロックや、位置情報について設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[セキュリティと現在地情報]

2 項目を選ぶ

- **Google Play プロテクト**: アプリや本端末に不正な動作がないかスキャンする機能について設定します。
- **端末を探す**: Googleアカウントによる遠隔操作で、本端末の位置情報を検出したり、タッチパネルのロックやオールリセットを実行できるようにするか設定します。
- **セキュリティ アップデート**: セキュリティシステムのアップデートについて最新の状態が確認できます。システムアップデートについてはP.169「システム アップデート」
- **画面ロック**: 電源を入れたときやディスプレイを表示させたときのタッチパネルのロック解除方法やタッチパネルのロック動作について設定します。
- **ロック画面の設定**: タッチパネルのロック画面に表示する通知やメッセージについて設定します。ロック画面の通知についてはP.124「アプリと通知」
- **指紋**: 指紋認証に使う指の指紋を登録します。指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。指紋認証についてはP.137「指紋認証」
- **Smart Lock**: 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しているとき、信頼できる場所や信頼できる端末、認識済みの顔などを確認した場合は、タッチパネルのロックをスワイプで解除するように設定します。
- **位置情報**: 位置情報についてはP.140「位置情報」

- **パスワードを表示**: PINコードなどを入力する際、[・]が表示される前に入力した文字を表示させるか設定します。
- **端末管理アプリ**: アプリのデバイス管理機能を設定します。アプリによっては、デバイス管理機能を有効にしないと利用できないものがあります。
- **SIMカードロック設定**: SIMカードロック設定については [P.140「SIMカードロック設定」]
- **暗号化と認証情報**: スマートフォンの暗号化の状態を確認したり、認証情報について設定します。
- **信頼できるエージェント**: タッチパネルのロックを解除するアプリ(エージェント)について設定します。
- **画面の固定**: 選択したアプリ以外を使用できないようにします。操作方法については [P.59「アプリ使用履歴」]
- **使用履歴にアクセスできるアプリ**: アプリ使用履歴データにアクセスできるアプリを設定します。

【画面ロック】について


- 設定項目は次のとおりです。
 - なし: タッチパネルのロック画面を表示しません。
 - スワイプ: [🔒] を上にスライドしてロックを解除します。
 - パターン: 4つ以上の点を結びパターンを設定します。
 - ロックNo.: 4～16桁の数字を設定します。
 - パスワード: 4～16桁の英数字と半角記号を設定します。
 - 一部の半角記号は利用できません。
- 画面ロックを [パターン] / [ロックNo.] / [パスワード] に設定している場合、各種設定を行うときにロック解除の画面が表示される場合があります。ロック解除の画面が表示された場合は、設定している方法でロックを解除してください。

- 指紋を登録している場合は指紋認証でも解除することができます。
 - 指紋認証に5回連続して失敗すると、一定時間指紋によるロック解除ができなくなります。しばらくしてから再度操作するか、画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。
- パターン/ロックNo./パスワードの入力を間違えると、間違えた回数に応じて一定時間ロック解除ができなくなります。
 - 5回連続: 30秒間
 - 10回連続: 30秒間
 10回連続して間違えた場合、それ以降に間違えるごとに30秒間入力ができません。ロックを解除すると、カウントはリセットされます。
- 画面ロックの [⚙️] をタッチすると、次の項目を設定することができます。画面ロックの設定によって、表示される項目は異なります。
 - パターンを表示する: パターンの入力時の軌跡を線で表示するか設定します。
 - 自動ロック: タッチパネルがロックされるまでの時間を設定します。
 - 電源ボタンですぐにロックする: [🔒] を押してディスプレイの表示を消したときに、自動ロックで設定した時間にかかわらずタッチパネルをロックするか設定します。
 - ロック画面メッセージ: タッチパネルのロック画面に表示するメッセージについて設定します。
- パターン/ロックNo./パスワードを忘れた場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」にお問い合わせください。

端末起動時のロック解除について

- 画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定するときは、端末を起動する際にロック解除を行うようにするかを設定できません。
- 端末起動時のロック解除の際、パターン/ロックNo./パスワードの入力を10回および20回連続して間違えると、電源を入れ直すまで入力できません。30回連続して間違えると、端末が初期化されますので、設定したロック解除方法をお忘れにならないようご注意ください。

[Smart Lock]について

- Smart Lock利用中、タッチパネルのロック画面で[>]などの解除アイコンをタッチすると、Smart Lockを一時無効にできます。

[暗号化と認証情報]について

- 証明書を削除した場合、「信頼できる認証情報」からは証明書の参照ができなくなりますが、他の機能からは証明書の参照が可能なままとなります。証明書を完全に削除する場合は認証ストレージの消去を行ってください。
- 「認証ストレージの消去」をタッチすると、VPNの設定も削除されます。

本端末で利用する暗証番号

本端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

- 各種機能用の暗証番号、PINコード入力時は、[-]で表示されます。

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」、「電話番号の一部」、「所在地番号や部屋番号」、「1111」、「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万一、暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ PINコード

PINコードは、第三者によるnanoSIMカードの無断使用を防ぐため、nanoSIMカードを取り付ける、または本端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4~8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 別の端末で利用していたnanoSIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

■ PINロック解除コード(PUKコード)

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、お客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を、10回連続して間違えるとnanoSIMカードが完全にロックされます。その場合は、nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。

■ Googleアカウント

Googleアカウントとは、Googleの各種サービスを利用するためのユーザー名/パスワードです。本端末にGoogleアカウントを設定することで、Gmailを利用してEメールを送受信したり、Google Playを利用してアプリやゲームなどのコンテンツをダウンロードしたりできます。

指紋認証

指紋認証は、指紋センサーを指でタッチして行う認証機能です。タッチパネルのロック解除などを行うことができます。

■ 指紋認証機能利用時のご注意

- 指紋認証は、指紋画像の特徴情報を利用して認証を行います。指紋画像の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証を利用できないことがあります。
- 認証性能(指紋センサーを正しく指でタッチした際に指紋が認証される性能)はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変えるなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
 - お風呂上がりなどで指がふやけている
 - 指が乾燥している
 - 指に汗や脂が多く、指紋の溝が埋まっている
 - 指が泥や油で汚れている
 - 指が汗などで濡れている
 - 手荒れや、指に損傷(切傷やただれなど)がある
 - 指の表面が磨耗して指紋が薄い
 - 太ったりやせたりして指紋が変化した
 - 登録時に比べ、認証時の指の表面状態が極端に異なる
- 指紋認証技術は、完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では、本端末を第三者に使用されたこと、または使用できなかったことによって生じる損害に関しては、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 指紋センサー利用時のご注意

- ぶつけたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障および破損の原因となることがあります。また、センサー表面を引っかいたり、ボールペンやピンなど先の尖ったものでつついたりしないでください。
- 指紋センサー表面にシールなどを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりしないでください。
- ほこりや皮脂などの汚れが付着すると、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
- 指を離すのが早すぎると、正常に認識できないことがあります。指紋が認証されてから、指を離してください。
- 指紋センサーに指を触れたまま指紋の登録や認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離し、再度操作してください。

■ 指紋の登録

指紋認証に使う指の指紋を登録します。

- 指紋は5件まで登録できます。
- 読み取りに失敗する場合は、指を変えることで認証性能が改善されることがあります。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください(※ P.134「セキュリティと現在地情報」)。

1 ホーム画面 ▶ ▶ [セキュリティと現在地情報] ▶ [指紋]

- ホーム画面 ▶  ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [指紋登録]でも指紋を設定できます。

2 [次へ]

- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

3 [次へ]

4 指紋センサーを指の腹でタッチ

- 広い範囲の指紋を登録するため、指紋センサーに触れる部分を少しずつずらしながら、パーセントの表示が100%になるまで繰り返しタッチしてください。
- 指紋を登録すると、画面ロックを指紋認証でも解除できるようになります。
 - 指紋認証ができない場合は、画面ロックで設定した方法でロックを解除します。

5 [完了]

- 続けて別の指紋を登録する場合は、[別の指紋を登録]を選択してください。

- 画面ロックを[なし]か[スワイプ]に設定すると、登録した指紋が削除されますので、ご注意ください。

■ 指紋の管理

指紋の追加や削除、登録名の変更ができます。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [セキュリティと現在地情報] ▶ [指紋]

- ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [指紋登録] でも指紋を設定できます。
- 画面ロックで設定した方法でロックを解除してください。

2 指紋を管理する

- 指紋を追加: [指紋を追加] ▶ 画面の指示に従って操作
- 登録名の変更: 登録済みの指紋をタッチ ▶ 名前を入力 ▶ [OK]
- 登録した指紋の削除: 登録済みの指紋をタッチ ▶ [削除]
 - ・ 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[削除]を選択してください。

■ 指紋認証機能の利用

1 画面消灯中／タッチパネルのロック画面／指紋の認証画面で指紋センサーを指の腹でタッチ

- 画面消灯中に操作すると、タッチパネルのロックが解除され、ディスプレイが表示されます。
- 正しく認証されない場合は、指を指紋センサーから離し、再度操作してください。

■ ホームキーとして使う

指紋センサーをホームキーとして使うことができます。画面消灯中はディスプレイを表示します。

- 指紋を登録していなかったり、登録した指紋と異なる指でタッチしても、ホームキーとして利用できます。
- 指紋を登録していない場合、画面消灯中に指紋センサーをタッチするとディスプレイが表示されます。指紋を登録している場合、登録した指紋と異なる指でタッチしたときは、ディスプレイは表示されません。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [ホームキーとして使う]

■ 戻るキー／履歴キーも使う

指紋センサーを左から右へなぞることで戻るキーとして、右から左へなぞることでアプリ使用履歴キーとして使うことができます。

- ONにすることで、ナビゲーションキー表示領域(ナビゲーションバー)を非表示にして画面を広く表示することができます。ナビゲーションバーが非表示の場合、画面下部から上にフリックするとナビゲーションバーが一時的に表示されます。
- あらかじめ[ホームキーとして使う]をONに設定しておいてください。

1 ホーム画面 ▶ [🌀] ▶ [AQUOS便利機能] ▶ [指紋センサー] ▶ [戻るキー／履歴キーも使う]

位置情報

位置情報の測位について設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[セキュリティと現在地情報] ▶[位置情報]

2 ONにする

- 位置情報の利用についての確認画面が表示されます。[いいえ]/[はい]によって、設定されるモードが異なります。

3 項目を選ぶ

- **モード**: 位置情報を測位するモードを設定します。
- **アプリレベルの権限**: 位置情報の利用を許可するアプリを設定します。
- **スキャン**: 位置情報サービスやアプリが、位置情報の精度向上のためにWi-FiネットワークやBluetooth機器をスキャンするか設定できます。
 - ONにすると、[Wi-Fi]や[Bluetooth]をOFFにしている場合もスキャンします。
- 端末にGoogleアカウントを登録している場合は、ロケーション履歴や現在地の共有機能を利用できます。
- 最近の位置情報リクエストがある場合は、タッチするとアプリの情報を確認できます。

- 現在地を測位するためには、[位置情報]をONに設定する必要があります。ご利用のアプリによっては、アプリで位置情報に関する設定が必要な場合があります。

[モード]について

- 設定できるモードは次のとおりです。
 - **高精度**: GPS、Wi-Fi、Bluetooth、モバイル ネットワークで位置情報を測位します。
 - **バッテリー節約**: Wi-Fi、Bluetooth、モバイル ネットワークで位置情報を測位します。
 - **端末のみ**: GPSで位置情報を測位します。
- 設定したモードによっては、端末の消費電力が増加しますので、あらかじめご了承ください。

SIMカードロック設定

PINコードについて設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[セキュリティと現在地情報] ▶[SIMカードロック設定]

2 項目を選ぶ

- **SIMカードをロック**: 電源を入れたときにPINコードを入力するか設定します。
- **SIM PINの変更**: PINコードを変更します。

- 日本国内では通話可能なnanoSIMカードを取り付けていない場合やPINコードロック中、PINロック解除コードの入力画面では緊急通報番号(110番、119番、118番)に発信できません。
- 設定は通話可能なnanoSIMカードに保存されます。


PINロックの解除

- 1 PINロック中画面でPINロック解除コードを入力
- 2 新しいPINコードを入力
- 3 もう一度、新しいPINコードを入力

ユーザーとアカウント


Googleなどのアカウントの設定

- Googleアカウントを設定すると、GmailやGoogle PlayなどのGoogleサービスがご利用になります。

- 1 ホーム画面▶▶[ユーザーとアカウント]▶[アカウントを追加]


- 2 アカウントの種類を選ぶ

- 3 アカウントを設定する

- ホーム画面▶▶[ユーザーとアカウント]で表示されるメニューに、追加したアカウントが表示されます。

- アカウントが必要となるアプリを起動したときにアカウントが未設定の場合は、アカウント設定画面が表示されます。
- 設定したアカウントおよびパスワードはメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

■ アカウントの削除

- 1 ホーム画面▶▶[ユーザーとアカウント]
- 2 アカウントを選ぶ▶[アカウントを削除]▶[アカウントを削除]
 - アカウントにより操作方法が異なります。

■ Googleアカウントのパスワードの再取得

Googleアカウントのパスワードをお忘れになった場合は、パスワードを再取得してください。

- 1 ホーム画面▶
- 2 URL入力欄に「https://www.google.co.jp」を入力▶[実行]▶[ログイン]
- 3 メールアドレスを入力▶[次へ]▶[パスワードをお忘れの場合]▶画面の指示に従って操作
 - 利用状況により操作方法が異なります。

データの同期

端末とオンラインサービスとの間でデータを同期させることができます。データを同期させると、端末やパソコンからオンラインサービス上の同じ個人情報にアクセスし、データを利用・更新することができます。

自動同期するとき

各アカウントで設定された項目を自動的に同期するか設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[ユーザーとアカウント]

- 同期する項目の設定: アカウントの種類を選ぶ▶[アカウントの同期]▶項目を選ぶ

2 [自動的にデータを同期]▶[OK]

- 本体メモリの電話帳とオンラインサービス上の連絡先を同期する場合、Googleアカウント以外と同期する場合でも、最初にGoogleアカウントを登録してください。

手動同期するとき

- [自動的にデータを同期]がOFFのときは、選択した項目を手動で同期できます。

1 ホーム画面▶[]▶[ユーザーとアカウント]

2 アカウントの種類を選ぶ▶[アカウントの同期]



3 同期する項目を選ぶ

ユーザー補助

ユーザー補助オプションについて設定します。



1 ホーム画面▶[]▶[ユーザー補助]

2 項目を選ぶ

- **ユーザー補助のショートカット**: ユーザー補助機能をすばやく有効にできるようにするか設定します。
- **テキスト読み上げの出力**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。
- **フォントサイズ**: 文字のサイズを設定します。
- **表示サイズ**: 画面に表示されるアイコンなどのサイズを設定します。
- **拡大**: ディスプレイを3回タッチするか[]をタッチして拡大/縮小するか設定します。
- **大きなマウスポインタ**: ポインタを大きくするか設定します。
- **ポインタが停止したらクリック**: ポインタが停止した際の動作を設定します。
- **電源ボタンで通話を終了**: を押して通話を終了するか設定します。
- **画面の自動回転**: 端末を回転させたとき、画面の表示も回転させるか設定します。
- **押し続ける時間**: ロングタッチする時間を設定します。
- **モノラル音声**: 音声再生時のチャンネルを統合するか設定します。
- **字幕**: 字幕の表示について設定します。
- **高コントラストテキスト**: 端末に表示される文字色のコントラストを高くして表示するか設定します。

- **色補正**:ディスプレイに表示されている色の補正について設定します。
- **色反転**:ディスプレイに表示されている色を反転するか設定します。
- その他のユーザー補助サービスの利用については、画面の指示に従ってください。

[電源ボタンで通話を終了]について

- [スリープ]の設定に従ってディスプレイの表示が消えた場合は、を押すとディスプレイが表示されます。ディスプレイ表示中にを押すと、通話が終了します。

Google™

Googleの各種サービスの設定をまとめて行うことができます。

1 ホーム画面▶▶[Google]

2 項目を選ぶ







- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- Bluetooth機器を使用して音声検索を行うには、[検索]▶[音声]▶[Bluetoothヘッドセット]をONにします。

システム

画面に表示される言語や日時の設定など、システムにかかわる設定を行います。

1 ホーム画面▶▶[システム]

2 項目を選ぶ

- **言語と入力**:言語と入力についてはP.144「言語と入力」
- **日付と時刻**:日付と時刻についてはP.144「日付と時刻」
- **バックアップ**:Googleアカウントを利用して、アプリのデータやWi-Fiパスワードなどを自動的にバックアップするか設定します。
- **データ引継**:データ引継についてはP.145「データ引継」
- **システム アップデート**:システム アップデートについてはP.169「システム アップデート」
- **リセット**:リセットについてはP.147「リセット」
- **認証**:技術基準適合証明書などの情報を確認できません。
- **端末情報**:端末情報についてはP.147「端末情報」

言語と入力

画面に表示される言語や、文字入力、テキスト読み上げなどについて設定します。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [言語と入力]

2 項目を選ぶ

- **言語**: 表示言語を選択します。
- **仮想キーボード**: ソフトウェアキーボードについて設定します。
- **物理キーボード**: Bluetoothなどで接続したキーボードについて設定します。
- **スペルチェック**: スペルチェックについて設定します。
- **単語リスト**: 任意の単語を単語リストに登録します。
- **カメラの起動**: (Ⓞ)を2回押してカメラを起動するか設定します。
- **ポインタの速度**: ポインタの速度を設定します。
- **テキスト読み上げの出力**: 端末に表示される文字を読み上げる音声について設定します。

仮想キーボードについて

- 日本語を入力するときはS-Shoinを利用してください。
S-Shoinの設定についてはP.44「文字入力の設定」

[スペルチェック]について

- 日本語には対応していません。

日付と時刻

日時の設定や表示形式について設定します。

1 ホーム画面 ▶ [設定] ▶ [システム] ▶ [日付と時刻]

2 項目を選ぶ

- **日付と時刻の自動設定**: 日時を自動的に補正するか設定します。
- **タイムゾーンの自動設定**: ネットワークから提供されたタイムゾーンを利用するか設定します。
- **日付設定**: 日付を手動で設定します。
- **時刻設定**: 時刻を手動で設定します。
- **タイムゾーンの選択**: タイムゾーンを手動で設定します。
- **24時間表示**: 12時間制/24時間制を切り替えます。

[日付と時刻の自動設定]を有効にしたとき

- 電源を入れてもしばらく時刻が補正されない場合は、電源を入れ直してください。
- 電波状況によっては時刻を補正できないときがあります。
- 数秒程度の誤差が生じるときがあります。

データ引継

microSDカードを利用してデータを取り込んだり、本端末のデータをバックアップ／復元することができます。また、別の端末の電話帳データをBluetooth機能を利用して取り込むこともできます。

● microSDカードにバックアップ／復元できるデータは次のとおりです。

- 電話帳
- SMS
- スケジュール
- メモ帳*
- ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)
- エモパー

*メモ帳は引き継ぎのみ可能です。取り込んだデータはOfficeSuiteなどで確認できます。

- microSDカードを利用したバックアップ／復元中は[機内モード]がONになります。
- 本体メモリの空き容量が11Mバイト未満のときは、microSDカードにバックアップできません。
- microSDカードを利用する場合は、あらかじめmicroSDカードを挿入しておいてください。

1 ホーム画面▶[⊙]▶[システム]▶[データ引継]

2 項目を選ぶ

- **データ取り込み**:microSDカードやBluetooth機能を利用してデータを取り込みます。
- **SDカードにデータ保存**:microSDカードにデータを保存します。
- **機能紹介**:使いかたを動画で確認することができます。

■ バックアップファイルの保存

1 ホーム画面▶[⊙]▶[システム]▶[データ引継]

2 [SDカードにデータ保存]

3 保存するデータカテゴリを選ぶ

- [電話帳]や[スケジュール]を選択した場合は保存するアカウントの選択画面が表示されます。

4 [保存]▶[はい]

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは保存できません。

■ バックアップファイルの取り込み

1 ホーム画面▶[⊙]▶[システム]▶[データ引継]

2 [データ取り込み]

3 [取り込む]

4 取り込むバックアップファイルを選ぶ▶[追加登録]／[削除して登録]

- 確認画面が表示されます。以降は画面の指示に従って操作してください。

5 [完了]

- 電池残量が少ないときは取り込みできません。
- ユーザー辞書／学習辞書(S-Shoin)、エモパーは追加登録できません。[追加登録]を選択しても、既存のデータが削除されませんので、ご注意ください。

■ バックアップファイルの設定・管理

1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [システム] ▶ [データ引継]

2 [:] ▶ [設定]

3 項目を選ぶ

- **バックアップファイルの整理**: 保存されているバックアップデータを削除できます。
- **電話帳画像バックアップ**: 電話帳のバックアップ時に電話帳に登録された画像もバックアップするか設定します。
- **結果画面閲覧**: 最新のバックアップファイルの保存／取り込みの結果を表示します。

■ Bluetooth機能を利用して電話帳データを取り込む

1 ホーム画面 ▶ [⊙] ▶ [システム] ▶ [データ引継]

2 [データ取り込み]

3 取り込み元の端末の種類を選ぶ

- microSDカードのバックアップデータについての確認画面が表示された場合は、[スマートフォンから電話帳データを取り込む]を選択してください。

4 [次へ]

5 取り込み元の端末でBluetooth機能をONにする
▶ [次へ]

- 取り込み元の端末がAndroidの場合は、取り込み元の端末が本端末に表示されるように、取り込み元の端末を設定してください。

6 取り込み元の端末を選ぶ

7 [開始]

- ペア設定の確認画面が表示された場合は[ペア設定する]を選択してください。

8 [次へ]

9 [追加登録] / [削除して登録] ▶ [OK]

- アカウントが複数ある場合は登録するアカウントの選択画面が表示されます。

10 [OK]

リセット

1 ホーム画面▶[]▶[システム]▶[リセット]

2 項目を選ぶ

- **ネットワーク設定のリセット**: ネットワークに関する設定をすべてリセットします。
- **アプリの設定をリセット**: アプリに設定した内容をすべてリセットします。
- **オールリセット**: 本体メモリ内のすべてのデータをリセットします。

[オールリセット]について

- [SDカード内データも消去する]を有効にすると、microSDカード内のデータも同時に消去されます。
- 消去されるデータは次のとおりです。
 - 作成、保存、登録したデータ
 - 「設定」アプリで設定した内容
 - ダウンロードしたアプリ

端末情報

端末情報の確認ができます。

1 ホーム画面▶[]▶[システム]▶[端末情報]

2 項目を選ぶ

- **端末の状態**: 電池残量や利用中のネットワークなどを確認できます。
- **セルフチェック**: 症状や機能を選択して、端末の診断を行います。
- **センサー感度補正**: モーションセンサー、地磁気センサーの取得精度を補正します。
- **法的情報**: 著作権情報や利用規約などを確認できます。
- **モデル**: モデル番号を確認できます。
- **Androidバージョン**: Androidバージョンを確認できます。
- **Androidセキュリティパッチレベル**: 搭載されているセキュリティパッチがいつ配信されたものかを確認できます。
- **ベースバンドバージョン**: ベースバンドバージョンを確認できます。
- **カーネルバージョン**: カーネルバージョンを確認できます。
- **ビルド番号**: ビルド番号を確認できます。

[センサー感度補正]について

- 補正画面が表示され、約10秒経過してから補正を行ってください。
- 補正を行う環境や同時に起動しているアプリによっては、補正に失敗することがあります。補正を行う場所を変えるか、起動中のアプリを終了させるなどしてください。

■ セルフチェック

1 ホーム画面 ▶ [?] ▶ [システム] ▶ [端末情報] ▶ [セルフチェック]

- セーフモードで再起動: [セーフモードで再起動] ▶ [OK]

2 [チェックスタート]

3 [端末の症状から選択] / [端末の機能から選択]

4 項目を選ぶ

- [端末の機能から選択]の場合は、項目を選んで[次へ]をタッチします。また、項目の[?]をタッチすると、診断についてのヘルプが表示されます。

5 [次へ]

6 [診断開始]

- 診断の中止: [キャンセル] ▶ [次の項目] / [はい]
- 診断履歴をタッチすると、結果を確認することができます。

ファイル管理

ストレージ構成

■ 本体メモリ(内部ストレージ)

端末内にデータを保存できます。

- 本体メモリのストレージ名とパスは次のとおりです。
 - ・ ストレージ名:内部共有ストレージ
 - ・ パス:/storage/emulated/0
- お買い上げ時の本体メモリのフォルダ構成と、各フォルダに保存されるデータの種類などは次のとおりです。
 - ・ 本端末の操作状況により、表示されるフォルダが異なる場合があります。

Alarms	アラーム音などが保存されます。
Android	インストールしたアプリの一時ファイルなどが保存されます。
DCIM	端末で撮影した静止画や動画が保存されます。
Download	Chromeでダウンロードしたファイルが保存されます。
Movies	動画などが保存されます。
Music	音楽データなどが保存されます。
Notifications	お知らせ音などが保存されます。
Pictures	静止画などが保存されます。
Podcasts	ポッドキャストから取り込んだ音楽データなどが保存されます。

PRIVATE	静止画や動画、音楽データなどが保存されます。
Ringtones	着信音などが保存されます。

■ microSDカード(外部ストレージ)

端末内のデータをmicroSDカードに保存したり、microSDカード内のデータを端末に取り込んだりすることができます。

- microSDカードについてはP.33「microSDカード」

ファイル操作

本体メモリやmicroSDカードに保存されたデータの管理(フォルダの作成やフォルダ/ファイルの名称変更、削除、移動、コピーなど)ができます。

1 ホーム画面▶[🌀]▶[ストレージ]

- microSDカードを取り付けていない場合は、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。

2 ストレージを選ぶ

- [内部共有ストレージ]を選択すると、本体メモリの使用容量の詳細画面が表示されます。詳細画面で[ファイル]を選択すると、本体メモリに保存されているデータの一覧が表示されます。
- microSDカードを選択すると、保存されているデータの一覧が表示されます。

■ フォルダを作成

1 データ一覧画面で[📁]▶[新しいフォルダ]

2 フォルダ名を入力▶[OK]

■ フォルダ名／ファイル名を変更

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [:]▶[名前を変更]
- 3 フォルダ名／ファイル名を入力▶[OK]

■ フォルダ／ファイルを削除

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [🗑]▶[OK]

■ フォルダ／ファイルを移動／コピー

- 1 データ一覧画面でフォルダ／ファイルをロングタッチ
- 2 [:]▶[移動...]／[コピー...]
- 3 移動先／コピー先で[移動]／[コピー]

■ ファイルを検索

- 1 データ一覧画面で[🔍]
- 2 検索するキーワードを入力▶[Q]

■ 本体メモリの空き容量を増やす

ダウンロードしたデータやほとんど使われないアプリなどを削除して、本体メモリの空き容量を増やすことができます。また、古いデータを自動的に削除して、本体メモリの空き容量を増やすこともできます。

1 ホーム画面▶[🔍]▶[ストレージ]▶[内部共有ストレージ]▶[空き容量を増やす]

- microSDカードを取り付けていない場合は、ホーム画面▶[🔍]▶[ストレージ]▶[空き容量を増やす]と操作してください。
- [ストレージ マネージャ]をONにすると本端末のバックアップコンテンツを削除して自動的に空き容量を増やすよう設定できます。

2 削除するデータを選ぶ

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

Bluetooth®機能

端末とBluetooth機器をワイヤレスで接続できます。

- すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

■ 仕様

■ 対応バージョン

Bluetooth標準規格 Ver.5.0*1

■ 出力

Bluetooth標準規格 Power Class 1

■ 対応プロファイル*2(対応サービス)

HSP: Headset Profile(ヘッドセットプロファイル)*3

HFP: Hands Free Profile(ハンズフリープロファイル)*4

A2DP: Advanced Audio Distribution Profile(アドバンスドオーディオディストリビューションプロファイル)*5

AVRCP: Audio/Video Remote Control Profile(オーディオ/ビデオリモートコントロールプロファイル)*5

HID: Human Interface Device Profile(ヒューマンインターフェースデバイスプロファイル)*6

OPP: Object Push Profile(オブジェクトプッシュプロファイル)*7

SPP: Serial Port Profile(シリアルポートプロファイル)*8

FTP: File Transfer Profile(ファイルトランスファープロファイル)*9

PBAP: Phone Book Access Profile(フォンブックアクセスプロファイル)*10

PAN: Personal Area Networking Profile(パーソナルエリアネットワークプロファイル)*11

HOGP: HID Over GATT Profile(エイチアイディーオーバーガットプロファイル)*12

GATT: Generic Attribute Profile(ジェネリックアトリビュートプロファイル)*13

- ※1 端末およびすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認し、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なる場合や、接続してもデータのやりとりができない場合があります。
- ※2 Bluetooth機器の通信手順を製品の特性ごとに標準化したものです。
- ※3 端末に市販のBluetooth対応ヘッドセットをBluetooth接続すると、ワイヤレスで通話できます。
- ※4 端末にカーナビなど市販のBluetooth対応ハンズフリー機器をBluetooth接続すると、カーナビなどを利用してハンズフリー通話できます。
- ※5 端末に市販のBluetooth対応オーディオ機器をBluetooth接続すると、ワイヤレスで音楽やワンセグの音声などを再生できます。また、Bluetooth機器からリモコン操作できる場合もあります。ただし、データの種類によっては対応する機器が制限されます。
- ※6 端末にキーボードやマウスなど市販のBluetooth対応入力デバイスをBluetooth接続すると、Bluetooth機器から端末を操作できます。
- ※7 端末にBluetooth機器をファイル転送サービスで接続すると、Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。

- ※8 仮想的なシリアルケーブル接続を設定し機器間を相互接続することができます。
- ※9 Bluetooth機器との間でデータの送受信を行うことができます。
- ※10 Bluetooth機器に本体メモリの電話帳データを転送することができます。電話帳データの内容によっては、相手のBluetooth機器で正しく表示されない場合があります。
- ※11 パソコンなどのネットワークに参加し、インターネット接続を共有することができます。また、端末にパソコンなどをBluetooth接続すると、Bluetoothテザリングを行うこともできます。
- ※12 端末にキーボードやマウスなどのBluetooth Smart機器をBluetooth接続すると、Bluetooth Smart機器から端末を操作できます。
- ※13 その他のBluetooth機器と完全な相互運用性を維持しつつ、広範なイノベーションを実現することを可能にします。

- Bluetooth機器の取扱説明書をご覧ください。
- SCMS-T非対応のBluetooth機器では、データの種別により音声が出力できない場合があります。

Bluetooth機器取り扱い上のご注意

Bluetooth機器を利用するときは、次の事項にご注意ください。

- 良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。
 - 端末と他のBluetooth機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
 - 電気製品、AV機器、OA機器などからなるべく離して接続してください。電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、できるだけ離れてください。近づいていると、他の機器の電源が入っているときは、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります。
 - 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth機器の使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
 - Bluetooth機器をかばんやポケットに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetooth機器と端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。

- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。

- 電車内
- 航空機内
- 病院内
- 自動ドアや火災報知機から近い場所
- ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

Wi-Fi対応機器との電波干渉について

- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g/n)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。この場合、無線LANの電源を切るか、端末や接続相手のBluetooth機器を無線LANから約10m以上離してください。



Bluetooth機能の利用

- Bluetooth機器の登録・接続には、Bluetoothパスキーの入力が必要な場合があります。登録を始める前にお好きな1~16桁の数字を決めておき、端末・相手のBluetooth機器で同じ数字を入力してください。
- あらかじめ相手のBluetooth機器を登録待機状態にしておいてください。

1 ホーム画面▶[]▶[接続済みの端末]▶[Bluetooth]

2 ONにする

3 Bluetooth機器を選ぶ▶[ペア設定する]

- 接続確認画面が表示される場合があります。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーを入力する場合があります。また、登録完了後、続けて接続まで行う場合があります。
- Bluetooth機器を検索:[]▶[更新]
- ペア設定済みのBluetooth機器の[]をタッチして相手のBluetooth機器の名前や使用目的を設定できます。

- 最大7台まで同時に接続できます。プロファイルによっては、正しく動作しない場合や、同時に接続できる機器数が異なる場合があります。
- 接続に失敗する場合、Bluetooth機器を再登録すると接続できるようになる場合があります。
- [Bluetooth]をONにすると、他のBluetooth機器からの登録要求/接続要求を受けられる状態になります。他のBluetooth機器から検索する場合は、Bluetooth画面を表示しておいてください。
- 接続待機中、Bluetooth機器からの接続要求を受けても、電波状況などにより接続できないことがあります。
- 相手のBluetooth機器の操作方法の詳細は、ご使用になるBluetooth機器の取扱説明書をお読みください(ご覧になる取扱説明書によっては、「更新」の代わりに「検索」または「サーチ」、「ペア設定」の代わりに「ペアリング」または「機器登録」などと表記されています)。

■ Bluetooth機器からの登録要求や未登録のBluetooth機器からの接続要求を受けた場合

1 Bluetooth機器からの登録要求／接続要求

2 ペア設定画面で[ペア設定する]

- ステータスバーに[✳]が表示された場合はステータスバーを下にドラッグ▶[ペア設定リクエスト]▶[ペア設定する]と操作してください。
- 相手のBluetooth機器によっては、Bluetoothパスキーの入力をする場合もあります。
- 接続確認画面が表示される場合があります。

■ Bluetooth機器の登録解除

1 Bluetooth画面で登録を解除するBluetooth機器の[⚙]▶[削除]

■ Bluetooth機器の接続解除

1 Bluetooth画面で接続を解除するBluetooth機器を選ぶ▶[OK]

■ Bluetoothの設定

- [Bluetooth]をONにしてから設定してください。

1 Bluetooth画面で[⋮]

2 項目を選ぶ

- **更新**: Bluetooth機器を検索します。
- **この端末の名前を変更**: 本端末の名称を変更します。
- **受信済みファイルを表示**: Bluetooth通信のデータ受信履歴を表示します。

Bluetooth通信送受信

■ データを送信

例: 静止画のとき

1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶[アルバム]

2 静止画を選ぶ

3 [←]▶[Bluetooth]

- 受信側のBluetooth機器を受信待ち状態にします。

4 接続するBluetooth機器を選ぶ

■ データを受信

- 1 送信側のBluetooth機器からデータ送信
- 2 ステータスバーを下にドラッグ▶着信通知の[承諾]
- 3 ステータスバーを下にドラッグ▶受信したデータを選ぶ

- データの種類によっては、全件受信できないことがあります。
- 受信中に保存先の空き容量が不足した場合は、それまでに受信したデータを保存し、受信を終了します。

NFC通信

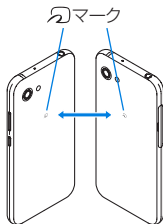
NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO(国際標準化機構)で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やReader/Writer機能、P2P機能などが本端末でご利用いただけます。

Android Beam

Reader/Writer, P2P機能を搭載した端末との間でデータを送受信できます。

- あらかじめ[Reader/Writer, P2P]を有効にし、[Android Beam]をONにしておいてください(☞P.88「NFC/おサイフケータイ 設定」)。
- 機内モードやNFC/おサイフケータイ ロックを設定している場合は、Android Beamを利用できません。
- 電話帳、静止画、動画などを送受信できます。
- アプリによってはAndroid Beamをご利用になれません。
- すべてのReader/Writer, P2P機能を搭載した端末との通信を保証するものではありません。

■ Android Beamのご利用にあたって



- 図のように受信側と送信側の端末のマークを重ね合わせてご利用ください。
- データの送受信が終わるまでは、端末を動かさないでください。
- 相手の端末によっては、データを送受信しにくいことや端末を近づけた際にディスプレイの表示が消えてしまうことがあります。そのときは、マークどうしの間隔を近づけたり遠ざけたりするか、上下左右にずらしてください。
- その他の注意事項は対向機にかざす際の注意事項と同様です（P.87「対向機にかざす際の注意事項」）。

■ データを送信

例：電話帳のとき

- 1 ホーム画面▶「アプリ一覧画面」を表示▶「電話帳」
- 2 名前を選ぶ
- 3 相手の端末とマークを重ね合わせる
 - [タップしてビーム]が表示されます。
- 4 画面をタッチ

■ データを受信

- 1 相手の端末とマークを重ね合わせる

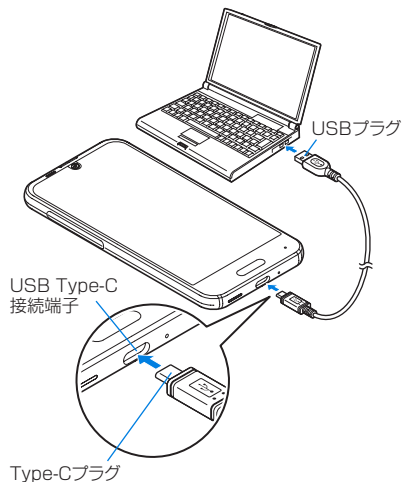
外部機器接続

パソコンとの接続

端末とパソコンを接続することで、端末を充電したり、パソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送したりできます。

指定のUSB Type-Cケーブルを使って接続する場合は、次の操作を行います。

- 1 USB Type-CケーブルのType-Cプラグを、端末のUSB Type-C接続端子に水平に差し込む
 - 2 USB Type-CケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む
- USB接続の用途についての確認画面が表示されます。表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグして、USB接続の用途についての通知を選んでください。



3 USB接続の用途を選ぶ

- **この端末を充電する**：端末の充電のみを行います。
- **ファイルを転送する**：MTP対応のパソコンと本体メモリまたはmicroSDカードの間でデータを転送します。
- **写真の転送(PTP)**：PTP対応のパソコンと本体メモリの間で静止画を転送します。
- **この端末をMIDIとして利用する**：端末をMIDI入力に使用します。
- テザリング設定についてはP.123「アクセス ポイントとテザリング」

4 利用が終わったら、USB Type-Cケーブルを端末とパソコンから取り外す

- 指定のUSB Type-Cケーブルをご利用ください。プラグ部の形状が異なるものは使用できません。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 一度に大量のデータを転送した場合、転送が中断することがあります。その場合はデータを分けて転送してください。
- パソコンとデータのやりとりをしているときは、USB Type-Cケーブルを取り外さないでください。データが壊れることがあります。
- 接続可能なパソコンのOSは、Windows 7、Windows 8.1、Windows 10(いずれも日本語版)です。

プリントサービスによる印刷／保存

印刷用アプリ(プラグイン)を利用して画像を印刷したり、Googleドライブなどに画像を保存したりできます。

例：アルバムを利用するとき

- 1 アルバムの画像表示画面で[⋮] ▶ [印刷]
- 2 各項目を設定
 - 以降は画面の指示に従って操作してください。

USBホスト機能

本端末にはUSBホスト機能が搭載されています。市販の周辺機器接続用USBケーブルをUSB Type-C接続端子に接続することでマウスなどのUSB機器を利用できます。

- USBホスト機能について詳しくは、周辺機器接続用USBケーブルやUSB機器の取扱説明書をご覧ください。
- すべてのUSB機器との接続を保証するものではありません。
- 電池残量が少なくなったり、端末の温度が低下したりするとUSB機器の接続を解除します。
- USBホスト機能の利用中は端末の動作が遅くなる場合があります。
- 消費電力の大きなUSB機器を接続する場合、端末の動作状態や電池残量、周囲温度によっては自動的に端末の電源が切れることがあります。

USBメモリの取り外しについて

- USBメモリの取り外しは、USBメモリをマウント解除してから行ってください(☞P.133「ストレージ」)。データが壊れることや正常に動作しなくなることがあります。

キャスト

キャスト対応のテレビなどに端末の画面と音声を出します。



- Miracast対応テレビやアダプターなど、その他のMiracast対応機器と接続することもできます。
- 接続機器側の操作については、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。


1 ホーム画面▶[]▶[接続済みの端末]▶[キャスト]

2 []▶[ワイヤレスディスプレイの有効化]

- [ワイヤレスディスプレイの有効化]を有効にすると[Wi-Fi]がONになり、接続可能な機器や接続したことのある機器がリスト表示されます。

3 接続する機器を選ぶ

- 接続する機器によっては、確認画面が表示されます。内容を確認し、画面の指示に従って操作してください。
- 接続解除:接続中の機器をタッチ▶[接続を解除]
- 機器の表示名を変更:表示名を変更する機器の[]▶名前を入力▶[完了]
- 機器をリストから削除:削除する機器の[]▶[削除]

- キャスト機能を利用する機器を設定すると、対応するアプリでキャストアイコン([])が表示される場合があります。
- 起動しているアプリや表示しているコンテンツによっては、出力ができない場合があります。
- 起動しているアプリによっては、途中で終了する場合があります。
- 出力中は、著作権保護コンテンツを再生できないことがあります。
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に出力を停止します。
- 周囲の環境によっては、無線の干渉を受けて映像が乱れたり音飛びが発生したりする場合があります。また、接続に失敗したり、出力が切れてしまう場合があります。端末とテレビなどが障害物やその他の無線機器のない見通しの良い環境でご利用ください。

VPN(仮想プライベートネットワーク)

VPNの追加

VPN(Virtual Private Network)とは、外出先などから自宅のパソコンや社内のネットワークに仮想的な専用回線を用意し、安全にアクセスできる接続方法です。

- 端末からVPN接続を設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を入手してください。
- あらかじめ画面ロックを[なし]や[スワイプ]以外に設定しておいてください(※P.134「セキュリティと現在地情報」)。

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN] ▶ [＋]
- 2 各項目を設定 ▶ [保存]

VPNの接続

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN]
- 2 接続するVPNを選ぶ
- 3 VPNの接続情報を入力 ▶ [接続]

VPNの切断

- 1 ホーム画面 ▶ [⚙️] ▶ [ネットワークとインターネット] ▶ [VPN] ▶ 画面の指示に従って操作

海外利用

海外でご利用になる前に

■ ご出発前の確認

ご利用の通信事業者によって、提供サービスが異なります。詳しくは、通信事業者にお問い合わせください。

海外で利用するための設定

データローミング

海外でパケット通信を行うためには、[データローミング]をONにする必要があります。

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[データローミング]

- 確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。

優先ネットワークタイプ

使用するネットワークを設定します。

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[優先ネットワークタイプ]

2 項目を選ぶ

- 4G(推奨):4Gネットワークを利用します。
- 3G:3Gネットワークを利用します。
- 2G:2Gネットワークを利用します。

通信事業者

お買い上げ時は、自動的に利用できるネットワークを検出して切り替えるように設定されています。手動でネットワークを切り替える場合は、次の操作で設定してください。

1 ホーム画面▶[]▶[ネットワークとインターネット]▶[モバイル ネットワーク]▶[通信事業者]

- データ通信の確認画面が表示された場合は内容を確認し、[OK]を選択してください。
- ネットワークの検索が行われ、通信事業者の一覧が表示されます。

2 通信事業者を選ぶ

- 通信事業者の再検索:[ネットワークを検索]
- 通信事業者を自動的に選択:[自動的に選択]

日付と時刻

日付と時刻の[日付と時刻の自動設定]、[タイムゾーンの自動設定]をONにしている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。


- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻についてはP.144「日付と時刻」

滞在先で電話をかける／受ける

滞在国外(日本を含む)に電話をかける

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

1 ホーム画面▶▶

2 「+」(「0」をロングタッチ)▶国番号、地域番号(市外局番)、相手先電話番号を入力▶

- 地域番号(市外局番)が「0」で始まる場合は、先頭の「0」を除いてダイヤルしてください(イタリアなど一部の国・地域では、「0」が必要な場合があります)。
- 発信者番号を通知しても、通信事業者によっては[不明]や[非通知設定]など正しく番号表示されないことがあります。

滞在国内に電話をかける

滞在国内で国内電話をかけるときは、日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。
- 同一市内でも、必ず地域番号(市外局番)から入力してください。

海外で電話を受ける

海外でも、日本国内にいるときと同様の操作で電話を受けることができます。

- 通話可能なnanoSIMカードをご使用の場合に利用できます。

■ 相手からの電話のかけかた

日本から滞在先に電話をかけてもらうときは、日本国内にいるときと同様にお客様の電話番号を入力してもらいます。

日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらうときは、滞在先にかかわらず日本への国際電話として、国際電話アクセス番号と日本の国番号「81」を先頭に付け、お客様の電話番号から先頭の「0」を除いた電話番号を入力してもらいます。

発信国の国際電話アクセス番号-81-90(または80、70)-XXXX-XXXX

トラブルシューティング(FAQ)

故障かな？と思ったら

- システムをアップデートする必要があるかをチェックして、必要な場合にはシステムをアップデートしてください(☞P.169「システム アップデート」)。
- 端末のセルフチェックを行ってください(☞P.148「セルフチェック」)。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、「保証書に記載のお問い合わせ先」にご相談ください。

■ 電源

- 本端末の電源が入らない
 - 電池切れになっていませんか。(☞P.35「充電」)
- 画面が動かない、電源が切れない
 - (Ⓞ)を8秒以上押しと、強制的に電源を切ることができます。
 - バイブレータが動作したあとに手を離すと、電源が切れま
 - す。
 - 強制的に電源を切るため、データや設定した内容などが消えてしまう場合がありますのでご注意ください。

■ 充電

- 充電ができない
 - 充電ランプが点灯しない、または点滅する
 - 指定のACアダプターの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。(☞P.36「ACアダプターで充電」)
 - ACアダプターをご使用の場合、ACアダプターとUSB Type-Cケーブル、本端末がしっかりと接続されていますか。(☞P.36「ACアダプターで充電」)
 - 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行くと、本端末の温度が上昇して充電が停止することがあります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。(☞P.35「充電時のご注意」)
 - 電池が切れた状態で充電開始時に、充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
 - 充電中に充電ランプが赤色で点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

■ 端末操作

- 操作中・充電中に熱くなる
 - 操作中や充電中、また、充電しながら動画視聴やワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や内蔵電池、ACアダプター、USB Type-Cケーブルが温かくなることがありますが、動作上問題ありませんので、そのままご使用ください。(☞P.35「充電時のご注意」)

- 電池の使用時間が短い
 - 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
 - 内蔵電池の使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。[P.171](#)「主な仕様」
 - 内蔵電池は消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電してもお買い上げ時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。[P.21](#)「内蔵電池の交換について」
 - 使用していないアプリは終了してください。
 - 使用していない無線機能はOFFにしてください。[P.119](#)「Wi-Fi」、[P.153](#)「Bluetooth機能の利用」
 - 長エネスイッチを利用すると、電池の消費を抑えることができます。[P.126](#)「長エネスイッチ」
- タッチしたり、キーを押したりしても動作しない
 - 端末の電源が切れていませんか。[P.37](#)「電源を入れる」
- タッチしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い
 - 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。[P.133](#)「ストレージ」
- nanoSIMカードが認識しない
 - nanoSIMカードを正しい向きで挿入していますか。[P.30](#)「nanoSIMカード」
- 時計がずれる
 - 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。[日付と時刻の自動設定]がONになっているかを確認し、電波の良い場所で電源を入れ直してください。[P.144](#)「日付と時刻」
- 端末動作が不安定
 - ご購入後に端末へインストールしたアプリによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
 - ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。
 - セーフモードの起動方法
電源が切れている状態から電源を入れ直し、起動中の画面でタッチパネルのロック画面が表示されるまで \leftarrow を押し続けてください。
※ 電源を入れた状態で $\left(\oplus\right)$ (2秒以上)▶[電源を切る]をロングタッチしても、セーフモードで再起動ができます。また、セルフチェックからもセーフモードで再起動ができます。[P.148](#)「セルフチェック」
※ セーフモードが起動すると画面左下に[セーフモード]と表示されます。
※ セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
 - 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
 - ウィジェットによっては消去される場合があります。
 - セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。

- アプリが正しく動作しない(起動できない、エラーが頻繁に起こるなど)
 - 無効化されているアプリはありませんか。無効化されているアプリを有効にしてから再度お試しください。☎ P.125「アプリの有効」
 - アプリの動作に必要な機能の利用を許可していますか。☎ P.61「アプリに必要な許可」
 - 電池の最適化を行っていませんか。☎ P.62「電池の最適化」

■ 通話

- 発信ができない
 - 機内モードを設定していませんか。☎ P.119「ネットワークとインターネット」
- 着信音が鳴らない
 - 着信音量を「0」にしていませんか。☎ P.129「音」
 - マナーモード、機内モードを設定していませんか。☎ P.53「マナーモード」、P.119「ネットワークとインターネット」
 - [着信のブロック]を設定していませんか。☎ P.69「通話設定」
 - 簡易留守録設定の[応答時間設定]を短い時間に設定していませんか。☎ P.69「通話設定」
- 通話ができない(場所を移動しても[■]の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない)
 - 電源を入れ直すか、nanoSIMカードを入れ直してください。☎ P.30「nanoSIMカード」、P.37「電源を入れる／切る」

- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[■]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- [着信のブロック]など着信制限を設定していませんか。☎ P.69「通話設定」
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

- ディスプレイが暗い
 - バックライトの点灯時間を短く設定していませんか。☎ P.126「ディスプレイ」
 - ディスプレイの明るさを変更していませんか。☎ P.126「ディスプレイ」
 - 明るさのレベルの[明るさを自動調節]を有効にしていませんか。有効にしている場合は、周囲の明るさによって変わります。☎ P.126「ディスプレイ」
 - [のぞき見ブロック]をONに設定していませんか。☎ P.129「のぞき見ブロック」
 - [長エネスイッチ]をONに設定していませんか。☎ P.126「長エネスイッチ」

■ 音声

- 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
 - 通話音量を変更していませんか。☎ P.67「通話音量調節」

■ メール

- メールを自動で受信しない
 - メールのアカウントの設定で同期頻度を[自動確認しない]に設定していませんか。☞P.74「メールのアカウントの設定」


■ カメラ

- カメラで撮影した静止画や動画がぼやける
 - カメラで近くの被写体を撮影するときは、フォーカス設定を[接写AF]に切り替えてください。☞P.95「静止画撮影／動画撮影の共通設定」
 - カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。☞P.89「カメラをご利用になる前に」
- モバイルライト点灯時に撮影した静止画や動画が白っぽくなる
 - カメラのレンズ周辺にケースやカバー、指などがあると、モバイルライトの光が反射して撮影した静止画や動画に悪影響を与える場合があります。


■ ワンセグ

- ワンセグの視聴ができない
 - 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。☞P.99「放送波について」
 - チャンネルリストを作成していますか。☞P.100「チャンネルリスト作成」

■ おサイフケータイ

- おサイフケータイが使えない
 - NFC／おサイフケータイ ロックを設定していませんか。☞P.88「NFC／おサイフケータイ ロック」
 - 本端末の  マークがある位置を読み取り機にかざしていませんか。☞P.27「各部の名称と機能」、P.87「対向機にかざす際の注意事項」

■ 海外利用

- 海外で本端末が使えない(が表示されている場合)
 - nanoSIMカードの販売元までお問い合わせください。
 - ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。通信事業者を[自動的に選択]に設定してください。☞P.161「通信事業者」
 - 本端末の電源を入れ直すことで回復することがあります。☞P.37「電源を入れる／切る」
- 海外でデータ通信ができない
 - [データローミング]をONにしてください。☞P.161「データローミング」
 - ご利用の通信事業者がサービスを提供しているかご確認ください。
- 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない
 - 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

- データ転送が行われない
 - USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。☞P.157「パソコンとの接続」
 - USB接続の用途が[この端末を充電する]に設定されていませんか。☞P.157「パソコンとの接続」
- microSDカードに保存したデータが表示されない
 - microSDカードを取り付け直してください。☞P.33「microSDカード」
- 画像が正しく表示されない
 - 画像データが壊れている場合は黒色の画像が表示されます。

■ Bluetooth機能

- Bluetooth通信対応機器と接続ができない／検索しても見つからない
 - Bluetooth通信対応機器(市販品)側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器(市販品)、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。☞P.153「Bluetooth機能の利用」
- カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない
 - 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。☞P.37「電源を入れる／切る」

エラーメッセージ

- [SIMカードが挿入されていません - 通信サービスはありません]
 - nanoSIMカードが正しく差し込まれているかご確認ください。☞P.30「nanoSIMカード」
- [空き容量わずか]
 - 本体メモリの空き容量が低下しています。一部の機能やアプリが正常に動作しなくなる場合があります。不要なアプリのアンインストールやファイルの移動／削除を行ってください。
- [緊急サービスがブロックされています。]
[音声サービスがブロックされています。]
[すべての音声サービスがブロックされています。]
 - 音声回線ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってからかけ直してください。
- [製造番号情報を利用します。よろしいですか？]
 - ワンセグ視聴中表示されることがあります。[はい]を選択すると、端末とnanoSIMカードの製造番号が送信されます。
- [接続できません。]
 - 何らかの原因でデータ放送に接続できませんでした。もう一度接続をお試しください。
- [データサービスがブロックされています。]
 - パケット通信ネットワークが非常に混み合っていますので、しばらくたってから、再度操作してください。
- [モバイルネットワークが利用できません。]
 - 有効なネットワークに設定されているかご確認ください。

保証とアフターサービス

保証について

保証書は本端末に付属されております。

- お買い上げ年月日、販売店名をご確認ください。
保証書の記載内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間
お買い上げの日から1年間です(ただし電池、消耗部品は除きます)。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが消失・変化した場合の損害につきましては、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

アフターサービスについて

■ 補修用性能部品の保有期間

シャープ株式会社は、この製品の補修用性能部品を、製品の製造打ち切り後4年保有しています。

- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」をご覧ください。
それでも異常があるときは、使用を止めて、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。

保証期間中

ご要望により有料修理いたします。

保証期間が過ぎているときは

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

■ お願い

- 本端末の改造はおやめください。
 - 火災・けが・故障の原因となります。
 - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
- ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼る
 - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
 - 外装などを純正品以外のものに交換するなど

- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に付いている銘板プレートは、取り外さないでください。銘板プレートが故意に取り外されたり、付け替えられた場合など、銘板プレートの内容が確認できないときは、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア(リセット)される場合があります。お手順をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。その際、設定によってはパケット通信料が発生する場合があります。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末にキャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。

システム アップデート

SH-M06のシステム アップデートが必要なかをネットワークに接続して確認し、必要に応じてアップデートファイルをダウンロードして、システムをアップデートする機能です。


- システム アップデートが必要な場合は、端末上あるいはシャープ株式会社のホームページにてご案内いたします。
- システム アップデートは、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態(故障、破損、水濡れなど)によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- システム アップデートには大量のパケット通信が発生することがあります。Wi-Fi通信を利用できる場合は、Wi-Fi通信を利用してアップデートすることをおすすめします。

ご利用にあたって

- システム アップデートに必要な電池残量がないときはシステムをアップデートできません。システム アップデートを行う際は、電池をフル充電しておいてください。アップデート時は充電しながら操作することをおすすめします。
- システム アップデート(ダウンロード、書き換え)には時間がかかる場合があります。
- システム アップデート中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- システム アップデートは電波状態の良いところで、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、システム アップデートを中断することがあります。
- システム アップデート中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- システム アップデートの際、お客様のSH-M06固有の情報(機種や製造番号など)が、当社のシステム アップデート用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、システム アップデート以外の目的には利用いたしません。
- システム アップデートに失敗すると、本端末が使用できなくなる場合があります。本端末が使用できなくなった場合は、「保証書に記載のお問い合わせ先」までお問い合わせください。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- システム アップデート中は、他のアプリを起動しないでください。

システムのアップデート

1 ホーム画面▶[]▶[システム]▶[システム アップデート]

- システム アップデートが必要な場合は、システム アップデート用データをダウンロードすることができます。以降は画面の指示に従って操作してください。
 - ステータスバーに[]が表示されている場合は、ステータスパネルからシステム アップデートを利用することができます。
- システム アップデートの必要がないときには、「お使いのシステムは最新の状態です」と表示されます。
 - アップデート中は、すべてのキー操作が無効となります。アップデートを中止することもできません。
 - システム アップデートに失敗したときや中止されたときは、システム アップデートを実行し直してください。

主な仕様

■ 本体

品名	SH-M06
サイズ	高さ132mm×幅約66mm×厚さ約9.6mm (最厚部:約9.7mm)
質量	約140g
メモリ	ROM:32Gバイト* ¹ RAM:3Gバイト
連続通話時間 *2*3*4	3G 約1300分 GSM 約670分 VoLTE(音声通話) 約1530分
連続待受時間 *3*4	3G 静止時:約605時間* ⁵ GSM 静止時:約650時間* ⁵ LTE 静止時:約630時間* ⁵
ワンセグ視聴時間*4*6	約620分
充電時間	ACアダプター SH-AC04:約160分

ディスプレイ	方式 TFT(IGZO) 16,777,216色 サイズ 約4.9inch 画素数 2,194,560画素(FHD+:横1080ピクセル×縦2032ピクセル)
イヤホンマイク端子	プラグの直径:3.5mmステレオミニプラグ 極数:4極
撮像素子	種類 アウトカメラ:裏面照射型CMOS* ⁷ インカメラ:裏面照射型CMOS* ⁷ サイズ アウトカメラ:1/3.0inch インカメラ:1/4.0inch
カメラ部	有効画素数 アウトカメラ:約1640万画素 インカメラ:約800万画素 記録画素数(最大時) アウトカメラ:約1640万画素 インカメラ:約800万画素 ズーム(デジタル) アウトカメラ:最大約8.0倍(静止画)/最大約8.0倍(動画) インカメラ:最大約8.0倍(静止画)/最大約8.0倍(動画)

記録部*8	ファイル形式 静止画: JPEG 動画: MP4 (Full HD)、3GP (HD、VGA) 動画録画時間 制限なし(使用可能な空き容量に依存)
再生可能音声/ 動画	ファイル形式 音声: AAC LC、AAC+、enhanced AAC+、enhanced low delay AAC、AMR-NB、AMR-WB、FLAC、MP3、MIDI、Vorbis、PCM/WAVE、Opus 動画: H.264、H.265、VP8、H.263、MPEG-4
無線LAN	IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz/5GHz)/ac準拠
Bluetooth	対応バージョン Bluetooth標準規格 Ver.5.0 出力 Bluetooth標準規格 Power Class 1 対応プロファイル(対応サービス/バージョン) HSP(1.2)、HFP(1.7)*9、A2DP(1.2)*10、AVRCP(1.6)、HID(1.0)、OPP(1.2)、SPP(1.2)、PBAP(1.2)、FTP(1.1)、PAN(PAN-NAP)(1.0)、PAN(PANU)(1.0)、HOGP(1.0)、GATT
言語	表示言語: 日本語、英語 入力言語(文字入力): 日本語、英語 入力言語(音声入力): Google音声入力による

- ※1 Android OSやお買い上げ時に搭載されているアプリの保存にも使用されているため、実際に使用できる容量とは異なります。使用可能な空き容量については、「ストレージ」(P.133)をご参照ください。
- ※2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- ※3 データ通信やマルチアクセス、カメラ機能、ワンセグ機能、Bluetooth機能などの各種機能のご利用頻度が高い場合、通話(通信)・待受時間は短くなります。実際のご利用時間は、通話(通信)と待受の組み合わせとなり通話時間が長くなると待受時間が短くなります。
- ※4 内蔵電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態(電波が届かない、または弱い)などにより、通話(通信)・待受時間が半分程度になったり、ワンセグ視聴時間が短くなったりする場合があります。
- ※5 電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- ※6 ワンセグ視聴時間とは、電波を正常に受信できる状態で視聴できる時間の目安です。
- ※7 CMOS(complementary metal-oxide semiconductor: 相補型金属酸化膜半導体)とは、銀塩カメラのフィルムにあたる部分を構成する撮像素子です。
- ※8 「カメラ」(P.89)利用時の仕様です。
- ※9 音声コーデックmSBC(16kHz)、CVSDに対応しています。
- ※10 音声コーデックaptX HD、aptX、AAC、SBCに対応しています。

■ 内蔵電池

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC 3.85V
公称容量	2500mAh

■ ACアダプター(SH-AC04)

電源	AC100V～240V、50/60Hz共用
出力電圧/出力電流	DC5.0V/1A
充電温度範囲	5℃～35℃
サイズ(幅×高さ×奥行)	約50mm×約38mm×約25mm (電源プラグ、突起部除く)

■ USB Type-Cケーブル(SH-AC04)

ケーブルの長さ	約1.0m
---------	-------

■ テレビアンテナケーブル

長さ	136mm(プラグ/ジャック部含む)
質量	約5g
プラグ/ジャック	3.5φ、4極プラグ/3.5φ、4極ジャック

携帯電話機の比吸収率(SAR)について

この機種SH-M06の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準(※1)ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関(WHO)と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の頭部におけるSARの最大値は0.837W/kg(※2)、身体に装着した場合のSARの最大値は0.479W/kg(※3)です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5cm以上離し、かつその間に金属(部分)が含まないようにしてください。このことにより、本携帯電話機が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。

世界保健機関は、「携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。」と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ

<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>

一般社団法人電波産業会のホームページ

<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

シャープ株式会社のホームページ

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/sar/other/shm06/index.html>

- ※1 技術基準については、電波法関連省令(無線設備規則第14条の2)で規定されています。
- ※2 この値は同時送信の値です。
- ※3 この値は同時送信の値です。

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.460 W/kg* and when worn on the body is 1.890 W/kg*.

For body-worn operation, this mobile device has been tested and meets the RF exposure guidelines when used with an accessory containing no metal and positioning the handset a minimum of 5 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

Regulatory information

In some countries/regions including Europe^{**}, there are restrictions on the use of 5GHz WLAN that may limit the use to indoors only.

Please check the local laws and regulations beforehand.

※ The following EU and EFTA member countries:

Belgium (BE), Bulgaria (BG), Czech Republic (CZ), Denmark (DK), Germany (DE), Estonia (EE), Ireland (IE), Greece (EL), Spain (ES), France (FR), Croatia (HR), Italy (IT), Cyprus (CY), Latvia (LV), Lithuania (LT), Luxembourg (LU), Hungary (HU), Malta (MT), Netherlands (NL), Austria (AT), Poland (PL), Portugal (PT), Romania (RO), Slovenia (SI), Slovakia (SK), Finland (FI), Sweden (SE) and United Kingdom (UK), Switzerland (CH), Liechtenstein (LI), Iceland (IS), Norway (NO).

Norway: Use of this radio equipment is not allowed in the geographical area within a radius of 20 km from the centre of Ny-Alesund, Svalbard.

Hereby, SHARP CORPORATION declares that the radio equipment type SH-M06 is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:
<http://www.sharp.co.jp/k-tai/>

Manufacturer's Address:

SHARP CORPORATION,

1 Takumi-cho, Sakai-ku, Sakai-shi, Osaka 590-8522,
Japan

● Description of accessories

Headset, Handsfree	Φ3.5 audio jack, Bluetooth
USB cable	For charging, peripherals, etc.
microSD Card	microSD/microSDHC/microSDXC
nano SIM card	The card provided by the Carrier. The handset is "Unlocked" Smartphone.

● Frequency range of supported bands in EU

GSM 900	Tx 880.2 to 914.8 MHz Rx 925.2 to 959.8 MHz
DCS 1800	Tx 1710.2 to 1784.8 MHz Rx 1805.2 to 1879.8 MHz
WCDMA FDD I	Tx 1922.4 to 1977.6 MHz Rx 2112.4 to 2167.6 MHz
WCDMA FDD VIII	Tx 882.4 to 912.6 MHz Rx 927.4 to 957.6 MHz
LTE Band 1	Tx 1922.5 to 1977.5 MHz Rx 2112.5 to 2167.5 MHz
LTE Band 3	Tx 1710.7 to 1784.3 MHz Rx 1805.7 to 1879.3 MHz
LTE Band 8	Tx 880.7 to 914.3 MHz Rx 925.7 to 959.3 MHz
Bluetooth	Tx 2402 to 2480 MHz Rx 2402 to 2480 MHz
WLAN 2.4 GHz	Tx/Rx 2412 to 2472 MHz (BW: 20 MHz only)

WLAN 5 GHz	W52(U-NII 1): Tx/Rx 5180 to 5240 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5190 to 5230 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5210 MHz (BW:80 MHz)		
	W53(U-NII 2A): Tx/Rx 5260 to 5320 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5270 to 5310 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5290 MHz (BW:80 MHz)		
	W56(U-NII 2C): Tx/Rx 5500 to 5700 MHz (BW:20 MHz) Tx/Rx 5510 to 5670 MHz (BW:40 MHz) Tx/Rx 5530 to 5610 MHz (BW:80 MHz)		
	NFC	Tx/Rx 13.56 MHz	
	GNSS	GPS: Rx L1 (1575.42 MHz) GLONASS: Rx G1 (1598.0625 to 1605.375 MHz) Galileo: Rx E1 (1575.42 MHz) BeiDou: Rx B1 (1561.098 MHz)	

● Maximum transmit power

GSM 900	+33 dBm (Power Class4)
DCS 1800	+30 dBm (Power Class1)
WCDMA FDD I	+24 dBm (Power Class3)
WCDMA FDD VIII	+24 dBm (Power Class3)
LTE Band 1	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 3	+23 dBm (Power Class3)
LTE Band 8	+23 dBm (Power Class3)
Bluetooth	+11.5 dBm (Power Class1)
WLAN 2.4 GHz	+13.5 dBm
WLAN 5 GHz	+11.5 dBm
NFC	0 dB μ A/m at 10 m

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.

The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.

The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.79 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.80 W/kg.

For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.0 cm from the body.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of <http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/> after searching on FCC ID APYHRO00258.

Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at <http://www.fcc.gov/encyclopedia/radio-frequency-safety>.

FCC ID Location

The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the System & the Authentication under the Settings menu.

CAUTION

Use only included AC adapter and USB Type-C cable.

May cause fires, burns, bodily injury, electric shock, etc. if you use a device other than included one.

Do not throw the handset into a fire or heat it.

May cause fires, burns, bodily injury, etc.

Do not dispose of the handset in ordinary garbage.

May cause fires, burns, bodily injury, etc. Also, may damage to the environment. For details on the unnecessary handset, contact the "company or outlet listed on the warranty card" or follow the instructions by a local institution that handles used handsets.



To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Earphone Signal Level

The maximum output voltage for the music player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 125 mV.

Avoid using the handset in extremely high or low temperatures.

Use the handset within the range of a temperature between 5°C and 35°C and a humidity between 45% and 85%.

Refer to the following for details on using it at a bathroom.

※P.22 "SH-M06が有する防水／防塵性能でできること"

Charge battery in areas where ambient temperature is between 5°C and 35°C.

Do not point the illuminated light directly at someone's eyes. Especially when you use it for young children, keep sufficient distance from them.

Do not use Mobile light near people's faces. Eyesight may be temporarily affected leading to accidents etc.

⏻ : This symbol means the stand-by on/off.

■ Bluetooth function

- Bluetooth is a registered Trademark of Bluetooth SIG, Inc.

輸出管理規制

本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがあります。旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。

知的財産権について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードやテレビ、ビデオなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。

実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますので、ご注意ください。また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows Media®は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。



- USB Type-C™はUSB Implementers Forumの商標です。
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント/LCFONTおよびLCFONT®は、シャープ株式会社の登録商標です。
- OBEX™は、Infrared Data Association®の商標です。
- ㊄はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。
- Bluetoothは、米国Bluetooth SIG, Inc.の登録商標です。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。

- Wi-Fi Direct™、Miracast™、Wi-Fi Protected Setup™および Wi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Alliance®の商標です。 The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.
- This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>) この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。
- This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com) この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。 iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2017 All Rights Reserved. iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2009-2017 All Rights Reserved.
- 本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ R、新ゴ Mを搭載しています。「新ゴ」は、株式会社モリサワの登録商標です。
- Qualcomm aptX is a product of Qualcomm Technologies International, Ltd. Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries, used with permission. aptX is a trademark of Qualcomm Technologies International, Ltd., registered in the United States and other countries, used with permission.

- 本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYAサービス株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。
- 本製品で使用しているクラウド音声認識技術は、Nuance Communications, Inc.のVoCon® Hybridを使用しています。
- NuanceおよびVoCon® Hybridは米国および／またはその他の国におけるNuance Communications, Inc.またはその関連会社の登録商標です。
- Google, Google ロゴ, Android, Google Play, Google Play ロゴ, Gmail, Gmail ロゴ, Google カレンダー™, Google カレンダー ロゴ, Google マップ™, Google マップ ロゴ, Google Chrome™, Google Chrome ロゴ, Google 音声検索™, Google 音声検索 ロゴ, YouTube, YouTube ロゴ, Google ドライブ, Google ドライブ ロゴ, Google™ 検索, Google 検索 ロゴ, Google フォト™は、Google LLC の商標です。
- 「AQUOS／アクオス」、「AQUOS R compact」、「AQUOS Home」、「AQUOS便利機能」、「AQUOS Frosted Cover」、「AQUOSかんたんホーム」、「スロートーク／Slow Talk」、「Bright Keep」、「ワンタッチシャッター」、「おすすめプラス」、「あとからキャプチャー」、「インテリジェントフレーミング」、「ロボクル／ROBOQUL」、「エモパー／emopa」、「エモパーメモ」、「エモパーヘルスケア」、「エモパーク／emopark」、「バーチャルHDR」、「エスショイン／S-Shoin」、「クリップナウ／Clip Now」、「ヒカリエモーション」、「長エネスイッチ」、「リラックスビュー／RelaxView」、「リラックスオート」、「なめらか倍速表示」、「からだメイト」、「ロックフォトシャッフル」、「AQUOS」ロゴ、「AQUOS R compact」ロゴはシャープ株式会社の商標または登録商標です。
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

その他

- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておられません。
 - MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
 - 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。
 - ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
 その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。
 - タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。
 - 永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザーに配信すること。
 追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておられません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。

<http://www.mpegla.com>をご参照ください。

- 本書では各OS(日本語版)を次のように略して表記しています。
 - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10(Home、Pro、Enterprise、Education)の略です。
 - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1、Microsoft® Windows® 8.1 Pro、Microsoft® Windows® 8.1 Enterpriseの略です。
 - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7(Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本製品には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細は、ホーム画面▶[\[🔗\]](#)▶[\[システム\]](#)▶[\[端末情報\]](#)▶[\[法的情報\]](#)▶[\[サードパーティライセンス\]](#)をご参照ください。
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。詳細は下記サイトをご参照ください。

<http://k-tai.sharp.co.jp/support/developers/oss/>

索引

あ

アイコンの見かた	49
アイコンバッジ	57
アイコンバッジに件数表示	57
アカウントを追加	
Gmailの設定	81
メールの設定	78
明るさの自動調節	126
明るさのレベル	126
アクセス ポイントとテザリング	123
アクセスポイント名	121
新しい連絡先のデフォルト アカウント	71
あとからキャプチャー	98
あなたについて	112
アプリ一覧	57
アプリ情報	125
アプリ使用履歴	59
アプリ初回起動時の確認画面について	61
アプリと通知	124
アプリに必要な許可	61
アプリの権限	62
アプリの購入	84
アプリの設定をリセット	147
アプリレベルの権限	140
アラーム	108
アラーム設定	105
アラームの音量	129

アルバム	96
暗号化と認証情報	135
安全上のご注意(必ずお守りください)	5
位置情報	140
位置情報付加	95
一括シンプル切替	44
色反転	143
色補正	143
インカメラ小顔補正	94
インカメラ美肌調整	94
インカメラレンズ補正	94
印刷	124
インテリジェントフレーミング	94
インポート	71
上方向スライド	45
受取確認通知	74
絵・記・顔の連続入力	44
エクスポート	71
絵文字・記号リスト列数	44
エモパー	112
エモパー選択	112
エモパー使い方ガイド	113
エモパーの音量	129
エモパーの記憶	113
エモパーの話題	112
エモパーへの話しかけ方	112
エモパーヘルスケア	112
エモパーメモ	112
大きなマウスポインタ	142
オート	95
オートHDR	94
オープン ネットワークの通知	120

オールリセット	147
おサイフケータイ	85
「おサイフケータイ対応サービス」の利用	86
おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって	86
押し続ける時間	142
お知らせ通知	128
おすすめ機能の紹介	112
おすすめプラス	92
音	129
音とバイブレーション	69
オフタイマー設定	105
主な仕様	171
音声切替	105
音声多重切替	105

か

カーネルバージョン	147
海外でご利用になる前に	161
海外で電話を受ける	162
ガイド線	94
ガイドの表示速度	44
顔文字リセット	45
学習辞書リセット	45
拡大	142
各部の名称と機能	27
画質設定	128
画質とデータ量	94
画質モード	126
仮想キーボード	144
壁紙	126

壁紙の設定	57
カメラ	89
カメラの起動	144
カメラの設定	94
カメラをご利用になる前に	89
画面の固定	135
画面の自動回転	142
画面表示／アイコン	49
画面ロック	134
画面ロック音	129
からだメイト	115
カレンダー	110
カレンダーの設定	111
簡易留守録設定	69
キー操作音	44
キー操作バイブ	44
キー操作バイブ時間	44
キー入力ガイド表示	44
キーボードの見かた	42
機内モード	119
機能紹介	145
機能のショートカットの利用	56
機能利用中の操作	39
基本操作	38
基本動作について	112
キャスト	159
強弱設定	129
共有メニューの表示	131
切替条件設定	126
切替ボタン表示	44
緊急警報	74
緊急速報メール	

アプリと通知	124
音	129
緊急通報	64
クイックアクセス	68
クイック返信	69
グローブモード	127
携帯電話機の比吸収率(SAR)について	173
結果画面閲覧	146
言語	144
言語と入力	144
検索エンジン	83
高コントラストテキスト	142
更新	154
構図補正した静止画の表示	97
声でエモバーを呼び出し	112
この端末の名前を変更	154
この端末をMIDIとして利用する	158
この端末を充電する	158
コントローラー表示位置	105

さ

再起動	37
サイトの設定	83
サイトの表示	81
撮影画面の見かた	91
時間設定	128
時刻設定	144
システム	143
システム アップデート	169
システムのアップデート	170

下方向スライド	45
視聴／録画予約	104
自動大文字変換	45
自動カーソル移動	44
自動画面点灯	132
自動スペース入力	45
自動入力とお支払い	83
字幕	142
字幕切替	105
指紋	134
指紋認証	137
写真サイズ	94
写真の転送(PTP)	158
充電	35
充電開始時	128
充電時は明るくする	126
終話時	128
受信済みファイルを表示	154
省エネ&バッテリー 詳細設定	125
長エネスイッチ	126
表示・キーボード設定	44
証明書のインストール	120
使用履歴にアクセスできるアプリ	135
初期設定	48
白とび／黒つぶれ表示	95
信頼できるエージェント	135
水準器	95
スキャン	140
スクリーンショットの撮影	41
スクリーン セーバー	127
スクロールオート	131

スケジュールの削除	111
スタンダードモード	126
ステータスバーへの通知	131
ステータスパネルの利用	52
ストップウォッチ	109
ストレージ	133
ストレージ構成	149
スペルチェック	144
スマホカバー設定	130
スリープ	126
スレッドの削除	
Gmail	81
SMS	73
請求期間	122
静止画の撮影	93
製品情報	105
世界時計	109
セキュリティ アップデート	134
セキュリティと現在地情報	134
接続済みの端末	124
設定メニュー	118
設定リセット	
各種リセット	45
静止画撮影／動画撮影の共通設定	95
セルフタイマー表示	95
セルフチェック	147
全画面表示	95
全件削除	131
センサー感度補正	147
全般	111
全般設定	
Gmailの設定	81

メールの設定	78
ソフトキーボード表示	44

た

対向機にかざす際の注意事項	87
滞在国外(日本を含む)に電話をかける	162
滞在国内に電話をかける	162
対象アプリ設定	131
タイマー	109
タイムゾーンの自動設定	144
タイムゾーンの選択	144
タイムラプス	95
ダイヤルパッドの操作音	129
ダウンロード辞書	45
タッチ操作音	129
タッチパネルの操作	38
タップ操作時のバイブ	129
単語リスト	144
端末管理アプリ	135
端末情報	147
端末内やサイトの情報の検索	41
端末の回転	127
端末の状態	147
端末を探す	134
地域を選んで作成	100
知的財産権について	179
着信音	
音	129
メッセージの設定	74
着信音の音量	129

着信時もバイブレーションON	129	テキスト読み上げの出力	
着信／充電ランプ	49	言語と入力	144
着信のブロック	69	ユーザー補助	142
チャンネルリスト作成	100	デフォルト アプリ	124
チャンネルを探して作成	100	デフォルトのSMSアプリ	74
注意事項	113	デフォルトのアラーム音	129
長エネスイッチ	126	デフォルトの通知音	129
長エネスイッチの概要	126	手ブレ補正	94
ちらつき防止	95	テレビリンク	103
通信事業者	161	テレビ(ワンセグ)	99
通知		電源ボタンで通話を終了	142
Chromeの設定	83	電源を入れる／切る	37
アプリと通知	124	電源を切る	37
通話設定	69	電卓	111
通話中の操作	66	電池	125
通話履歴	67	電池残量で切替	126
使い方ガイド	131	電池の最適化	62
つながり予測	45	電話	63
ディスプレイ	126	電話アプリについて	69
データ使用量	122	電話着信中	128
データセーバー		電話着信パターン／カラー	128
Chromeの設定	83	電話帳	69
データ使用量	122	電話帳画像バックアップ	146
データ取り込み	145	電話帳名前データと連携	45
データの同期	142	電話帳について	71
データの表示／非表示	97	電話帳の確認／利用	70
データの振り分け	96	電話帳の登録	69
データ引継	145	電話帳を設定	71
データ放送設定	105	電話を受ける	65
データローミング	161	電話をかける	63
手鏡	95	動画サイズ	94
テキストメッセージの制限件数	74	動画の撮影	93

特別なアプリアクセス	124
トグル入力	44
時計	108
トラブルシューティング(FAQ)	163
取り扱い上のご注意	15

な

内蔵電池の交換について	21
なぞり動作設定	131
なめらか倍速表示	126
認証	143
ネット変換エンジン	45
ネットワーク制限	122
ネットワーク設定のリセット	147
ネットワークとインターネット	119
ネットワーク評価プロバイダ	120
のぞき見ブロック	
ディスプレイ	129
のぞき見ブロック	129

は

バイブレーション	74
パスワードの保存	83
パスワードを表示	135
パソコンとの接続	157
バックアップ	143
バックアップファイルの整理	146
花火撮影	95
ヒカリエモーション	128

左方向スライド	45
日付設定	144
日付と時刻	
海外で利用するための設定	162
設定	144
日付と時刻の自動設定	144
表示サイズ	
ディスプレイ	127
ユーザー補助	142
表示する連絡先	71
表示パターン	129
ビルド番号	147
ファイル操作	149
ファイルを転送する	158
フォーカス設定	95
フォントサイズ	142
ブックマーク	83
プッシュ信号の入力	64
物理キーボード	144
プライバシー	83
プライバシーポリシー	78
フリック感度	44
プリントサービスによる印刷/保存	158
古いメッセージを削除	74
フルマニュアル項目選択	95
プロキシ設定	119
ブロックした番号	71
ベースバンドバージョン	147
ヘルプ	95
変換辞書の更新	45
ボイスメール	69
ポインタが停止したらクリック	142

ポインタの速度	144
防水／防塵性能	21
法的情報	147
ホーム画面にアイコンを追加	57
ホーム画面の管理	56
ホーム画面の設定	57
ホーム切替	61
保証とアフターサービス	168
保存先設定	95
本端末で利用する暗証番号	136
本端末のご利用について	4

ま

マイク設定	94
マップ	106
マナーモードの詳細設定	129
マルチウィンドウ	60
右方向スライド	45
メール／ウェブブラウザ	72
メールのアカウントの設定	74
メールの削除	78
メールの設定	78
メールの送信	75
メールの表示	
Eメール	76
Gmail	79
メールの返信／転送	
Eメール	77
Gmail	80
メッセージの削除	73

メッセージの設定	74
メッセージの転送	73
メッセージの表示	72
メッセージの返信	73
メディアの音量	129
モード	140
目次	2
文字削除キー動作	44
文字入力	42
文字入力のしかた	46
文字入力の設定	44
文字フォント設定	127
持つと画面点灯	132
モデル	147
モノクロ	95
モノラル音声	142
モバイルデータ	122
モバイルデータ使用	122
モバイル ネットワーク	121

や

ユーザー辞書	45
ユーザー情報	71
ユーザー補助	142
ユーザー補助機能	
Chromeの設定	83
通話設定	69
ユーザー補助のショートカット	142
優先ネットワークタイプ	161
輸出管理規制	179

よくある質問(FAQ)	113
読取カメラ	95

5

リサイクルについて	21
リセット	147
リラックスオート	128
リラックスオートの概要	128
リラックス設定	128
リラックスビュー	128
履歴	83
ローマ字キーボード補助	44
録画	102
録画再生	102
ロックNo.変更	88
ロック解除時	128
ロック画面の設定	134
ロボクル設定	132
ロボクルの詳しい情報はこちら	132
ロボクルの動作	132

わ

ワイルドカード予測	45
ワンセグ視聴	101
ワンセグの設定	105
ワンタッチシャッター	94

英数字

ACアダプターで充電	36
Android Beam	
NFC/おサイフケータイ 設定	88
NFC通信	155
Androidセキュリティパッチレベル	147
Androidバージョン	147
AQUOS Home	55
AQUOS Homeの見たかた	55
AQUOS便利機能	130
Bluetooth機能	151
Bluetooth機能の利用	153
Bluetooth通信送受信	154
Bluetoothデザリング	123
Bright Keep	132
Chrome	81
Chromeについて	83
Chromeにログイン	83
Chromeの設定	83
Clip Now	131
Eメール	74
Gmail	78
Gmailから予定を作成	111
Gmailの設定	81
Google	143
Google Play プロテクト	134
Googleなどのアカウントの設定	141
GPS機能の利用	106
GPS/ナビ	106
IPアドレス	120

ISO感度	94	Wi-Fi Direct	120
MACアドレス	120	Wi-Fi データ使用量	122
microSDカード	33	Wi-Fiテザリング	123
microSDカード/USBメモリのフォーマット	133	Wi-Fiテザリング簡単接続	123
microSDカードの暗号化/暗号化解除	133	Wi-Fiテザリングを設定	123
nanoSIMカード	30	Wi-Fiのスリープ設定	120
NFC/おサイフケータイ 設定	88	WPS PIN入力	120
NFC/おサイフケータイ ロック	88	WPSプッシュボタン	120
NFC通信	155	YouTube	107
ON/OFF設定		2G	161
Clip Now	131	3G	161
スクロールオート	131	4G LTE拡張モード	121
PHOTOSHOW(Webページ)	95	4G(推奨)	161
PINロックの解除	141	24時間表示	144
Play ストア	84		
Reader/Writer, P2P	88		
SDカードにデータ保存	145		
SHSHOW	95		
SIM PINの変更	140		
SIMカードのメッセージ	74		
SIMカードロック設定	140		
SIMカードをロック	140		
Smart Lock	134		
SMS	72		
USB	124		
USB Type-Cケーブルで充電	37		
USBテザリング	123		
USBホスト機能	158		
VPNの接続	160		
VPNの切断	160		
VPNの追加	160		
Wi-Fi	119		



危険です、
歩きスマホ。



キケン！
水ぬれ充電

製造元:シャープ株式会社

1版
18A T0194①